Canon

レーザビームプリンタ

LASER SHOT

LBP-350

LASER SHOT

ユーザーズガイド

はじめに

このたびは、キヤノン株式会社のLASER SHOT LBP-350をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
本書はLASER SHOT LBP-350の設置方法やパソコンとの接続方法、操作のしかたなどについて説明しています。本書をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、本書はお読みいただいたあとも大切に保管しておいてください。

キヤノン株式会社

プリンタドライバ、ユーティリティソフトウェア、ビジュアルガイド、本書（ユーザーズガイド）において、本プリンタを「LBP-350」と表記しています。

付属のプリンタドライバやNetSpot Job Monitor、NetSpotなどのソフトウェアをご使用の前に必ずReadme.txtファイルをお読みください。

Readme.txtファイルには、使用許諾契約に関する内容、ご使用の際の注意事項などが記載されています。Readme.txtファイルは、CD-ROMに収められています。

Readme.txtファイルの表示方法

Windows®95/98/Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000/XPをお使いの方は

プリンタドライバやNetSpotなどのインストールの途中でReadmeを読むかどうか尋ねてきます。[Readmeを読む] を選択して、Readme.txtファイルを読んでからインストールを続けてください。またCD-ROMの各フォルダからもご覧になれます。

- 本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

本書の構成と読み方

導入時に、必ず読んでいただきたいページです。

第1章　プリンタをセットアップする

プリンタの設置からパソコンとの接続、用紙のセットと、印刷するまでの手順を紹介しています。

ご使用のパソコンのOSに合わせてお読みください。

第2章　Windows 95/98/Meから印刷するには

Microsoft Windows 95/98/Meでお使いになるときの、プリンタドライバやユーティリティのインストール方法と使い方を説明しています。

第3章　Windows NT 4.0から印刷するには

Microsoft Windows NT 4.0でお使いになるときの、プリンタドライバやユーティリティのインストール方法を説明しています。

第4章　Windows 2000/XPから印刷するには

Microsoft Windows 2000/XPでお使いになるときの、プリンタドライバやユーティリティのインストール方法を説明しています。

第5章　DOSから印刷するには

DOSでお使いになるときの、印刷方法や動作モードについて説明しています。

第6章　Macintosh パソコンやネットワーク環境で印刷するには

Macintoshパソコンに接続する場合や、ネットワーク環境で使う場合を説明しています。

日常お使いになるときに、必要に応じてお読みください。

第7章　知っておきたい日常操作

プリンタ本体の各部の名称や働き、トナーカートリッジの交換など、ご利用になる上で知っておきたいことについて説明しています。

第8章　困ったときには

トラブルが発生した際の対処法について説明しています。

付録

プリンタドライバやNetSpotから行えるプリンタの設定一覧をはじめ、プリンタフォントの情報、拡張RAMの増設方法、CD-ROMに添付されているTrueTypeフォント「FontGallery」についてなど、参考情報のページです。

「ビジュアルガイド」について

付属のCD-ROM「User Software for LBP-350（LASER SHOTスタートアップCD-ROM）」には、LBP-350の使い方をご紹介する「ビジュアルガイド」が入っています。LBP-350をご使用になる前に、是非ご覧ください。
「ビジュアルガイド」の起動方法は、CD-ROM付属の小冊子をご覧ください。

1 2 3 4 5 6 7 8 付録

目次

付録

LBP-350プリンタの特長

スピーディ（Speedy）

高密度イメージデータも高速に処理します。

毎分8枚の高速エンジンにIntel社製高速RISCプロセッサを採用。さらに、TrueTypeフォントの出力を高速化するTypeWing機能の強化や高速双方向通信などの機能で、よりスピーディなプリントを実現し、ファーストプリントや連続印刷も可能にしています。

ハイクオリティ（High Quality）

2400dpi相当×600dpiの超高画質で出力できます。

信頼の解像度600dpiプリンタエンジンを搭載し、スーパー・スムージング・テクノロジー機能とあわせ、高精細プリントが可能です。パーソナル機でありながらビジネスに通用する印字品位を誇り、多様な用途に応えるハイクオリティを実現しています。また、イメージデータやフォーム印刷もより高画質になりました。

オンデマンド（On Demand）

キヤノン独自のオンデマンド定着方式を搭載しています。

ウォームアップ0秒により、印刷したいときにすぐプリントできる余熱なしの方式でありながら、印刷時・スタンバイ時の消費電力をわずかな量に抑えています。
クイックスタートとトータルの消費電力量も抑えるエコロジー設計で快適にプリントアウトを行うことができます。

イージーオペレーション（Easy Operation）

煩雑なプリンタの操作が簡単に行えます。

いろいろな印刷方法を提供するPageComposer、オートパレットなど多機能を備えたWindows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP用LIPSドライバと、プリンタの印刷状況をパソコン上で確認できるNetSpot Job Monitorを同梱。
また、スタンドアロン、ネットワークいずれでもプリンタの設定・管理が便利なNetSpotも標準添付され、煩雑な操作を簡単にしています。

マルチプラットフォーム（Multi Platform）

DOSからWindows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP、Macintoshまで幅広く対応しています。

LIPS ⅢとESC/Pエミュレーションを標準搭載の上、USBやIrDAなど最新のパソコン規格にも対応可能なマルチ設計です。Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XPの環境にはプリンタドライバが標準添付され、いずれの環境でもすぐにご利用になれます。また、Macintosh、DOS環境でのプリントも可能にするなど、幅広い対応力を備えています。

フレンドリー（Friendly）

コンパクトで省エネ設計だからどこででも使えます。

デスクサイドに置けるコンパクトサイズで設置面積内で給排紙ができ、余分なスペースを必要としません。ファンレス設計で動作音がとても静かなため、オフィスでも家庭でも快適なプリンティングが行えます。また、プリンタを動画でわかりやすく解説する「ビジュアルガイド」も添付しており、パーソナルプリンタとして充実した製品です。

ソフトウェアのご紹介

LIPS III プリンタドライバ

アプリケーションソフトから印刷するときに必要なプリンタドライバソフトウェアです。いろいろなアプリケーションソフトの印刷データをLIPSプリンタ用のデータに変換し、プリンタへ送ります。印刷データの変換以外にも、印刷データをスプールする機能や印刷条件を設定する機能を持っており、拡大・縮小やとじ代、スタンプなどさまざまな印刷の仕上がりを設定することができます。



NetSpot Job Monitor

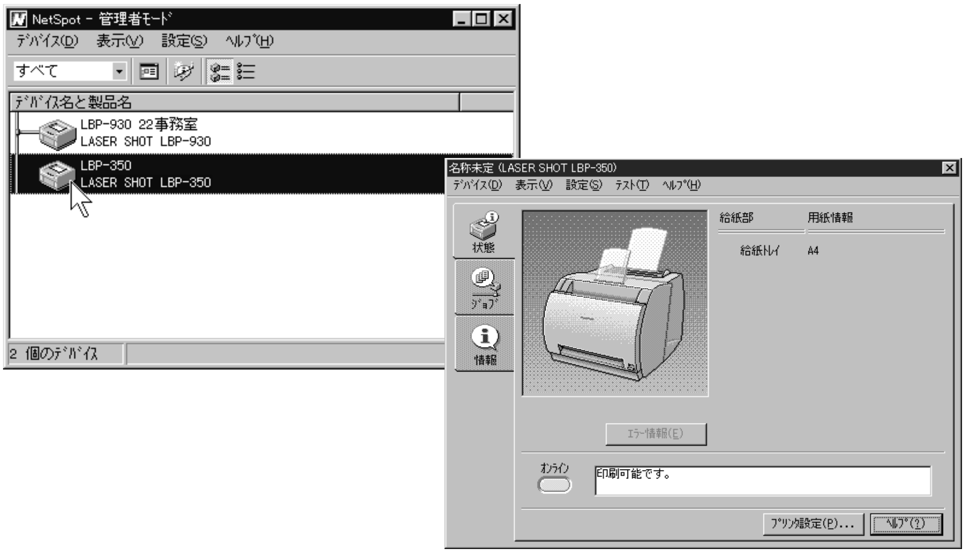
プリンタの状態を表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトウェアです。印刷待ちデータの一時停止・再開・削除を操作することができます。





NetSpot

ネットワーク上やプリンタポートのプリンタを管理するためのユーティリティソフトウェアです。プリンタの状態やジョブの処理状況をパソコン画面に表示することができます。NetSpotには管理者モードと一般ユーザモードがあり、管理者モードではプリンタやプリントサーバのネットワーク情報を設定したり、通常プリンタの操作パネルで行うような設定項目をネットワーク経由のパソコンから操作することができます。



FontGallery

本CD-ROMには、Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP、Macintoshに対応したTrueType フォント「FontGallery®」 が収録されています。FontGalleryには和文20書体、かな31書体、欧文100書体が収められています。

これらのフォントをお使いいただくことで、より多彩な文字表現が可能になります。

また、欧文書体には、ユーロフォントも含まれていますので、アクセント記号や特殊な記号を表現することもできます。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。LBP-350プリンタはオンデマンド定着方式の採用により、消費電力が印刷時約220Wから、スタンバイ時には自動的に約 7W まで下がる設計となっています。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信妨害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

表記について

マークについて

本書では、次のようなマークをつけて、説明を分類しています。これらのマークの箇所は必ずお読みください。

警告

- 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

- 取り扱いを誤った場合、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

お願い

- 操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

メモ

- 操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

ランプ表示について

本書では、プリンタ本体に付いているランプの状態を、次のように表しています。

ランプが点灯している状態を表します。

ランプが点滅している状態を表します。

ランプが消灯している状態を表します。

商標について

Apple、AppleTalk、EtherTalk、LocalTalk、Macintosh、TrueTypeは米国Apple Computer Inc.の商標です。
Canonロゴ、LBP、LIPS、PageComposer、ImageExpress、NetSpotはキヤノン（株）の商標です。
LASER SHOT、TypeWing、FontGallery、FontComposerはキヤノン（株）の登録商標です。
Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NTは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Adobe、Acrobat、PostScriptはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。

下記の書体は米国ビットストリーム社よりライセンスを受けています。
American Garamond Roman、American Garamond Italic、American Garamond Bold、American Garamond Bold Italic、
Bitstream Cataneo Light、Bitstream Cataneo Regular、 Bitstream Cataneo Bold、Bitstream Cataneo Light Swash、Bitstream Cataneo Regular Swash、Bitstream Cataneo Bold Swash、
Bitstream Cooper Black、Bitstream Cooper Black Italic、Bitstream Cooper Black Outline、Bitstream Roundhand Regular、Bitstream Roundhand Bold、Bitstream Roundhand Black、
Bodoni Roman、Bodoni Italic、Bodoni Bold、Bodoni Bold Italic、
Century Oldstyle Roman、Century Oldstyle Italic、Century Oldstyle Bold、
Century Schoolbook Roman、Century Schoolbook Italic、Century Schoolbook Bold、Century Schoolbook Bold Italic、
Clarendon Roman、Clarendon Bold、Clarendon Black、
Cloister Black Regular、Cloister Black Openface、
Commercial PI Regular、Commercial Script Regular、
Dutch 801 Regular、Dutch 801 Italic、Dutch 801 Bold、Dutch 801 Bold Italic、Dutch 801 Extra Bold、Dutch 801 Extra Bold Italic、
Exotic 350 Light、Exotic 350 Demi-Bold、Exotic 350 Bold、
Goudy Oldstyle Roman、Goudy Oldstyle Italic、Goudy Oldstyle Bold、Goudy Oldstyle Bold Italic、Goudy Oldstyle Extra Bold、Goudy Oldstyle Handtooled、
Holiday PI、
Poster Bodoni Roman、Poster Bodoni Italic、
Prima Sans BT、Prima Sans Bold、
Prima Serif BT、Prima Serif Bold、
Prima Mono BT、Prima Mono Bold、
Ribbon 131 Regular、Ribbon 131 Bold、
Serifa Thin、Serifa Thin Italic、Serifa Light、Serifa Light Italic、Serifa Roman、Serifa Italic、Serifa Bold、Serifa Black、Serifa Bold Condensed、
Snowcap Regular、
Staccato 222、Staccato 555、
Swiss 721、Swiss 721 Light、Swiss 721 Light Italic、Swiss 721 Roman、Swiss 721 Roman Oblique、Swiss 721 Italic、Swiss 721 Bold、Swiss 721 Bold Oblique、Swiss 721 Bold Italic、Swiss 721 Condensed、Swiss 721 Bold Condensed、Swiss 721 Thin、

Swiss 721 Thin Italic、Swiss 721 Light Condensed、Swiss 721 Light Condensed Italic、Swiss 721 Condensed Italic、Swiss 721 Bold Condensed Italic、Swiss 721 Bold Outline、Swiss 721 Extended、Swiss 721 Bold Extended、Swiss 721 Black Extended、Swiss 721 Black Outline、Swiss 721 Bold Rounded、Swiss 721 Black Rounded、
Symbol Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text、Symbol Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text、Symbol Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text、Symbol Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text、
Symbol Proportional Regular、
Zapf Humanist 601 Roman、Zapf Humanist 601 Italic、Zapf Humanist 601 Bold、Zapf Humanist 601 Bold Italic、Zapf Humanist 601 Ultra、Zapf Humanist 601 Ultra Italic

下記の書体は米国 Bitstream 社の商標です。
Dutch 801、Swiss 721、Snowcap、Bitstream Cataneo

下記の書体は Kingsley-ATF Type 社の商標です。
Century Oldstyle、Century Schoolbook、Cloister Black、Goudy Oldstyle

下記の書体は Fundicion Tipografica 社の登録商標です。
Serifa

本プリンタで使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体 ™W3、平成角ゴシック体 ™W5 を使用しています。これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

Microsoft Windows 95 日本語版を Windows 95 と表記しています。
Microsoft Windows 98 日本語版を Windows 98 と表記しています。
Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版を Windows Me と表記しています。
Microsoft Windows NT Version4.0 日本語版を Windows NT4.0 と表記しています。
Microsoft Windows 2000 日本語版を Windows 2000 と表記しています。
Microsoft Windows XP 日本語版を Windows XP と表記しています。
EUC は、Extended Unix Code の略称です。
LIPS は、LBP Image Processing System の略称です。
本書では、LASER SHOT LBP-350 を LBP-350 と省略して表記しています。

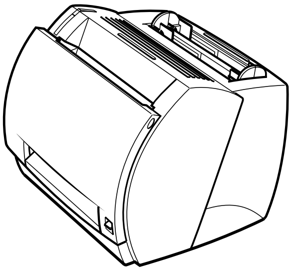
1

第1章　プリンタをセットアップする

この章ではプリンタをご利用になるための第一歩として、プリンタのセットアップについて説明します。
セットアップとは、プリンタを設置し、正しくパソコンに接続して使用できるようにするまでの手順です。

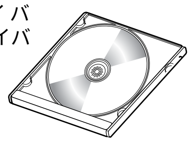
1 パッケージ内容を確認する

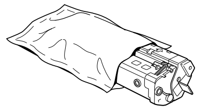
プリンタを設置する前に、パッケージ内に以下のものがすべて揃っているかどうかを確認してください。万一不足しているものがあった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。



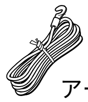
プリンタ本体

CD-ROM「User Software for LBP-350」
- プリンタドライバ
- USBクラスドライバ
- NetSpot Job Monitor
- NetSpot
- FontGallery
- ビジュアルガイド

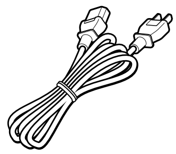




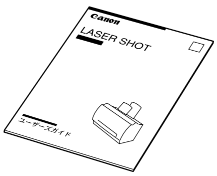
トナーカートリッジ
（EP-22カートリッジ）



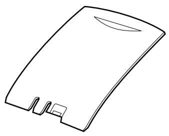
アースコード



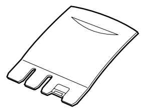
電源コード



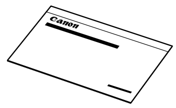
LASER SHOT LBP-350
ユーザーズガイド



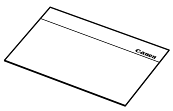
給紙ガイド



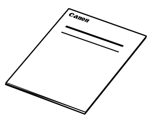
排紙ガイド



保証登録書



LASER SHOT LBP-350
スタートアップガイド



安全にお使い
いただくために

メモ

- **インタフェースケーブルは、同梱されていません。お使いのパソコン、または接続方法に合わせてご用意ください。**
- **パラレルインタフェースに接続してお使いになる場合、双方向パラレルインタフェースケーブルをおすすめします。**

パッケージ内容を確認する

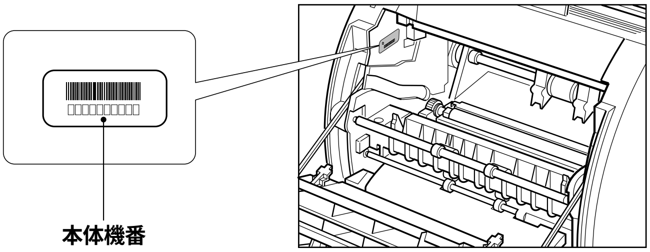
本体機番の表示位置

本体機番は、4 文字のアルファベットと 6 桁の数字で構成されています。

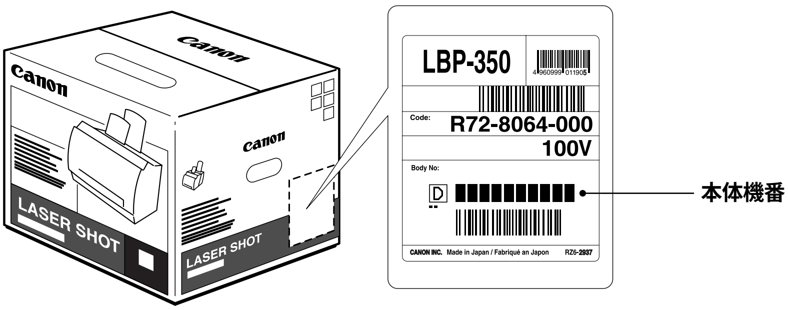
お願い

● ラベルはサービスや保守の際に、サービスマンが本体機番を確認するために必要です。絶対にはがさないでください。

フロントカバー内部



梱包箱（側面）



2 プリンタを設置する

開梱したら、プリンタを設置する場所を決めます。設置は、風通しがよく平坦で水平な場所を選んでください。

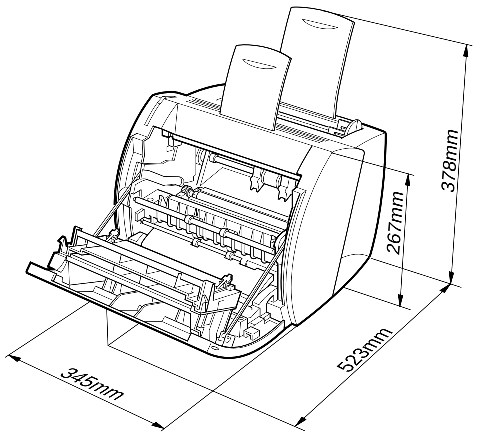
メモ

- **設置に関する注意事項については、別冊の「⚠安全にお使いいただくために」を必ずご覧ください。**

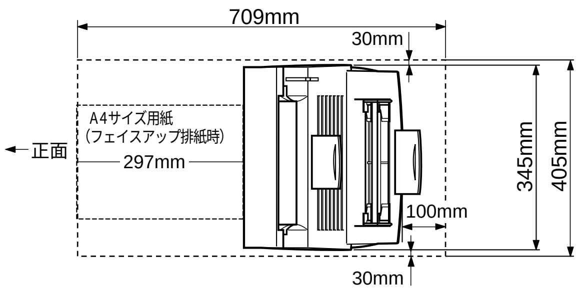
- 電源電圧は以下の範囲でご使用ください。
  AC100V ± 10%
  50 〜 60Hz ± 2Hz
- 本プリンタの最大消費電力は 495 W以下です。電源容量に十分余裕のある、独立した電源コンセントから電源が取れる場所を選んでください。
- 温度、湿度が以下の範囲の場所でご使用ください。
  周囲温度：10 〜 32.5℃
  周囲湿度：20 〜 80%RH（結露のないこと）

本プリンタの寸法は次のとおりです。設置する際には、プリンタの周囲に、図のような空間を確保してください。

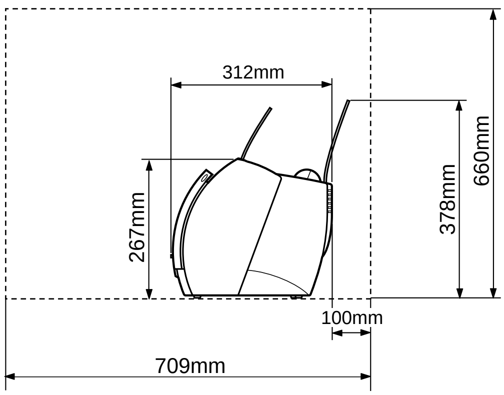
プリンタの寸法



設置に必要なスペース
（上から見た図）



（横から見た図）



プリンタを設置する

お願い

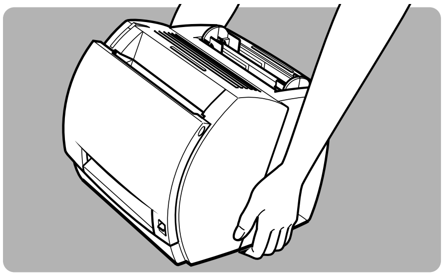
- 直射日光や強い光の当たる場所には設置しないでください。本体給紙口のすき間から直射日光や強い光が入るとトナーカートリッジ内のドラムが劣化し、印字品質が低下する恐れがあります。
- 本プリンタのある部屋を急激に暖めた場合や、本プリンタを温度や湿度の低いところから高いところへ移動した場合、プリンタ内部に水滴が生じることがあります（結露現象）。このような場合、本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、1時間以上放置してからご使用ください。
  プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙詰まりの原因となったり、印刷不良となることがあります。また、プリンタ上部のエラーランプが点灯し、印刷処理が停止してしまうことがあります。
- 高温・高湿環境において、用紙の種類によっては良好な印字結果が得られないことがあります。
- 本プリンタの重量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）に設置することは避けてください。
- アンモニアなど腐食性のガスが発生する場所や空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 振動のある場所、磁石や磁場が発生する機器の近くには、設置しないでください。

お願い

- 超音波加湿器をご使用のお客様へ
  超音波加湿器をご使用の際に水道水や井戸水をご使用になりますと、水の中の不純物が大気中に放出され、プリンタ内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

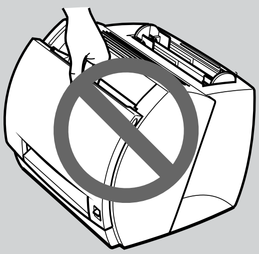
正しい持ち方

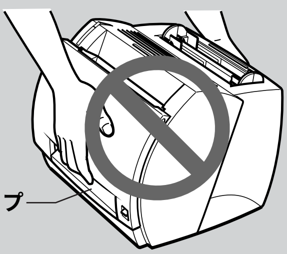
本体下に手を入れて側面から持ち上げてください。持ち上げにくい場合は横に傾け、下に手を差し入れてから両手でしっかり持ち上げてください。



注意

- フロントカバーに手をかけたり、本体の前後に手をかけて持ち上げないでください。本体を破損したり、落としてけがをする恐れがあります。





- フェイスアップ排紙口に手をかけると、排紙方法が切り替わることがあります。

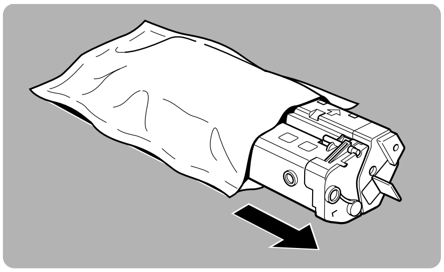
3 トナーカートリッジをセットする

トナーカートリッジ(EP-22カートリッジ)は、次のような手順でセットします。

1

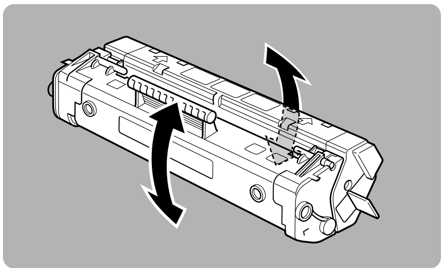
トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

トナーカートリッジが入っていた保護袋は、トナーカートリッジを取り出して保管するときに必要になりますので、捨てずに保管しておいてください。



2

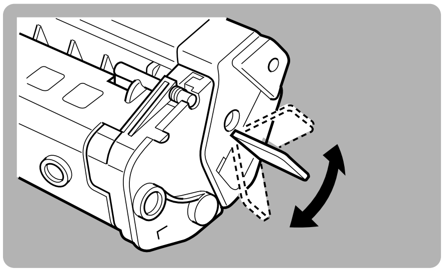
図のような方向にトナーカートリッジをゆっくりと5～6回ゆすり、内部のトナーをならします。



3

トナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジ側面のタブを図のように折り曲げます。

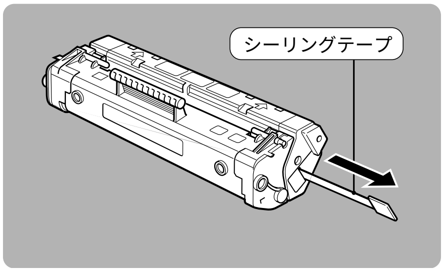
シーリングテープが引ける状態になります。



4

シーリングテープを水平に引き抜きます。

斜めや下向きに引くと、途中で切れて引き抜けなくなることがあります。



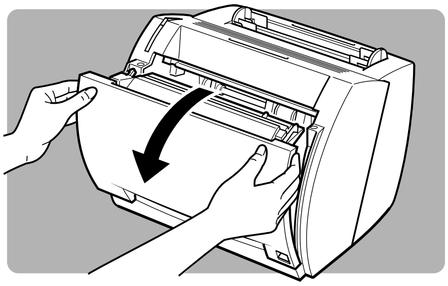
注意

- **万一、トナーが手や衣服についたら、すぐに水で洗い流してください。**
- **温水で洗うと、トナーが融着して汚れが取れなくなることがあります。**

トナーカートリッジをセットする

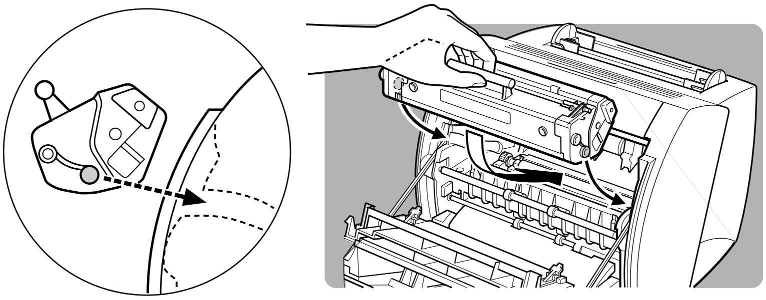
5

フロントカバーを開けます。



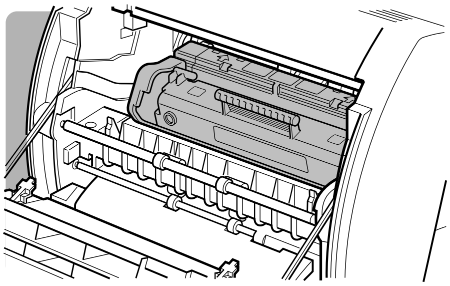
6

トナーカートリッジの左右の突起を本体内部のガイドに合わせて押し込みます。



7

奥に突き当たったら、トナーカートリッジのハンドルを奥に倒すように強く押し、カチッとロックされることを確認します。

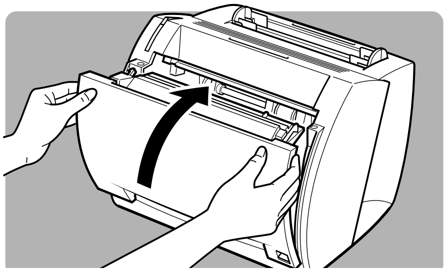


お願い

- トナーカートリッジは、光に対して非常に敏感です。取り扱いを誤ると、内部のドラムが劣化し、印字品質が低下します。カートリッジを取り扱う際には、次のような点に注意してください。
- ・直射日光や強い光に当てないでください。
- ・本体にセットするまでは保護袋から出さないでください。本体から取りはずしたときは、厚い布で包むか、カートリッジが入っていた保護袋に入れてください。
- ・ドラム保護シャッターを手で開けないでください。
- ・トナーカートリッジの取り扱いについては、第７章「トナーカートリッジ取り扱いのご注意」（→ P.168）をご覧ください。

8

フロントカバーを閉じます。



メモ

● トナーカートリッジは消耗品なので、寿命がきたら交換が必要です（→P.165）。寿命は、A4原稿（印字比率5%、印刷濃度が工場出荷時の初期設定値の場合）で約2,500枚です。

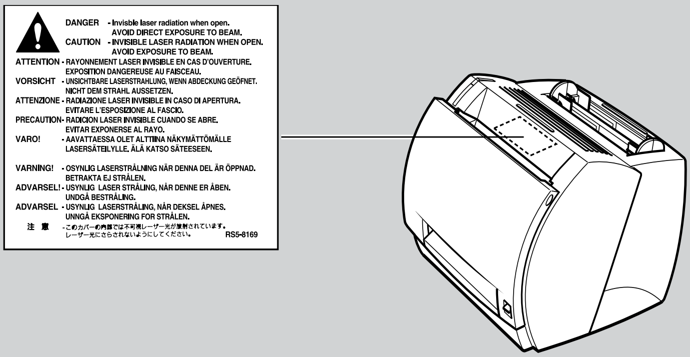
注意

● レーザ光について

レーザ光は人体に有害となる恐れがあります。そのため本プリンタでは、レーザ光はレーザスキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザ光が漏れる心配はまったくありません。
安全のため以下の注意事項を必ずお守りください。

- 本書で指示された以外のカバーは絶対に開けないでください。
- レーザスキャナユニットに貼ってある注意ラベル（下図参照）をはがさないでください。

万一レーザ光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因となることがあります。
レーザ光は目に見えませんので、注意が必要です。



4 パソコンと接続する

設置場所が決まり、プリンタの準備ができたらパソコンと接続します。
接続には、パソコンに対応したインタフェースケーブルをご用意ください。
パソコンのプリンタポートのコネクタは、機種によって異なります。
パソコンと接続した後は、プリンタとパソコンのインタフェース設定が同じになっていることを確認します（→ P.162）。

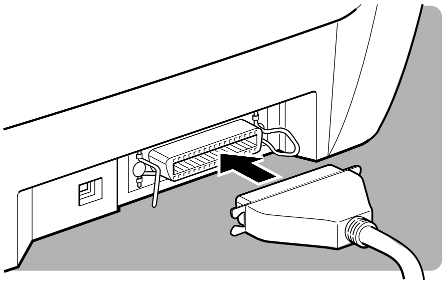
パラレルインタフェースに接続する

注意

- インタフェースケーブルを接続する前に、コンピュータの電源がオフになっていること、およびプリンタの電源コードが接続されていないことを確認してください。

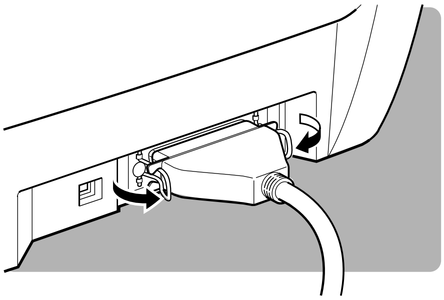
1

プリンタ背面のパラレルインタフェース接続部にケーブルを接続します。



2

コネクタは必ず奥まで差し込み、止め金を掛けて固定します。



3

インタフェースケーブルのもう一方の端を、パソコンのプリンタポートに接続します。

お願い

- お使いのパソコンに対応したインタフェースケーブルがおわかりにならない場合は、お使いのパソコンを購入された販売店にお問い合わせください。

USB ポートに接続する

USB（Universal Serial Bus）は、コンピュータ本体と周辺機器を接続するための新しい規格です。

メモ

- **次のときは、USB ケーブルの差し抜きをしないでください。**
  - **・プリンタドライバのインストール中**
  - **・コンピュータの電源を入れて、OS（Windows または Mac OS）が起動するまでの間**
  - **・プリンタが印刷中**

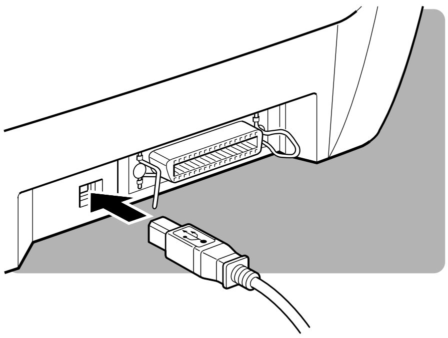
  USBケーブルは、コンピュータやプリンタの電源が入っているときでも、ケーブルの抜き差しが行えます。ただし、上記の場合にケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやプリンタが正しく動作しなくなる場合があります。
- **USB ケーブルの差し抜きは、5 秒以上の間隔をあけてください。**
  コンピュータやプリンタの電源が入っている状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、必ず抜いてから 5 秒以上の間隔をあけて差すようにしてください。抜いてからすぐにケーブルを差し込むと、正しく動作しないことがあります。
- **本プリンタを USB で使用するには、以下の条件を満たす必要があります。**
  - **・お使いのパソコンに USB ポートが装備されており、メーカーにより USB の動作が保証されていること。**
  - **・Windows 98/Me/2000/XP がインストールされていること。**

警告

- **感電防止のため、USB インタフェースに接続する前には必ずアースコードを接続してください。ただし、絶対にガス管や水道管、電話線のアース、避雷針などに接続しないでください。火災や感電の原因になります。**
- **USBケーブルを接続したり抜いたりするとき、プラグの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。**

1

プリンタ背面の USB インタフェース接続部にケーブルの四角い方を接続します。



パソコンと接続する

2

ケーブルの平らな方を、パソコンの USB ポートに接続します。

これで接続は完了です。

メモ

- お使いのパソコンに、本プリンタの電源がオンになっている状態で接続した場合、USB クラスドライバのインストールを開始するダイアログボックスが表示されることがあります（→ 98 は P.31、Me は P.34、 2000 は P.105、XP は P.113）。
- お使いのパソコンに対応したUSBケーブルがおわかりにならない場合は、パソコンを購入された販売店にお問い合わせください。

5 電源をオンにする／オフにする

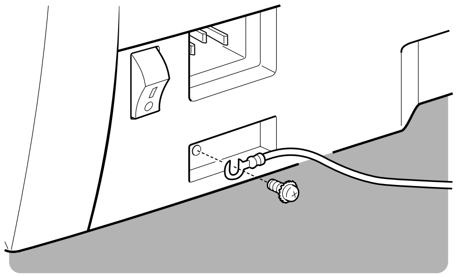
アースコードを接続する

注意

●感電防止のため、プリンタの電源ケーブルが接続されていないことを確認してください。

1

本体背面のアースコード接続部に、アースコードを接続します。



2

アースコードを専用のアースに接続します。

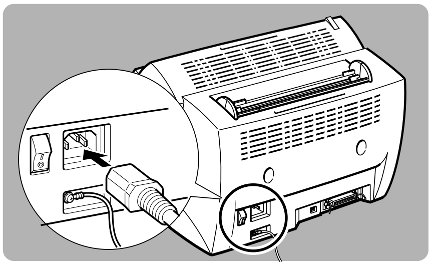
警告

●感電防止のため、アースコードは必ず接続してください。ただし、絶対にガス管や水道管、電話線のアース、避雷針などに接続しないでください。火災や感電の原因になります。

電源コードを接続する

1

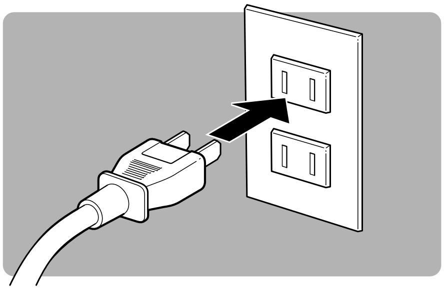
本体背面の電源コード接続部に、電源コードを接続します。



電源をオンにする／オフにする

2

電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。



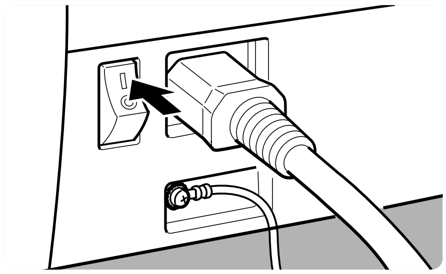
お願い

- 電源コードは、なるべく１つのコンセントを専用にして使用してください。
- パソコン本体の補助コンセントから電源をとらないでください。
- 本プリンタに無停電電源を接続した場合、停電発生時に誤動作もしくは故障が発生する恐れがありますので、無停電電源に本プリンタを接続しないでください。

電源スイッチをオンにする

1

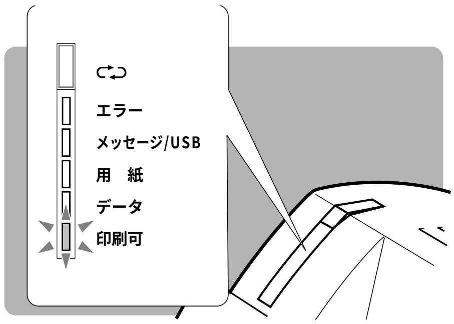
本体背面にある電源スイッチのＩマークを押します。



2

電源オンになると、プリンタ本体の印刷可ランプが点灯し、印刷可能な状態になります。

用紙をセットしていないときは、用紙ランプが点灯します。用紙をセットすると用紙ランプは消灯し、印刷可ランプが点灯します。

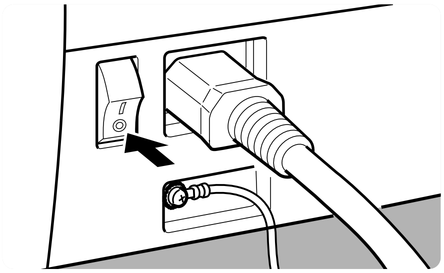


電源スイッチをオフにする

1

本体背面にある電源スイッチの○マークを押します。

プリンタ本体のランプがすべて消灯し、電源がオフになります。

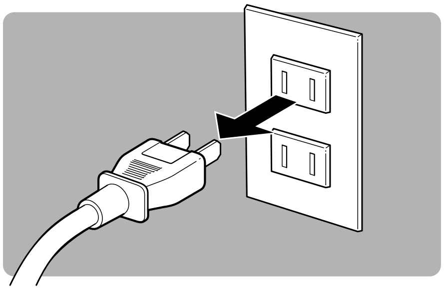


電源コードをはずす

長期間ご使用にならない場合は、コンセントから電源コードのプラグをはずしてください。

1

データランプが消灯していることを確認し、電源コードのプラグをコンセントからはずします。



お願い

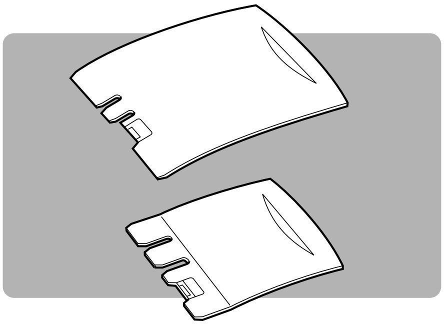
- **データランプが点灯している状態で電源コードをはずすと、プリンタのメモリに残っているデータは消去されてしまいます。必要なデータは、操作ボタンを押して出力してから電源をオフにしてください（→ P.193）。**

6 給紙ガイド・排紙ガイドをセットする

1

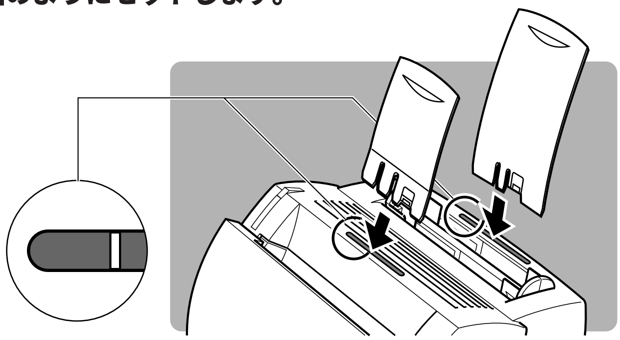
給紙ガイドと排紙ガイドを確認します。

大きい方が給紙ガイドです。



2

給紙ガイドと排紙ガイドを図のようにセットします。

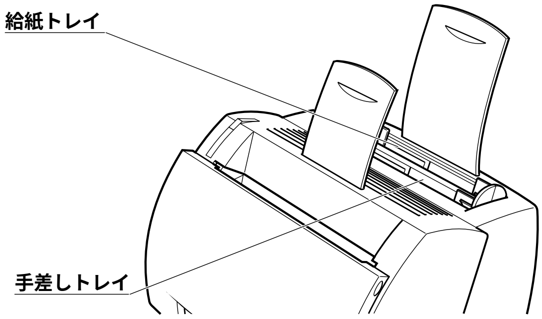


お願い

●給紙ガイド（大きい方）と排紙ガイド（小さい方）は大きさが異なっています。また、各ガイドには溝がついています。合わない差し込み口には、無理にセットしないでください。

7 用紙をセットする

本プリンタには、本体上部に給紙トレイと手差しトレイの2つのトレイがあります。給紙トレイは最大約125枚まで積載が可能です。手差しトレイは1枚ずつ手で給紙して使用します。



お願い

- 手差しトレイに用紙が入っている場合は、給紙トレイよりも手差しトレイから優先して給紙されます。
- 一回の印刷の枚数は、ハガキや幅が182mm未満の用紙を連続で印刷する場合は45枚、封筒は40枚までにしてください。それ以上の枚数の印刷を連続で行う場合は、30分以上の休止時間を設け、プリンタ本体を十分に冷却してから印刷を再開してください。冷却が不十分なまま印刷を再開した場合、本体内部定着器周辺が昇温し、プリンタが故障する恐れがあります。

メモ

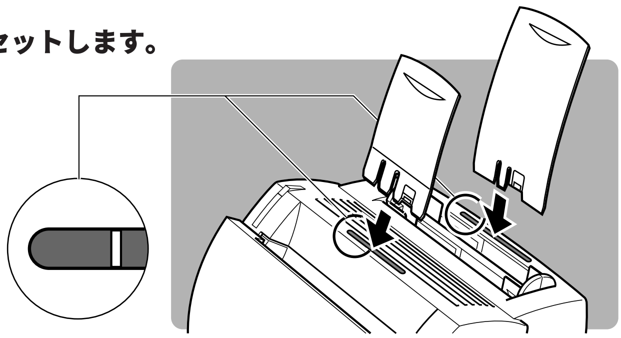
- 長さがB5サイズ以下の用紙を連続で印刷する場合に、定着器を保護するためプリント速度が落ちることがあります。

給紙トレイにセットする

給紙トレイにセットできる用紙の枚数は、最大約125枚（64g/m^2の用紙）です。

1

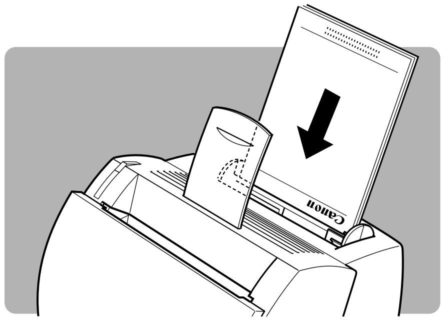
給紙ガイド、排紙ガイドをセットします。



用紙をセットする

2

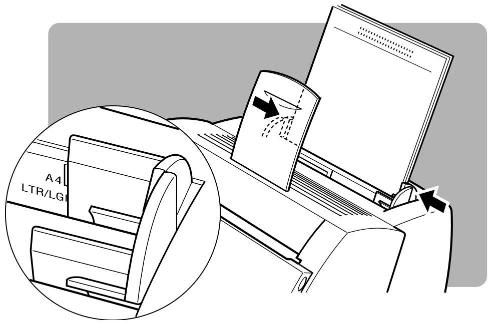
給紙トレイに用紙を入れます。



用紙の束がトレイの奥に突き当たるまで、軽く押してください。
ロゴ付きの用紙に印刷する場合は、印刷する面を正面に向け、用紙の上側を下に向けてセットします。

3

用紙のサイズに合わせて、左右の用紙ガイドを移動させます。



用紙と左右のガイドの間にすき間がないように合わせてください。

4

電源スイッチをオンにすると、印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。

メモ

- **印刷の向き（縦長印刷と横長印刷）は、プリンタドライバの［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択して設定します（→ P.57）。**

お願い

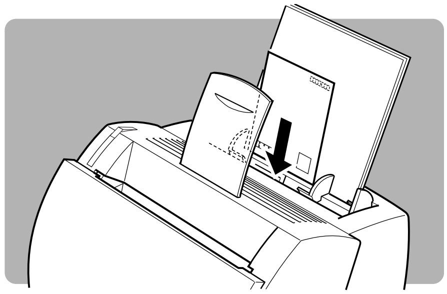
- **異なる種類の用紙をまぜて同時にセットしないでください。**
  用紙をセットする場合は、できるだけトレイの用紙がなくなってから新しい用紙をセットしてください。
- **用紙を途中で補給する場合は、まずいったんトレイにセットされた用紙を取り出して、新しい用紙と合わせて揃えてからセットし直してください。**

手差しトレイにセットする

給紙トレイにセットした用紙と異なるサイズの用紙に印刷したいときや、OHP フィルム、ラベル用紙、官製はがきなどに印刷したいときに手差しトレイを使用して印刷します。
手差しトレイには、用紙を 1 枚ずつセットして使用します。手差しトレイに用紙があると、常に優先的に印刷されます。

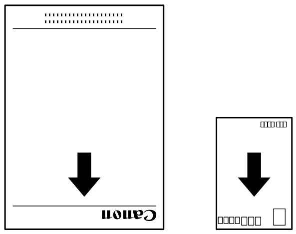
1

手差しトレイに用紙を、1 枚ずつ入れます。



はがきや封筒などの厚紙の場合は、確実に給紙させるために、用紙をセットした後、用紙をトレイの奥に向けて軽く押してください。

官製はがきやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、印字面を正面に向け、用紙の上側を下に向けてセットします。

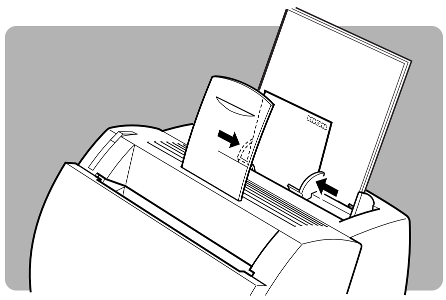


お願い

- **封筒のセット方法については、「封筒をセットする」（→ P.19）を参照してください。**

2

用紙のサイズに合わせて、左右の用紙ガイドを移動させます。



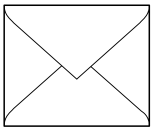
お願い

- **OHP フィルム、ラベル用紙、官製はがき、往復はがき、封筒はフェイスアップ排紙で印刷してください（→ P.24）。**

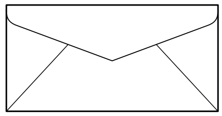
封筒をセットする

LBP-350で封筒に印刷する場合は、以下のようにセットします。
本プリンタで使用できる封筒は、「洋形２号」と「洋形４号」で、図のような構造のものに限られます。封筒に印刷する場合は、LBP-350に付属のWindows用プリンタドライバの項目「用紙サイズ」で「封筒」を選択してください。

洋形2号



洋形4号



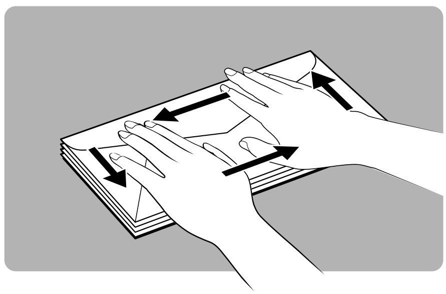
（推奨品）　Canon LBP専用封筒Y-201（114×162mm）　Canon LBP専用封筒Y-401（105×235mm）

お願い

- **洋形２号、洋形４号以外の封筒には、うまく印刷できないことがあります。**
- **封筒の裏面には印刷しないでください。**
- **封筒は、封筒の周囲10mmより内側の範囲にプリントできます。お使いのアプリケーションによっては、印字位置をずらしてお使いください。**

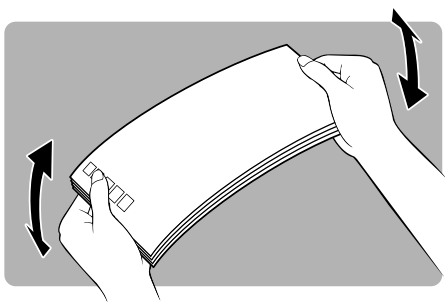
1

封筒の周囲を押さえて、きちんと折り目をつけます。



2

封筒の両端を持って、上下に動かし封筒をさばきます。

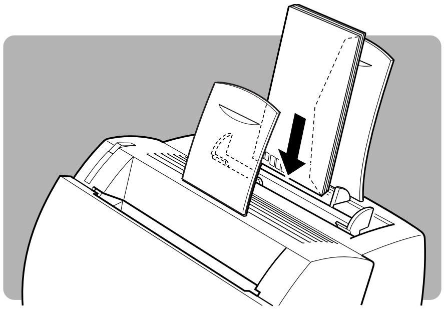


3

封筒の端を揃えてトレイにセットします。

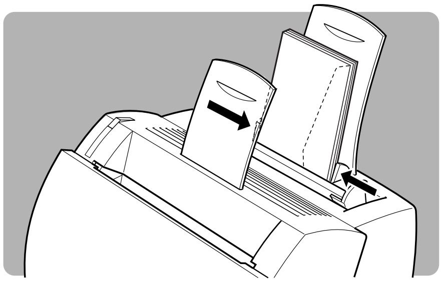
印字面を正面に向け、上端を下に、フラップ部分を右に向けてセットします。

給紙トレイには、約7枚までセットできます。



4

封筒のサイズに合わせて、左右の用紙ガイドを移動させます。

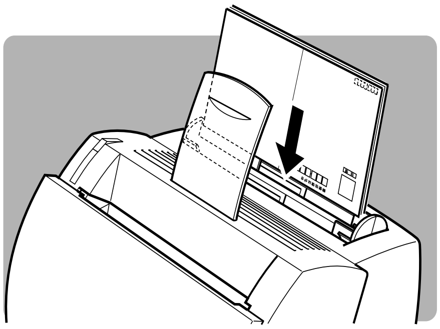


往復はがきをセットする

1

往復はがきは、右図のような方向でセットします。

「給紙トレイにセットする」（→ **P.16**）同様に、用紙ガイドを移動させて完了です。



用紙をセットする

ご使用いただける用紙

本プリンタを活用していただくために、適切な用紙をご使用ください。用紙が適切でないと印字品質が低下したり紙詰まりの原因になります。
給紙トレイの積載容量は積載厚 12.5mm 以下までです。

<table>
<tr><th rowspan="2">用紙の種類</th><th rowspan="2">サイズ</th><th rowspan="2">重さ</th><th colspan="2">一度にセットできる枚数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>給紙トレイ</th><th>手差しトレイ</th></tr>
<tr><td>普通紙</td><td rowspan="2">100×148㎜～210×297㎜[*1]
A4　　：210×297㎜
B5　　：182×257㎜
A5　　：148×210㎜
（縦給紙のみ）
レター　：216×279㎜</td><td>64g/㎡</td><td>64g/㎡用紙で約125枚</td><td>1枚</td><td></td></tr>
<tr><td>厚紙</td><td>91～105g/㎡</td><td>約85枚</td><td>1枚</td><td></td></tr>
<tr><td>OHPフィルム</td><td>A4</td><td>—</td><td>約100枚</td><td>1枚</td><td>キヤノン推奨品LBP用OHPフィルムA4の重さは8.7gです。</td></tr>
<tr><td>ラベル用紙</td><td>A4</td><td>—</td><td>約80枚</td><td>1枚</td><td>キヤノン推奨品ラベル用紙A4の重さは7.8gです。</td></tr>
<tr><td>官製はがき</td><td>100×148㎜</td><td>—</td><td>約45枚</td><td>1枚</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>往復はがき</td><td>200×148㎜</td><td>—</td><td>約45枚</td><td>1枚</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>洋形2号：114×162㎜
洋形4号：105×235㎜</td><td>—</td><td>約7枚</td><td>1枚</td><td>キヤノン推奨品LBP専用封筒Y201、Y401</td></tr>
</table>

[*1] 幅 182mm 未満の用紙の場合は、長さ 235mm 以下の用紙のみ使用可能です。

お願い

- **幅182mm未満の用紙の場合、長さ236mm以上の用紙は使用できません。誤って使用すると、プリンタが故障する恐れがあります。必ず235mm以下の用紙をご使用ください。**
- **一回の印刷の枚数は、ハガキや幅が182mm未満の用紙を連続で印刷する場合は45枚、封筒は40枚までにしてください。それ以上の枚数の印刷を連続で行う場合は、30分以上の休止時間を設け、プリンタ本体を十分に冷却してから印刷を再開してください。冷却が不十分なまま印刷を再開した場合には、本体内部の定着器周辺が昇温し、プリンタが故障する恐れがあります。**

メモ

- **長さがB5サイズ以下の用紙を連続で印刷する場合に、定着器を保護するためプリント速度が落ちることがあります。**

ご使用いただけない用紙

次のような用紙は、紙詰まりやプリンタ本体の故障、トラブルの原因になりますので、使用しないでください。

紙詰まりを起こしやすい用紙	・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙 ・不規則な形の用紙 ・湿っている用紙、濡れている用紙 ・破れている用紙 ・表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙 ・バインダ用の穴やミシン目のある用紙 ・カールした用紙や折り目のある用紙 ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙 ・裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙 ・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可） ・バリやしわのある用紙、角折れ用紙
高温によって変質する用紙	・定着器の熱（約170℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発生するインクを使用した用紙 ・感熱用紙 ・表面加工したカラー用紙 ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙 ・糊などが付いている用紙
プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙	・カーボン紙 ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙 ・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
トナーが定着しにくい用紙	・ざら紙、和紙のような表面がざらざらしている用紙、繊維の粗い用紙 ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙詰まりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに注意してください。

- **用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。**
- **用紙の包装紙は、湿気を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。**
- **平らな場所に保管してください。**
- **床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。**
- **用紙が丸まったり折り目がつくような置き方をしないでください。**
- **用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。**
- **直射日光の当たる場所や湿度の高い場所に保管しないでください。**
- **保管場所と使用する場所の温度に著しく差がある場合は、包装したままで1日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。**

8 排紙方法を選ぶ

LBP-350では、印刷する用紙の排紙方法を選択できます。排紙方法には印字面を下向きにして排紙するフェイスダウンと、上向きにして排紙するフェイスアップがあります。用途によって使い分けてください。

排紙方法の切り替えは、本体前面にある排紙切替レバーで行います。

お願い

- **印刷中は、絶対に排紙切替レバーを操作しないでください。**

1

用紙の種類と排紙方法

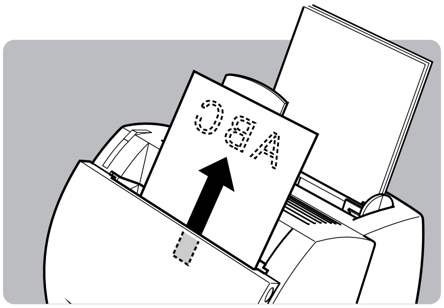
本プリンタには、２つの排紙方法があります。用紙の種類によって、適切な排紙方法を選択します。

用紙の種類	使用できる排紙方法	排紙枚数
普通紙	フェイスアップ フェイスダウン	1枚（64g/㎡） 約50枚（64g/㎡）
OHPフィルム	フェイスアップ	1枚
ラベル用紙	フェイスアップ	1枚
官製はがき	フェイスアップ	1枚
往復はがき	フェイスアップ	1枚
封筒	フェイスアップ	1枚

フェイスダウン排紙

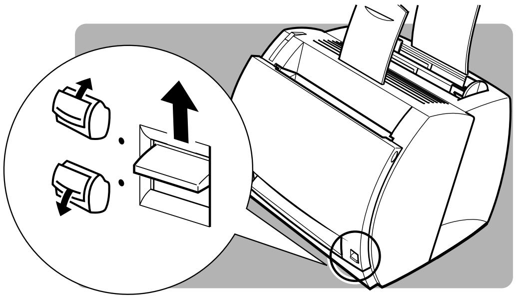
フェイスダウン排紙は、印字面を下向きにして、本体上側のフェイスダウン排紙トレイに排紙されます。

印刷した順に用紙が積み重なります。通常はこの排紙方法が便利です。

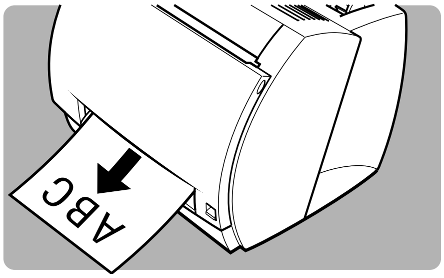


1

排紙切替レバーを上（ ）にします。



フェイスアップ排紙



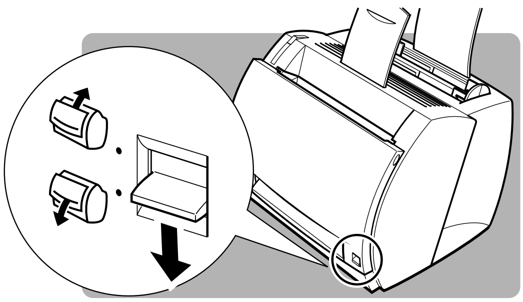
フェイスアップ排紙は、印字面を上向きにして、本体前面のフェイスアップ排紙口から排紙されます。

プリンタ内部通過時に、用紙がまっすぐ排出されるので、カールしやすいOHPフィルム、ラベル用紙、官製はがきなどに印字するときに使用します。ただし、用紙の重なりは印刷した順と逆になります。

1

排紙切替レバーを下（ ）にします。

本体前面に排紙された用紙は 1 枚ずつ取り除いてください。



お願い

- **フェイスアップ排紙口に出てきた用紙を無理にひっぱらないでください。**
- **本プリンタには排紙トレイがありません。排紙された用紙は手または机などで受けてください。**
- **フェイスアップ排紙口の前に物を置かないでください。排紙が妨げられて紙詰まりの原因になることがあります。**
- **用紙の丸まりや紙詰まりを防ぐため、OHP フィルム、ラベル用紙、官製はがき、往復はがき、封筒はフェイスアップで排紙してください。**

9 印刷を行うには

プリンタのセットアップが終了したら、印刷に必要なソフトウェアのインストールおよび設定作業を行う必要があります。ここでは、アプリケーションから印刷を行うまでに必要な作業を簡単に説明します。

Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP から印刷するときに必要な作業

プリンタを接続したあとに行う作業

❶ プリンタドライバとNetSpot Job Monitor、NetSpotをインストールする

プリンタドライバは、Windowsアプリケーションから印刷するときに必ず必要なソフトウェアです。本プリンタに付属のCD-ROMからパソコンにインストールして使用できるようにします(→95/98/Meは**P.30**、NT 4.0は**P.86**、2000/XPは**P.104**)。

NetSpot Job Monitor、NetSpotはプリンタをより快適に使用するためのソフトウェアです。必要に応じて、本プリンタに付属のCD-ROMからパソコンにインストールして使用できるようにします(→95/98/Meは**P.42**、NT 4.0は**P.90**、2000/XPは**P.123**)。

印刷のたびに行う作業

❶ プリンタドライバで設定する

プリンタの用紙サイズ、原稿のサイズ、印刷枚数、印刷の品質などの情報をプリンタに伝える作業です。この設定が適切でないと、期待した印刷結果が得られないことがあります（→95/98/Meは**P.52**、NT 4.0は**P.97**、2000/XPは**P.130**）。

❷ 印刷する

アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

Windows NT 3.5/3.51から印刷するときに必要な作業

Windows NT 3.5/3.51から印刷するときに必要なプリンタドライバが、付属のCD-ROM「User Software for LBP-350」に収録されています。インストール方法は、付録「8 Windows NT 3.5/3.51用プリンタドライバのインストール手順」(→**P.224**)を参照してください。

2

第2章　Windows 95/98/Meから印刷するには

ここでは、Microsoft　Windows　95日本語版、Microsoft　Windows　98日本語版、Microsoft Windows Me日本語版から印刷する手順およびLBP-350のいろいろな機能の利用方法について説明します。

1 必要なシステム環境

LBP-350に付属のソフトウェアがWindows 95/98/Me上で動作するために必要なシステム環境について説明します。

Windows 95/98/Me用プリンタドライバ / NetSpot Job Monitor/NetSpot

Windows 95/98/Me用プリンタドライバは、以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア	Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
コンピュータ	上記 OS が動作するコンピュータ

USB クラスドライバは、以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア	Microsoft Windows 98/Me 日本語版
コンピュータ	上記 OS が動作するコンピュータ

Windows 95/98/Me 用 NetSpot Job Monitor は、以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア	Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
ハードウェア	
CPU	Intel 社製 CPU i486/Pentium 系
メモリ	16MB 以上
画面サイズ	640 × 480 ドット以上の表示解像度を持つディスプレイ
カラー	256 色以上の表示色を持つディスプレイ
ハードディスク容量	
	動作時に 10MB 以上が必要

必要なシステム環境

Windows 95/98/Me用NetSpotは、以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア	Microsoft Windows 95/98/Me日本語版
ハードウェア	
パソコン	IBM PC機 / その互換機、PC-98シリーズ
メモリ	16MB以上
ハードディスク	25MB以上の空き領域 + システムドライブに6MB以上の空き領域
画面	640 × 480　16色以上（256色以上を推奨）
対応しているプリンタの接続形態	
	NetSpotを使用するパソコンのパラレルインタフェースに接続されているプリンタまたはUSBポートを使用して接続されているプリンタ

お願い

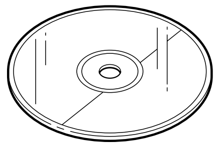
- **Microsoft Windows 95/98/Me英語版ではお使いになれません。**
- **これらのソフトウェアをインストールするにはCD-ROMドライブが必要です。CD-ROMドライブが使用できないパソコンにインストールする方法については、付録6「CD-ROMドライブが使用できないパソコンにインストールするには」（→ P.216）をお読みください。**
- **プリンタをネットワークで共有して、NetSpot Job Monitorの機能を使用するためには、ネットワークに接続されているパソコンにNetSpot Job Monitorをインストールし、そのパソコンのプリンタポートまたはUSBポートにプリンタを接続（ローカル接続）し、そのプリンタを共有プリンタとして設定しておく必要があります。**
- **NetSpotは、PC98シリーズ（PC98-NXを除く）にローカル接続されたプリンタには対応していません。**
- **プリンタドライバなどのソフトウェアは、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。最新バージョンをお使いになるには、巻末の「ソフトウェアのバージョンアップについて」を参照して、バージョンアップを行ってください。**

2 プリンタドライバをインストールする

Windows 95/98/Me で印刷するには、あらかじめ LBP-350 用のプリンタドライバをインストールしてください。ここではその手順を説明します。

インストールの前に

プリンタドライバは付属の CD-ROM「User Software for LBP-350」に入っています。インストールを始める前に手元に置いておきましょう。



お願い

●プリンタドライバは Windows 95/98/Me から印刷するときに必要です。必ずインストールしてください。NetSpot Job Monitor をインストールしなくても印刷はできます。

本プリンタには、パソコンと接続するためのインタフェースとして、パラレルインタフェースとUSBの2種類に対応しています。お使いのOSにより、ご使用いただけるインタフェースの種類やインストールするソフトウェアが異なります。

本プリンタをお使いになる上で必要なソフトウェア

OS	使用可能なインタフェース	USBクラスドライバ	プリンタドライバ
Windows 95	パラレルインタフェース	必要ありません	**インストールが必要**
Windows 98/Me	USB	**インストールが必要**	**インストールが必要**
	パラレルインタフェース	必要ありません	**インストールが必要**

お使いの環境にあったインストールを行ってください。

・Windows 98 用 USB クラスドライバのインストール手順→ **p.31**
・Windows Me 用 USB クラスドライバのインストール手順→ **p.34**
・Windows 95/98/Me 用プリンタドライバのインストール手順→ **p.36**

お願い

●Windows 95 上で USB を使用することはできません。

プリンタドライバをインストールする

Windows 98 用 USB クラスドライバのインストール手順

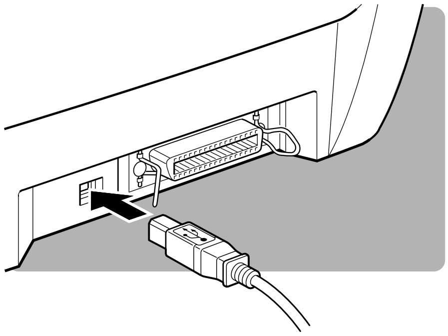
本プリンタを USB で使用するためには、はじめに USB クラスドライバをインストールする必要があります。以下に手順を示します。

メモ

- 本プリンタをUSBで使用するには、お使いのパソコンにUSBポートが装備されており、メーカーにより USB の動作が保証されている必要があります。
- 手順 1 ～ 3 は、Windows を起動する前に行ってください。

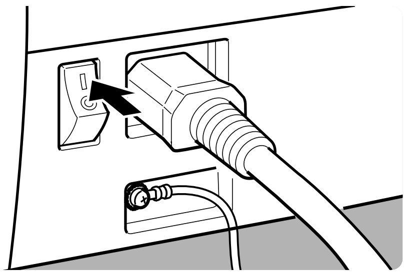
1

プリンタ背面のUSBインタフェース接続部に、ケーブルの四角い方を接続します。



2

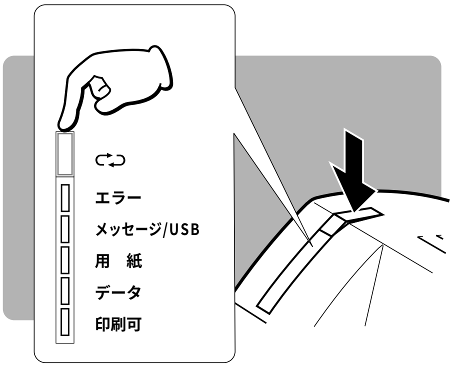
本プリンタの電源をオンにします。



3

操作ボタンを連続して 2 回押し、USB が使用できる状態にします。

メッセージ /USB ランプが点灯します。



2

4

Windows を起動します。

［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。

5

［次へ］ボタンをクリックします。



6

［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



7

付属のCD-ROMを挿入して、［検索場所の指定］を選択します。［参照］ボタンをクリックして［CD-ROM ドライブ名:\USBPORT\WIN98_ME］を指定し、［次へ］ボタンをクリックします。



プリンタドライバをインストールする

8

［次へ］ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。



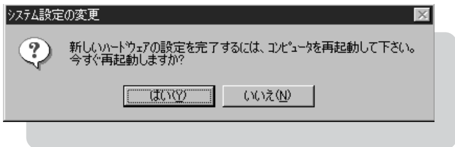
9

インストールが終了したら、［完了］ボタンをクリックします。



10

メッセージが表示されますので［はい］ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。



メモ

- マイコンピュータを右クリックして、プロパティを選択します。システムのプロパティのデバイスマネージャに、「Canon LASER SHOT LBP-350 USB Port（LBP.USB1）」が追加されていることを確認してください。
- USBクラスドライバを削除するには、本プリンタからUSBケーブルを抜いた後、［コントロールパネル］にある［アプリケーションの追加と削除］の中から「Canon LASER SHOT LBP-350 USB Port」を選択して、削除してください。

Windows Me 用 USB クラスドライバのインストール手順

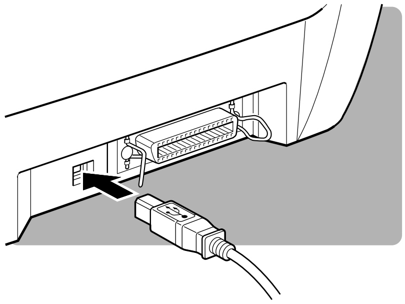
本プリンタを USB で使用するためには、はじめに USB クラスドライバをインストールする必要があります。以下に手順を示します。

メモ

●本プリンタをUSBで使用するには、お使いのパソコンにUSBポートが装備されており、メーカーにより USB の動作が保証されている必要があります。
●手順 1 ～ 3 は、Windows を起動する前に行ってください。

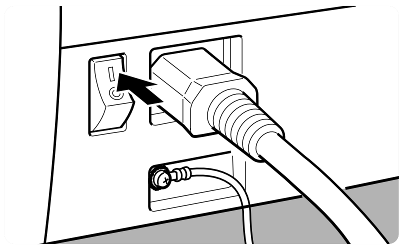
1

プリンタ背面のUSBインタフェース接続部に、ケーブルの四角い方を接続します。



2

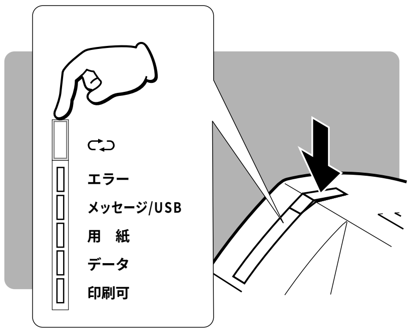
本プリンタの電源をオンにします。



3

操作ボタンを連続して 2 回押し、USB が使用できる状態にします。

メッセージ /USB ランプが点灯します。



4

Windows を起動します。

[新しいハードウェアの追加ウィザード]が表示されます。

プリンタドライバをインストールする

5

付属のCD-ROMを挿入して、[適切なドライバを自動的に検索する(推奨)]が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックします。

インストールが開始されます。



メモ

●ファイルの場所を指定するダイアログボックスが表示されたら、［CD-ROMドライブ名:\USBPORT\WIN98_ME］を指定してください。

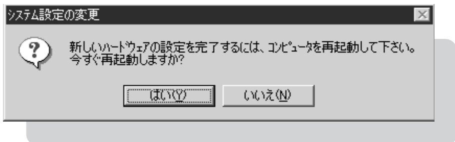
6

インストールが終了したら、[完了]ボタンをクリックします。



7

メッセージが表示されますので[はい]ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。



メモ

●マイコンピュータを右クリックして、プロパティを選択します。システムのプロパティのデバイスマネージャに、「Canon LASER SHOT LBP-350 USB Port (LBP.USB1)」が追加されていることを確認してください。

●USBクラスドライバを削除するには、本プリンタからUSBケーブルを抜いた後、［コントロールパネル］にある［アプリケーションの追加と削除］の中から「Canon LASER SHOT LBP-350 USB Port」を選択して、削除してください。

Windows 95/98/Me 用プリンタドライバのインストール手順

Windows 95/98/Meをお使いの場合は、以下の手順でプリンタドライバをインストールします。

1

プリンタをパソコンに正しく接続し、プリンタの電源をオンにします。用紙をセットし、プリンタの印刷可ランプが点灯していることを確認します。

メモ

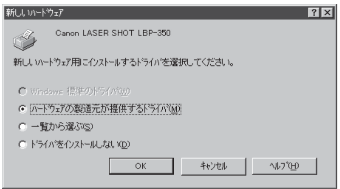
- **プリンタの電源が入っていないときや、印刷可ランプが消えているときは正常にインストールができないことがあります。**

2

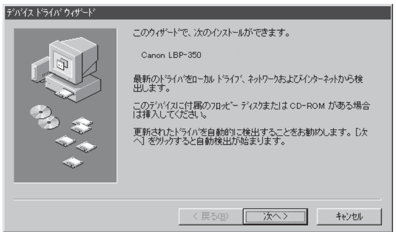
Windows を起動します。

メモ

- **Windowsを起動したときに、［新しいハードウェア］ダイアログボックス（Windows 98/Meでは［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックス）もしくは［デバイスドライバウィザード］ダイアログボックスが表示されたら、［キャンセル］ボタンをクリックします。**



［新しいハードウェア］ダイアログボックス



［デバイスドライバウィザード］ダイアログボックス

3

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。

プリンタドライバをインストールする

お願い

- CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROMメニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状況によってオートスタート機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROMのルートディレクトリにあるAutorun.exeファイルをダブルクリックして起動してください。

4

CD-ROMメニューの［プリンタドライバインストール］ボタンをクリックします。

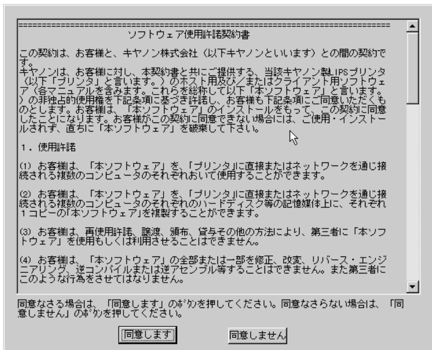
使用許諾契約書が画面に表示されます。



5

使用許諾契約書の内容を確認し、［同意します］ボタンをクリックします。

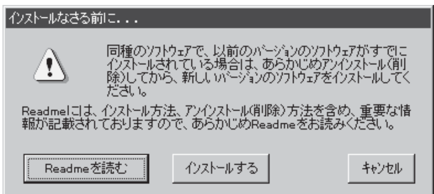
［インストールなさる前に］ダイアログボックスが表示されます。



6

必要に応じてReadmeを読みます。インストールを継続するには、［インストールする］ボタンをクリックします。

［プリンタ］フォルダが表示されます。



7

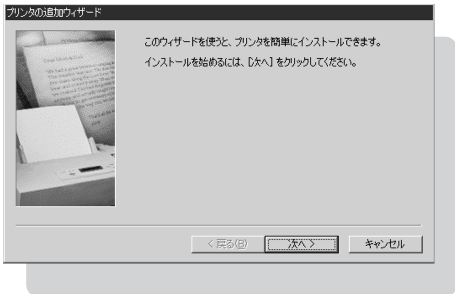
[プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタ ウィザード］が起動します。



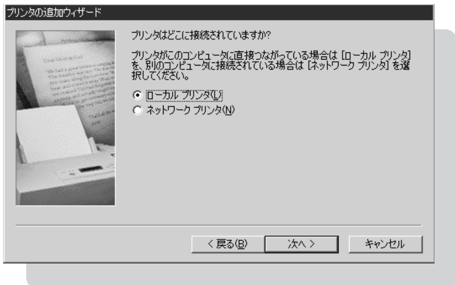
8

[次へ］ボタンをクリックします。



9

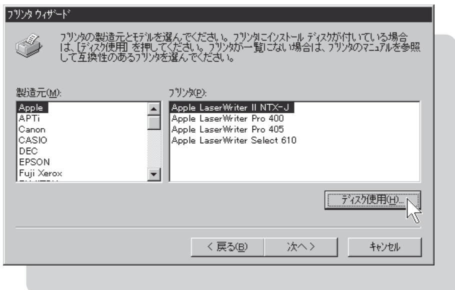
[ローカルプリンタ］が選択されていることを確認して［次へ］ボタンをクリックします。



10

[ディスク使用］ボタンをクリックします。

［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

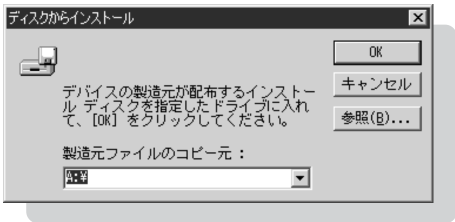


プリンタドライバをインストールする

11

[参照] ボタンをクリックします。

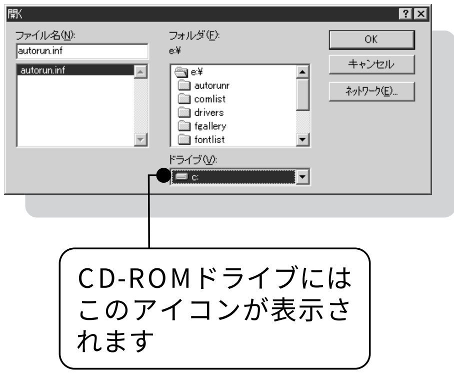
［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。



12

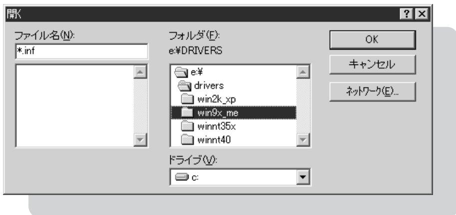
[ドライブ]でCD-ROMをセットしたドライブ名を選択します。

ドライブ名は、お使いのパソコンによって異なります。



13

[フォルダ] で [drivers] をダブルクリックし、次に [win9x_me] をダブルクリックします。



14

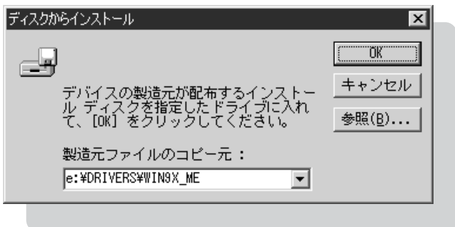
[OK] ボタンをクリックします。

［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスに戻ります。

15

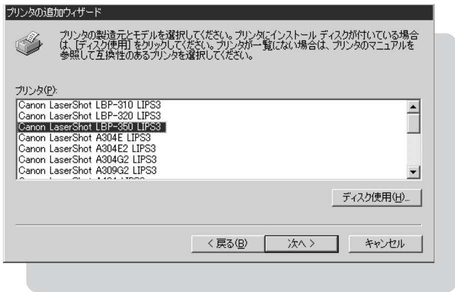
[OK] ボタンをクリックします。

［プリンタ ウィザード］に戻ります。



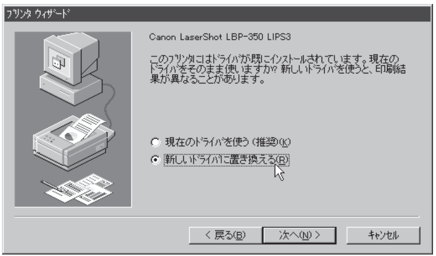
16

プリンタの機種名を選択する画面で、「Canon LaserShot LBP-350 LIPS3」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



お願い

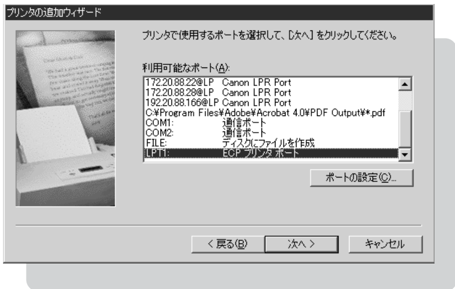
- **お使いの環境によっては、次のような画面が表示されます。その場合は必ず［新しいドライバに置き換える］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックしてください。**



17

プリンタに使用するポートを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

本プリンタをパラレルインタフェースに接続してお使いになる場合は「LPT1」を選択します。
USBポートに接続してお使いになる場合は、「LPT.USB1」を選択します。



お願い

- **必ず、本体側でパラレルインタフェース／USBを切り替えたポートを選択してください。誤ったポートを選択すると印刷できません（→ P.162）。**

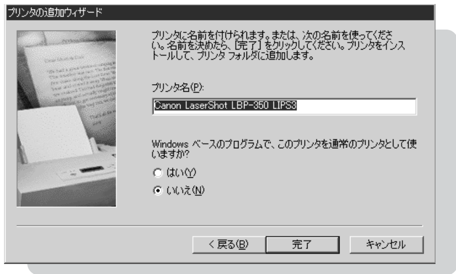
プリンタの名前を設定する画面になります。

プリンタドライバをインストールする

18

ここでは、プリンタアイコンに表示される名前を変更することができます。必要があれば名前を入力します。

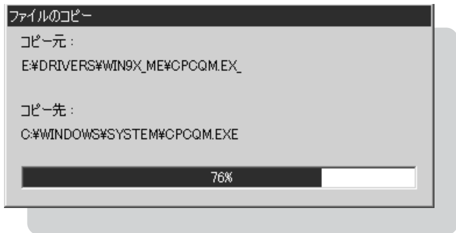
（以降、本書では「Canon LaserShot LBP-350 LIPS3」と入力したものとして説明します。）



19

［完了］ボタンをクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。

以上でプリンタドライバのインストールは終了しました。



2

3 NetSpot Job Monitorを インストールする

Windows 95/98/Meをお使いの場合は、以下の手順でNetSpot Job Monitorをインストールします。

1

Windowsを起動します。

2

付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。

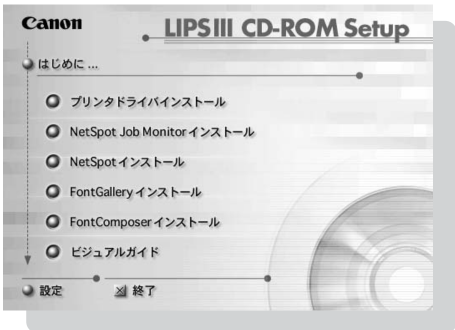
メモ

- **CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROMメニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状況によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROMのルートディレクトリにあるAutorun.exeファイルをダブルクリックして起動してください。**

3

CD-ROMメニューの［NetSpot Job Monitorインストール］ボタンをクリックします。

NetSpot Job Monitorインストーラが起動し、［NetSpot Job Monitorへようこそ］ダイアログボックスが表示されます。

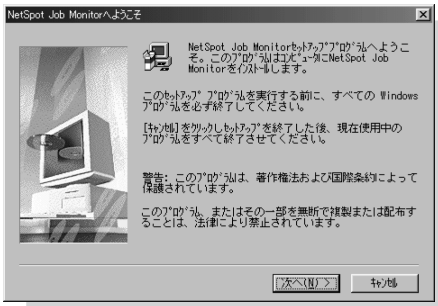


NetSpot Job Monitorをインストールする

4

ダイアログボックスの記載内容を読み、[次へ]ボタンをクリックします。

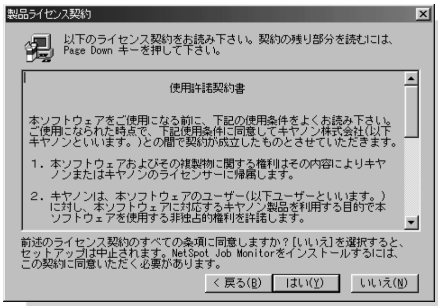
使用許諾契約書が表示されます。



5

使用許諾契約書の内容を確認し、[はい]ボタンをクリックします。

[インストール先の入力] ダイアログボックスが表示されます。



6

NetSpot Job Monitorを組み込むディレクトリを指定します。表示されているディレクトリでよければ、[次へ] ボタンをクリックします。

[参照] ボタンをクリックして、インストール先のディレクトリを別に指定することもできます。画面には [プリンタ機種の選択] ダイアログボックスが表示されます。



7

インストールする機種を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

プリンタの機種名の前のチェックマークをクリックして選択を解除したり、選択し直したりすることができます。

［インストールの確認］ダイアログボックスが表示されます。



8

設定を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

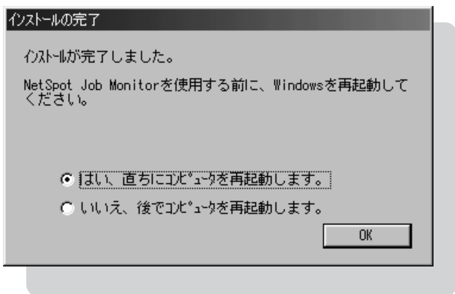
インストールの設定を変更したい場合は、［戻る］ボタンをクリックして、再度設定し直してください。

［次へ］ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



9

インストールが完了すると、［インストールの完了］ダイアログボックスが表示されます。[OK] ボタンをクリックして、Windows を再起動してください。



4 NetSpotをインストールする

必要に応じて以下の手順でNetSpotをインストールします（NetSpotをインストールする前に、プリンタドライバをインストールしてください）。

お願い

- ●インストールの前にNetSpotを管理者モードで使用するか一般ユーザモードで使用するか決める必要があります。
- ・管理者モードと一般ユーザモード
  NetSpot には、管理者モードと一般ユーザモードの 2 つの動作モードがあります。
  管理者モードは、ネットワークプリンタの管理者が使用するモードで、一般ユーザモードで使用できる機能のほかにネットワークの設定などの機能が利用できます。
  一般ユーザモードは通常のユーザが使用するモードです。プリンタの状態を調べる機能やプリンタの各種設定をする機能などが利用できます。

1

Windows を起動します。

2

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。

お願い

- ●CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROM メニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状況によってオートスタート機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある Autorun.exe ファイルをダブルクリックして起動してください。

3

CD-ROMメニューの［NetSpotインストール］ボタンをクリックします。

インストーラを選択する画面が表示されます。



4

管理者モードと一般ユーザモードの両方で使用できるNetSpotをインストールするときは、［管理者モード］ボタンをクリックします。一般ユーザモードのみ使用できるNetSpotをインストールするときは、［一般ユーザモード］ボタンをクリックします。

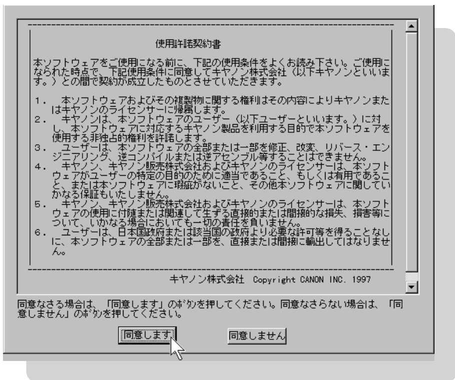
使用許諾契約書が画面に表示されます。



5

使用許諾契約書の内容を確認し、［同意します］ボタンをクリックします。

Readmeを読むかどうかを選択する画面が表示されます。

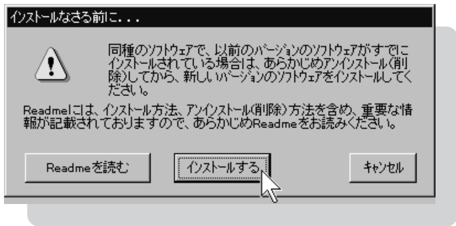


NetSpot をインストールする

6

必要に応じて Readme を読み、［インストールする］ボタンをクリックします。

インストールプログラムが起動します。以下、画面の指示に従ってインストールしてください。



お願い

- **プロトコルを選択する画面では、NetSpot で使用するネットワークプロトコルを選択します。［なし］を選択した場合は、ローカル接続されているプリンタのみ使用できます。**

インストールが完了したら、NetSpot を使用できます。

お願い

- **NetSpot を使用する前に「NetSpot の準備をする」（→ P.71）に従って、必要な設定を行ってください。**

メモ

- **インストール完了後、NetSpot インストーラを起動して［デバイスの追加］を選択すると、NetSpot で管理できるプリンタの種類を追加または削除することができます。**

5 アプリケーションソフトから印刷する

プリンタを正しく設置し、プリンタドライバとNetSpot Job Monitor、NetSpotをインストールしたら、アプリケーションソフトから印刷する準備は完了です。さっそく、アプリケーションソフトから原稿を印刷してみましょう。

ここでは、「Microsoft Word 2000 日本語版」（以下Word 2000と表記）を例にとって印刷の手順を説明します。

お願い

- **印刷の手順は、アプリケーションソフトによって異なります。詳しくは各アプリケーションソフトに付属の説明書をお読みください。**

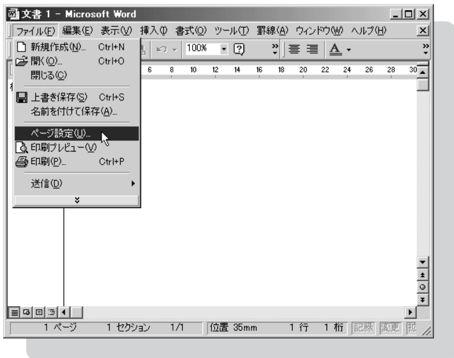
1

Word 2000を起動します。

2

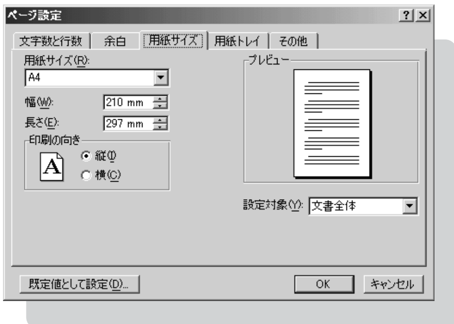
[ファイル] メニューの [ページ 設定] を選択します。

［ページ設定］ダイアログボックスが表示されます。



3

[用紙サイズ] シートで、印刷する原稿の用紙サイズ、印刷の向きを設定し、[OK] ボタンをクリックします。



メモ

- **原稿の用紙のサイズ、印刷の向きの設定場所は、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。**

アプリケーションソフトから印刷する

4

印刷する原稿を作成します。

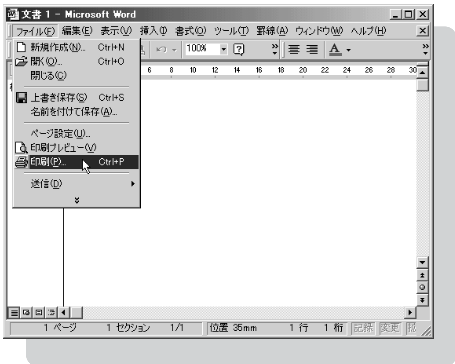
5

プリンタの印刷可ランプが点灯していることを確認します。

6

[ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。



つづいて、印刷する原稿に合わせた効果的な印刷をするために、プリンタの設定を行います。

7

[プロパティ] ボタンをクリックします。

[Canon LaserShot LBP-350 LIPS3 のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。



2

8

この［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3 のプロパティ］ダイアログボックスがプリンタドライバの設定画面です。プリンタドライバの設定を行い、［OK］ボタンをクリックします。

［メイン］シートと［用紙］シートの内容は、印刷を実行するたびに確認することをおすすめします。



9

［印刷］ダイアログボックスで［OK］ボタンをクリックします。

印刷が開始されます。



正常に印刷が終了しないときは、「第 8 章 困ったときには」（→ **P.181**）をお読みください。

6 いろいろな機能を利用するには

**本プリンタはプリンタドライバの設定によって、拡大/縮小して印刷したりトナーを節約しながら印刷することなどができます。
ここでは、いろいろな機能を利用する方法を説明します。**

設定できる機能

よく使う機能

項目名	機能の概要	設定方法
印刷目的（オートパレット）	原稿の内容に合わせて印刷目的アイコンを選択すると、印刷モードが自動的に切り替わります。	プリンタドライバの［メイン］シートで印刷目的アイコンを選択します。
用紙サイズ	印刷時の用紙のサイズを設定します。	プリンタドライバの［用紙］シートの［出力用紙］サイズで設定します。
印刷の向き	用紙を縦長に使うか、横長に使うかを設定します。	プリンタドライバの［用紙］シートの［印刷の向き］で設定します。

使ってみると便利な機能

項目名	機能の概要	設定方法
拡大/縮小	データを拡大または縮小して印刷します。	プリンタドライバの［用紙］シートで設定します。
EMFスプール	高速にアプリケーションソフトを解放するモードの設定をします。	プリンタドライバの［詳細］シートの［スプールの設定］ボタンをクリックし、スプールデータ形式で設定します。
部数	印刷部数を設定します。	プリンタドライバの［用紙］シートの［部数］で設定します。
トナー節約モード	トナー消費量を節約して印刷します。	プリンタドライバの［メイン］シートで［トナー節約］アイコンを選択します。
オーバレイ印字	データを重ね合わせて印刷します。	プリンタドライバの［オーバレイ］シートで設定します。

お願い

- **一部の機能は、NetSpotから設定することもできます。NetSpotから行う設定は、デフォルトの印刷設定となりますが、プリンタドライバで同じ項目を設定したときは、プリンタドライバの設定が優先されます。**
- **用紙サイズ、印刷の向きの設定場所は、アプリケーションソフトによって異なります。詳しくは、「用紙サイズ・印刷の向きの設定」（→ P.58）をお読みください。**
- **イメージモードでオーバレイ印字を行うには、プリンタに8MB以上の拡張メモリが必要です。ただし、スーパーイメージモードではオーバレイ印刷はできません。**

プリンタドライバで設定する

印刷に関する設定は、プリンタドライバで行います。プリンタドライバの設定は、[Canon LaserShot LBP-350 LIPS3 のプロパティ] ダイアログボックスで行います。

お願い

- **[Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ]ダイアログボックスがアプリケーションソフトから開けない場合には、次の「プリンタアイコンから開く方法」(→ P.53)をお読みください。**

1

[Canon LaserShot LBP-350 LIPS3 のプロパティ] ダイアログボックスを開きます。



お願い

- **通常、[Canon LaserShot LBP-350 LIPS3 のプロパティ] ダイアログボックスはアプリケーションソフトの [ファイル] ― [プリンタの設定] メニューや [ファイル] ― [印刷] メニューから開きます。「アプリケーションソフトから印刷する」(→P.48) を参照してください。**

2

シート名をクリックし、設定項目があるシートを表示します。



3

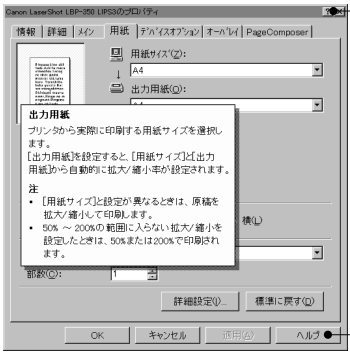
設定項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

いろいろな機能を利用するには

2

お願い

●プリンタドライバの設定項目の詳細は、ヘルプで見ることができます。



?マークをクリックし、続けて調べたい用語をクリックすると各用語の説明が表示されます。

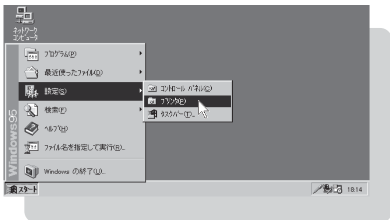
［ヘルプ］ボタンをクリックすると、プリンタドライバのヘルプの目次が表示されます。見たい項目をダブルクリックしていくと、項目の説明が表示されます。

プリンタアイコンから開く方法

［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ］ダイアログボックスをアプリケーションソフトから開けない場合は、プリンタアイコンを開いてプリンタドライバを設定します。

1

［スタート］メニューの［設定］－［プリンタ］を選択します。



2

［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3］アイコンをダブルクリックします。



3

［プリンタ］メニューの［プロパティ］を選択します。



［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3］ダイアログボックスが表示されます。設定のしかたは、アプリケーションでの場合と同じです。

7 原稿の種類に適した印刷目的を設定する（印刷目的アイコンの選択）

写真や絵が入った原稿をきれいに印刷するには細かい設定が必要でしたが、LBP-350 では、印刷目的アイコンを選択するだけで原稿の種類に適した印刷を行うことができます（オートパレット機能）。印刷目的アイコンには、あらかじめ最適な設定が登録されているからです。なお、独自に設定したものを印刷目的アイコンに登録することもできます。

あらかじめ用意されている印刷目的アイコン

あらかじめ用意されている印刷目的アイコンは次の 8 種類です。

アイコン	印刷に適する原稿の内容	特　　長
 スーパーイメージ	絵、写真など、中間色の表現を使った原稿	スーパーイメージモードにより、「ファイン写真」より高密度な中間調処理が可能です。 ＊8MB以上のメモリ増設が必要です。
 ファイン文書	文書、表、図形などが混在する原稿	ファインイメージモード（データ処理解像度600dpi）による美しい印刷ができます。通常はこのモードでお使いください。
 ファイン写真	絵、写真など、中間調の表現を使った原稿	ファインイメージモード（データ処理解像度600dpi）による美しい印刷ができます。 ［写真］よりは印刷時間がかかります。
 文書/表	文章、表などが混在する原稿	LIPSモードで印刷します。TrueTypeフォントはプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。
 DTP	文章、表などが混在する原稿	LIPSモードで印刷します。
 グラフィックス	図形、イラストなどの原稿	標準イメージモードで高速に印刷できます。
 写真	絵、写真など、中間調の表現を使った原稿	標準イメージモードで高速に印刷できます。
 トナー節約	試し刷りなど印刷品位をあまり必要としない原稿	トナーの消費量を節約できます。LIPSモードで印刷します。

原稿の種類に適した印刷目的を設定する（印刷目的アイコンの選択）

メモ

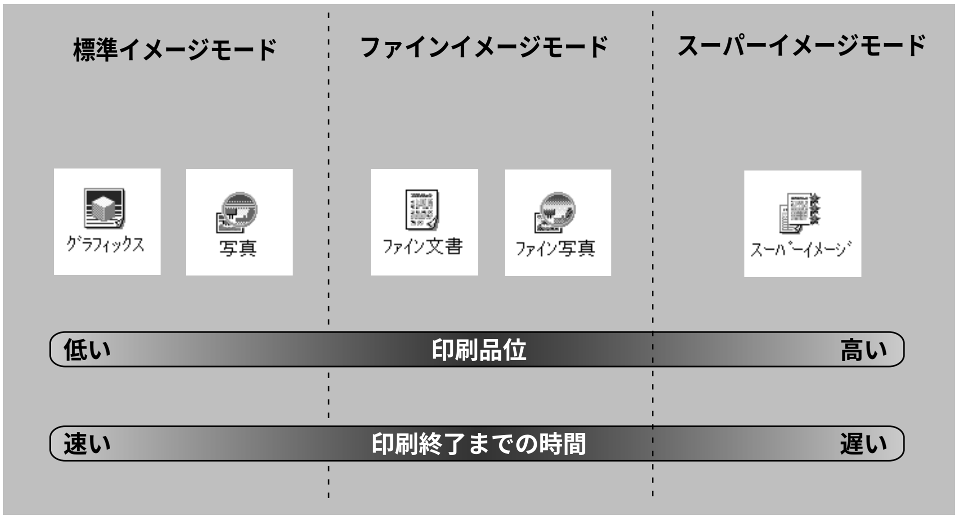
- スーパーイメージモードは、さまざまな原稿をもっとも美しく印刷できるモードです。特に、写真や図形などを印刷するのに適しています。
- ファインイメージモードは、文書、表、図形、写真などのさまざまな原稿を美しく印刷するのに適したモードです。
- 標準イメージモードは、文書、表、図形などのイメージやグラフィックスなど、さまざまな原稿を速く印刷するのに適したモードです。
- LIPS モードは、プリンタフォントが利用できるモードです。

お願い

- ファインイメージモードで印刷する場合、印刷データによってはプリンタのメモリが不足し印刷できないことがあります（プリンタに拡張メモリを増設するとどんなデータでもファインイメージモードで印刷できます）。
- プリンタに拡張メモリを増設していないときに、ファインイメージモードで印刷する場合、［受信バッファサイズ］は64KBから変更しないでください（初期状態では64KBに設定されています）。
- スーパーイメージモード、ファインイメージモード、標準イメージモードで印刷する場合、プリンタフォント、NetSpotの縦補正と横補正と縮小印刷は使用できません。

印刷品位と印刷時間

選択する印刷目的アイコンによって、印刷品位と印刷を終了するまでの時間が変わってきます。印刷品位と印刷時間の関係は、原稿の種類により多少ばらつきがありますが、一般的に標準イメージモード、ファインイメージモード、スーパーイメージモードでは、次のようになります。これを目安にして用途に合わせて印刷目的を使い分けてください。



印刷目的アイコンの選択方法

印刷目的アイコンを選択するときは、次のように行います。

1

［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ］ダイアログボックスを開き、［メイン］シートを表示します。



お願い

- ［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ］ダイアログボックスの開き方は、「プリンタドライバで設定する」（→ P.52）をお読みください。

2

印刷目的アイコンを選択し、［OK］ボタンをクリックします。



［印刷目的］の詳細な内容を設定するときは、［印刷目的設定］ボタンをクリックし［印刷目的設定］ダイアログボックスで設定してください。印刷目的アイコンは、［印刷目的設定］ダイアログボックス中の設定項目をワンタッチで切り替えるものです。

8 用紙サイズ・印刷の向きを設定する

ここでは、用紙サイズや印刷の向きなどの設定について説明します。

用紙サイズについて

用紙サイズは、A4 サイズ、B5 サイズなどの定型サイズと、ユーザが独自にサイズを設定できるユーザ定義用紙サイズが使用できます。

A4サイズ	210×297mm
B5サイズ	182×257mm
A5サイズ	148×210mm
レターサイズ	216×279mm
官製はがき	100×148mm
往復はがき	200×148mm
洋形2号封筒	114×162mm
洋形4号封筒	105×235mm
ユーザ定義用紙サイズ	
最小	100×148mm
最大	210×297mm

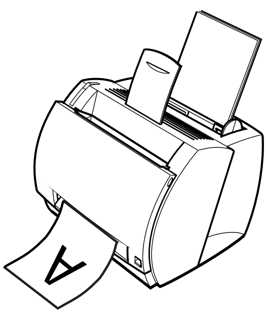
お願い

- **本プリンタでは、上下左右とも用紙の周囲 5mm の範囲（封筒は周囲 10mm の範囲）には印刷できません。**

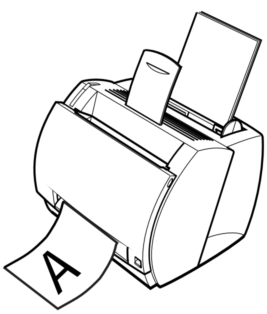
印刷の向きについて

［印刷の向き］を設定することで、用紙を縦長に使うか横長に使うかを選択できます。

［印刷の向き］を［縦］に設定したとき



［印刷の向き］を［横］に設定したとき



お願い

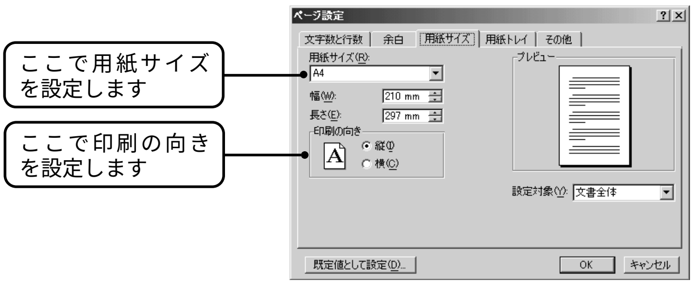
- **［印刷の向き］の設定にかかわらず、プリンタには用紙の短いほうの辺が上下になるように用紙をセットしてください（ただし、往復はがきは除く→ P.20）。**

用紙サイズ・印刷の向きの設定

通常、用紙サイズと印刷の向きはアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから行います。「アプリケーションソフトから印刷する」（→ **P.48**）を参考にしてください。
お使いのアプリケーションソフトによって設定のしかたが異なりますので、詳しくはアプリケーションソフトの説明書をお読みください。
なお、アプリケーションソフトから設定できないときは、［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3 のプロパティ］ダイアログボックスから設定してください。

Microsoft Word 2000 日本語版で設定するとき

［ファイル］－［ページ設定］メニューを選択し［用紙サイズ］シートを表示します。設定が終了したら、［OK］ボタンをクリックします。



［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3 のプロパティ］ダイアログボックスから設定するとき

［用紙］シートを表示します。設定が終了したら、［OK］ボタンをクリックします。



お願い

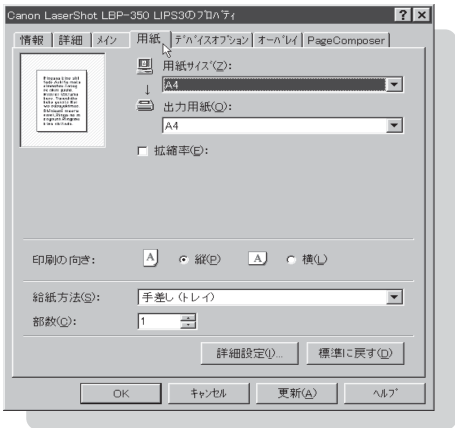
- **［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ］ダイアログボックスの開き方は、「プリンタドライバで設定する」（→ P.52）をお読みください。**

用紙サイズ・印刷の向きを設定する

ユーザ定義用紙サイズの設定手順

1

［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ］ダイアログボックスを開き、［用紙］シートを表示します。



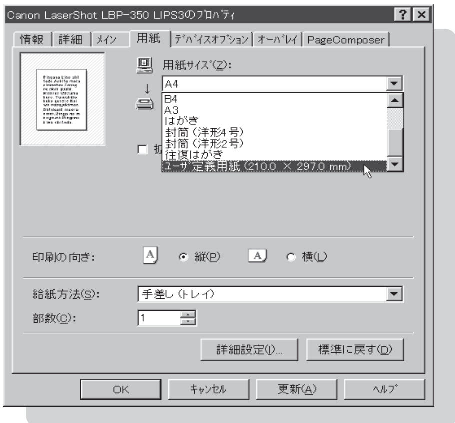
お願い

- ［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ］ダイアログボックスの開き方は、「プリンタドライバで設定する」（→P.52）をお読みください。

2

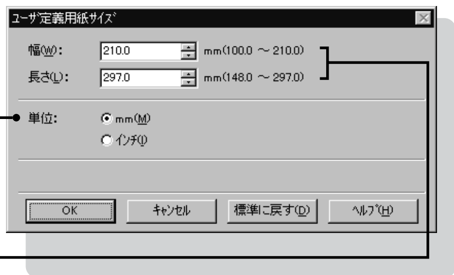
［用紙サイズ］一覧から、［ユーザ定義用紙］を選択します。

［ユーザ定義用紙サイズ］ダイアログボックスが表示されます。



3

用紙サイズを設定し、［OK］ボタンをクリックします。



ここで、入力する数値の単位を選択します。mm（0.1mmきざみ）とインチ（0.01インチきざみ）が選べます。

ここで、用紙サイズを入力します（用紙の幅が用紙の長さを超えないように入力してください）。

9 拡大／縮小して印刷する

LBP-350 では、A3 サイズで作成した原稿を A4 サイズの用紙に縮小して印刷することや、A5 サイズで作成した原稿を A4 サイズの用紙に拡大して印刷することができます。

お願い

- アプリケーションソフトで拡大／縮小印刷が設定できるときは、プリンタドライバの拡大／縮小印刷機能は使わずにアプリケーションソフトで設定してください。

異なるサイズの用紙に拡大／縮小して印刷するには

1

［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3 のプロパティ］ダイアログボックスを開き、［用紙］シートを表示します。



お願い

- ［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ］ダイアログボックスの開き方は、「プリンタドライバで設定する」（→ P.52）をお読みください。

2

［用紙サイズ］一覧から、原稿のサイズを選択します。



拡大 / 縮小して印刷する

メモ

●アプリケーションソフトによっては、ここで用紙サイズの設定が行えないことがあります。その場合は、アプリケーションソフトの［ファイル］－［プリンタの設定］メニューや、［ファイル］－［ページレイアウトの設定］メニューなどで行えます。

3

［出力用紙］一覧から、実際に印刷する用紙のサイズを選択します。



4

［用紙サイズ］と［出力用紙］の設定から自動的に拡大/縮小率が設定されます（［拡縮率］を設定する必要はありません）。

5

設定が終わったら［OK］ボタンをクリックします。

メモ

●50 ～ 200% の範囲に入らない拡大／縮小を設定したときは、50% または 200% で印刷されます。

任意の倍率で拡大／縮小して印刷するには

1

[Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ]ダイアログボックスを開き、［用紙］シートを表示します。



お願い

- ［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ］ダイアログボックスの開き方は、「プリンタドライバで設定する」（→ P.52）をお読みください。

2

[用紙サイズ：]一覧から、原稿のサイズを選択します。



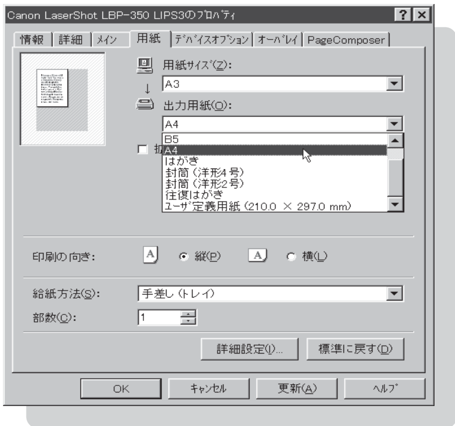
メモ

- アプリケーションソフトによっては、ここで用紙サイズの設定が行えないことがあります。その場合は、アプリケーションソフトの［ファイル］－［プリンタの設定］メニューや、［ファイル］－［ページレイアウトの設定］メニューなどで行えます。

拡大／縮小して印刷する

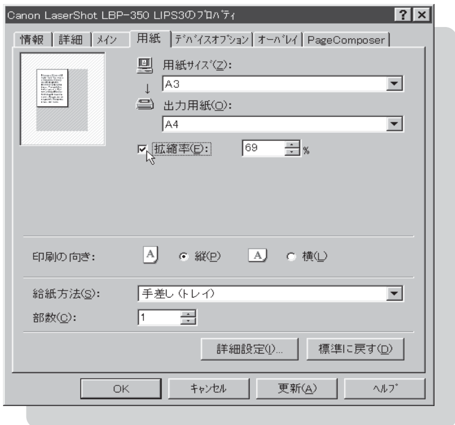
3

［出力用紙］一覧から、実際に印刷する用紙のサイズを選択します。



4

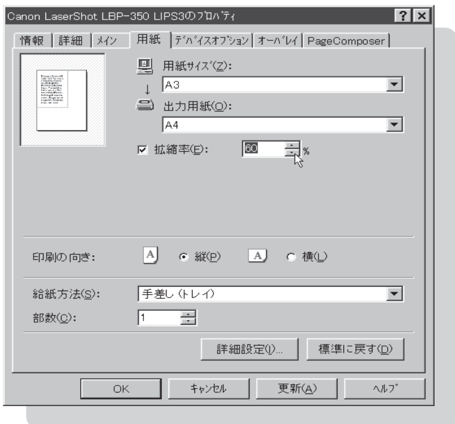
［拡縮率］をチェックします。



5

［拡縮率］に倍率を入力します。

［▲］［▼］をクリックすると、数値を増減させることができます（50～200％の範囲で、1％きざみに設定できます）。



6

設定が終わったら［OK］ボタンをクリックします。

10 トナーを節約して印刷する

試し刷りなど、印刷品位をあまり必要としない印刷を行う場合、トナー節約モードにしてトナーの消費量を節約することができます。

1

[Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ] ダイアログボックスを開き、[メイン] シートを表示します。



お願い

● [Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ] ダイアログボックスの開き方は、「プリンタドライバで設定する」(→ P.52) をお読みください。

2

[印刷目的] のアイコン一覧で [トナー節約] アイコンを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



メモ

● [ファイン文書]、[ファイン写真] アイコンを選択してから [印刷目的設定] の中で [トナー節約モード] をチェックするとファインイメージモードでのトナー節約の印刷が行えます。

11 PageComposerの機能を使って印刷する

PageComposerはプリンタドライバと連携して動作し、アプリケーションからの印刷データに対していろいろな印刷方法を提供します。

お願い

- **PageComposerの機能は、Windows 95/98/Meの場合でお使いになれます。Windows NT 4.0/2000/XP では、PageComposer シートは表示されませんので注意してください。**
- **PageComposerでは、アプリケーションからの出力データがいったんスプールされてから印刷されるため、アプリケーションによっては印刷結果が異なることがあります。詳細は、Readme.txt をご覧ください。**

PageComposerの機能について

PageComposerの機能を使って印刷するときは、はじめにWindows 95/98/Meの［スタート］メニューの［設定］－［プリンタ］を選択して、プリンタフォルダから［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3 のプロパティ］ダイアログボックスを開き、［PageComposer］シートの［PageComposer を使用する］にチェックマークを付けてください。

お願い

- **アプリケーションの印刷ダイアログボックスから［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ］ダイアログボックスを開いた場合は、［PageComposer］シートの［PageComposer を使用する］、［PageComposer で拡縮を行う］の項目を設定することはできません。**



PageComposer の機能を使うと、次のような印刷を行うことができます。

部単位印刷　　たとえば、1～3 ページまでを部単位で 2 部印刷すると、1～3 ページを順に印刷した後に、さらに続けて 1～3 ページを印刷します。部単位印刷では、このような順番で指定した部数分繰り返して印刷します。

逆順印刷	最後のページから先頭ページまで逆の順番で印刷します。
N ページ印刷	連続した複数のページを用紙 1 枚に配置（縮小）して印刷します。用紙 1 枚に、2、4、6、8、9、16 ページのページ数を配置することができます。
ポスター印刷	1 ページ分の画像を拡大して複数枚の用紙上に分割して印刷します。この複数枚の出力用紙を貼り合わせて、ポスターのような大きなプリントができます。
スタンプ印刷	アプリケーションで作成した文字などに、スタンプ（「COPY」や「社外秘」などの透かし文字）を重ね合わせて印刷します。
拡大縮小印刷	PageComposerの機能を使って、レイアウトを変えずに拡大縮小印刷を行います。PageComposerの機能を使わずに通常の拡大縮小印刷を行うと、アプリケーションによっては印刷後のページレイアウトが変わってしまう場合があります。このような場合に、この機能を使用します。

お願い

- **詳細は、プリンタドライバのヘルプをご覧ください。**

メモ

- **ハードディスクの空き容量が少ない場合は、PageComposerを利用した印刷が中止されることがあります。**

部単位で印刷するには

1

[Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ] ダイアログボックスを開き、[用紙] シートを表示して [部数] を設定します。

2

[PageComposer] シートを表示して、[PageComposerを使用する] のチェックボックスにチェックマークを付けます。

PageComposerの機能を使って印刷する

3

［部単位で印刷］のチェックボックスにチェックマークを付けます。

4

［OK］ボタンをクリックします。

Nページ印刷するには

用紙1枚に2、4、6、8、9、16ページのページ数を配置することができます。
それぞれの縦横の配置方法は次のとおりです。

1枚に2ページを印刷	：縦1×横2（または縦2×横1）
1枚に4ページを印刷	：縦2×横2
1枚に6ページを印刷	：縦2×横3（または縦3×横2）
1枚に8ページを印刷	：縦2×横4（または縦4×横2）
1枚に9ページを印刷	：縦3×横3
1枚に16ページを印刷	：縦4×横4

1

［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3のプロパティ］ダイアログボックスを開き、［PageComposer］シートを表示します。

2

［PageComposerを使用する］のチェックボックスにチェックマークを付けます。

3

［印刷の体裁］から［Nページ印刷］を選択し、［ページ数］、［配置順］、［ページ枠］の各項目を指定します。

4

[OK] ボタンをクリックします。

お願い

●N ページ印刷では、オーバレイ印字の機能は利用できません。

ポスター印刷するには

1ページ分の画像を拡大して複数枚の用紙上に分割して印刷します。この複数枚の出力用紙を貼り合わせて、ポスターのような大きなプリントができます。指定できる用紙枚数は「2 × 2」、「3 × 3」、「4 × 4」の 3 とおりです。

1

[PageComposer] シートを表示して、[PageComposerを使用する] のチェックボックスにチェックマークを付けます。

2

[印刷の体裁] から [ポスター印刷] を選択し、[用紙枚数] を指定します。

3

[OK] ボタンをクリックします。

お願い

●ポスター印刷を行うときは、スタンプ印刷の機能を設定することはできません。
●[用紙] シートで拡大縮小印刷を設定している場合、ポスター印刷の設定は無効になり、通常印刷が行われます。

12 NetSpot Job Monitorで印刷状況を確認する

NetSpot Job Monitor は、プリンタの現在の状態や印刷状況の状態を確認するためのユーティリティソフトです。NetSpot Job Monitor デバイスボードまたは NetSpot Job Monitor ステータスモニタを使ってプリンタの状態の確認や印刷ジョブの停止、削除などができます。

2

印刷状況を確認できるプリンタの種類

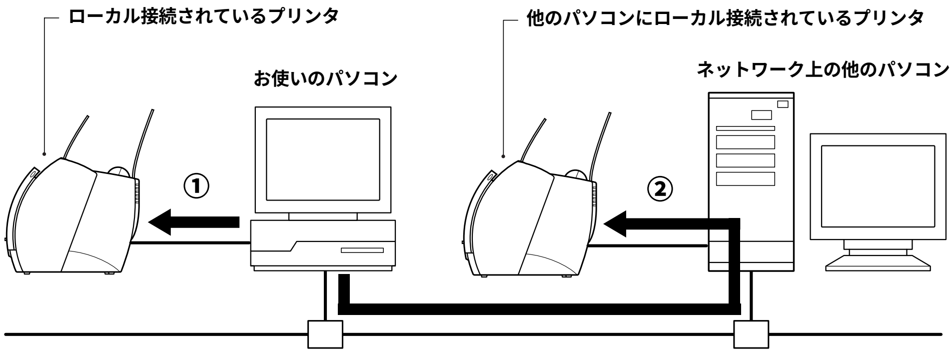
NetSpot Job Monitorは、以下のような接続形態のプリンタの印刷状況を確認することができます。

ローカル接続されているプリンタ（下図①）

NetSpot Job Monitor を使用するパソコンのパラレルインタフェースに接続したプリンタまたは、USBポートを使用して接続したプリンタの印刷状況を確認することができます。

共有設定されているプリンタ（下図②）

「ローカル接続されているプリンタ」を共有設定している場合は、その共有プリンタに印刷できるパソコンからも共有プリンタの印刷状況を確認することができます。この場合は、共有設定しているパソコンに NetSpot Job Monitor（共有設定しているパソコンが Windows NT 4.0/2000/XP の場合は NetSpot Job Monitor 管理者モード）がインストールされている必要があります。



デバイスの状態一覧を表示する（デバイスボード）

デバイスボードは、インストールしたデバイスの状態を一覧表示するためのソフトウェアです。印刷ジョブの一時停止、削除などができます。
デバイスボードを起動するには、パソコンの右下に表示されている［NetSpot Job Monitorデバイスボード］アイコンを右クリックしてメニューから［開く］を選択するか、Windowsの［スタート］メニューから［NetSpot Job Monitor］－［デバイスボード］を選択します。また、デバイスボードの［オプション］－［デバイスボードの自動起動］メニューを選択するとパソコンの起動時に自動的にデバイスボードが起動します。

メモ

●デバイスボードの詳細は、ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルは、デバイスボードの［ヘルプ］－［ヘルプ］メニューを選択するか、デバイスボードアイコンを右クリックしてメニューから［ヘルプ］を選択すると表示されます。

デバイスの詳細な状況を表示する（ステータスモニタ）

ステータスモニタは、特定のデバイスの詳細な状況を確認するためのユーテリティソフトです。紙詰まりなどのエラー表示やエラーの対処方法などが表示されます。また、印刷ジョブの一時停止、削除や保存ジョブの印刷などもできます。デバイスにより表示されるシートは異なります。
ステータスモニタを起動するには、パソコンの右下に表示されている［NetSpot Job Monitorデバイスボード］アイコンを左クリックしてプリンタ名の一覧から確認するデバイスを選択するか、デバイスボードで確認するデバイスを選択して［オプション］－［モニタの起動］メニューを選択します。

［プリンタ状態］シート

デバイスの状態を示すアイコンやメッセージなどが表示されます。エラーの対処方法なども表示されます。

［スプーラ内ジョブ］シート

まだデバイスに送信されていないジョブ（パソコン内のジョブ）についての情報が表示されます。ここでは印刷処理の一時停止やジョブを削除することなどもできます。

メモ

●ステータスモニタの詳細は、ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルは、ステータスモニタの［ヘルプ］－［ヘルプ］メニューを選択すると表示されます。

13 NetSpotを使って高度な設定をする

NetSpotから利用できるおもな機能には、以下のようなものがあります。

プリンタの状態の表示（→ P.75）
プリンタエラーの発生状況など、各プリンタの現在の状態を表示します。

プリンタの設定（→ P.77）
プリンタの各種設定をNetSpot上で行います。

プリンタの設定をファイルに保存（→ P.79）
プリンタの設定内容は、ファイルに保存しておき、必要なときにプリンタを再設定することができます。

プリンタの設定ファイルを送信（→ P.81）
プリンタの設定ファイルをNetSpotから送信し、設定ファイルの設定値に変更することができます。

メモ

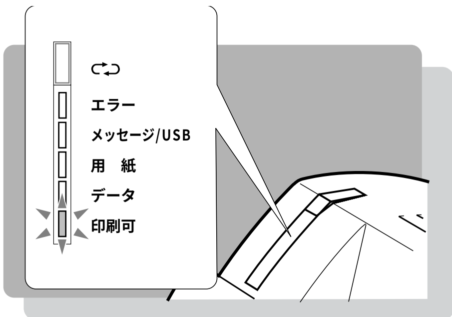
- **NetSpotの詳しい使用方法は、NetSpotのヘルプを参照してください。NetSpotのヘルプは、NetSpotを起動して［ヘルプ］－［トピックの検索］メニューを選択するか、［ヘルプ］ボタンをクリックすると表示されます。**

NetSpotの準備をする

NetSpotを使用する場合、最初に次の作業を行ってください。

1

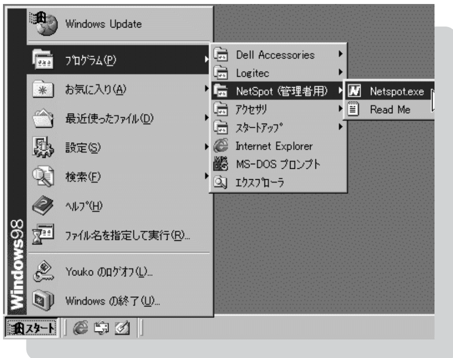
プリンタの印刷可ランプがついていることを確認します。



2

［スタート］メニューの［プログラム］－［NetSpot（管理者用）］－［NetSpot］または［プログラム］－［NetSpot（一般ユーザ用）］－［NetSpot］を選択します。

NetSpotが起動します。



3

NetSpotから使用できるプリンタの一覧がアイコンで表示されます。



メモ

- **接続されているプリンタが複数あるときは、［表示］－［小さいアイコン］メニューを選択してください。画面の［MACアドレス］にプリンタの接続先が表示されます。**
- **プリンタのアイコンが表示されないときは、次のことを確認してください。**
  ・プリンタドライバの接続先が正しく設定されている。
  「プリンタアイコンから開く方法」（→P.53）に従ってプリンタのプロパティ画面を表示し、［詳細］シートの［印刷先のポート］がプリンタの接続されているポート（通常は「LPT1」または「LPT.USB1」になっていることを確認します。

4

プリンタのアイコンを選択し、［デバイス］－［プロパティ］メニューを選択します。

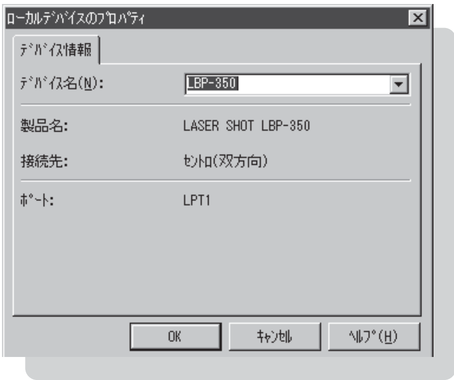
［ローカルデバイスのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



NetSpotを使って高度な設定をする

5

[デバイス名] にプリンタの名称を設定します。



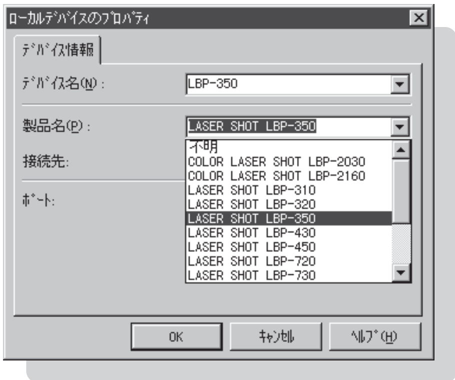
6

[接続先] を確認します。

[セントロ（双方向)] になっている場合は、これで設定は完了です。[OK] ボタンをクリックしてください。
[セントロ（単方向)] になっている場合は、続いて手順７～11の設定を行ってください。

7

[製品名] で [LASER SHOT LBP-350] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



8

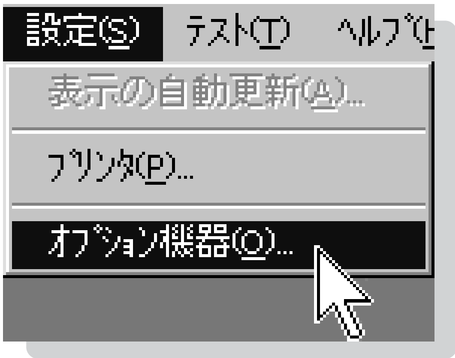
プリンタのアイコンをダブルクリックします。



9

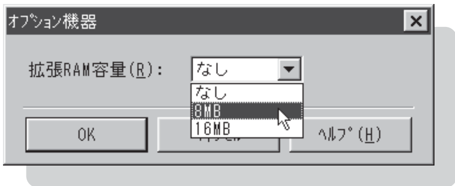
［設定］－［オプション機器］メニューを選択します。

［オプション機器］ダイアログボックスが表示されます。



10

お使いのプリンタのオプション機器構成に合わせてオプション機器の設定をします。



11

［OK］ボタンをクリックして［オプション機器］ダイアログボックスを閉じます。

これで NetSpot からプリンタを使用する準備は完了しました。

NetSpotを使って高度な設定をする

プリンタの状態を調べる

NetSpotでは、各プリンタの状態を調べることができます。

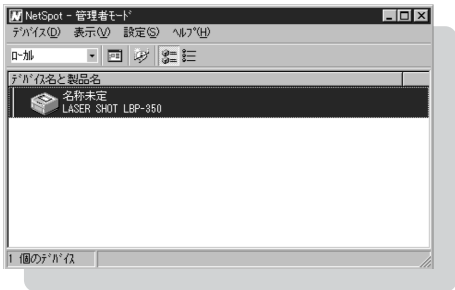
お願い

- NetSpotを起動する前に、コンピュータとプリンタが正しく接続され、プリンタの印刷可ランプが点灯していることを確認してください。

1

NetSpotを起動します。

デバイスリストにNetSpotから参照できるプリンタの一覧が表示されます。



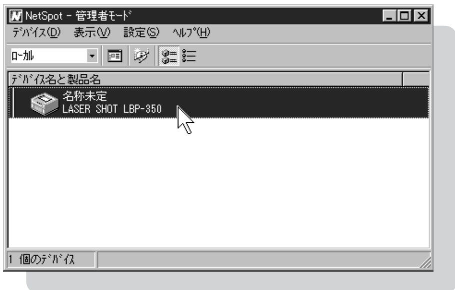
お願い

- 設定をするプリンタのアイコンが表示されていないときは、NetSpotのヘルプ「トラブルシューティング」を参照してください。

2

状態を調べるプリンタのアイコンをダブルクリックします。

プリンタの詳細な情報が、いくつかのシートに分かれて表示されます。

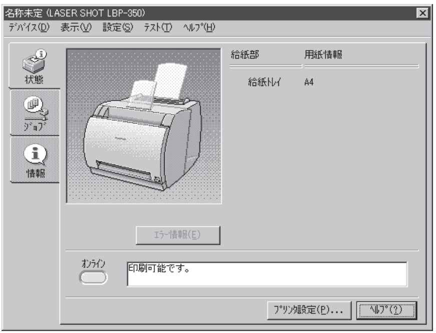


メモ

- プリンタポートに接続されているプリンタをお使いの場合、プリンタと双方向通信が行えないことがあります。このときは［状態］シートの下の方に「単方向通信のため、表示されている情報とデバイスの設定が異なる場合があります。」と表示され、プリンタの情報を正確に調べることができません。

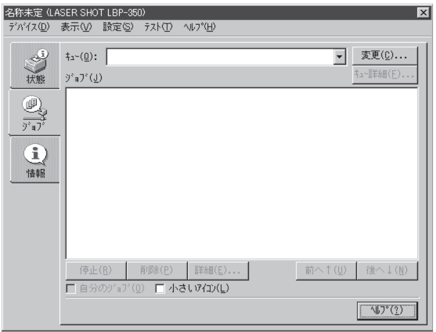
2

[状態］シート



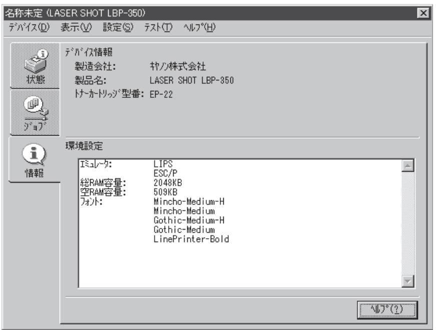
［状態］シートでは、プリンタのオンライン / オフライン状態、プリンタエラーの発生状況、給紙カセットの用紙サイズなどを調べることができます。

[ジョブ］シート



［ジョブ］シートでは、プリントジョブの情報が表示されます。

[情報］シート



［情報］シートには、製品名などプリンタの情報が表示されます。

NetSpot を使って高度な設定をする

プリンタの設定をする

プリンタの各種設定は、NetSpot 上でも行うことができます。

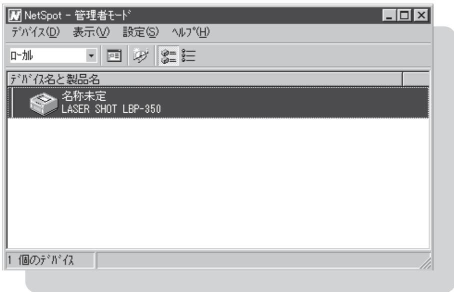
お願い

- **NetSpot 上で行う設定は、デフォルトの印刷設定となります。したがって、プリンタドライバで同じ項目を設定したときは、プリンタドライバの設定が優先されます。**
- **プリンタポートに接続されているプリンタを利用する場合は、NetSpotを起動する前に、コンピュータとプリンタが正しく接続され、プリンタの印刷可ランプが点灯していることを確認してください。**

1

NetSpot を起動します。

デバイスリストにNetSpotから参照できるプリンタの一覧が表示されます。



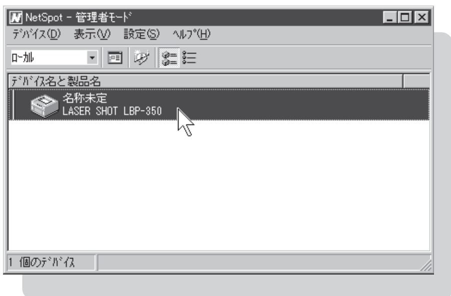
お願い

- **設定をするプリンタのアイコンが表示されていないときは、NetSpot のヘルプ「トラブルシューティング」を参照してください。**

2

設定をするプリンタのアイコンをダブルクリックします。

プリンタの詳細な情報が表示されます。



3

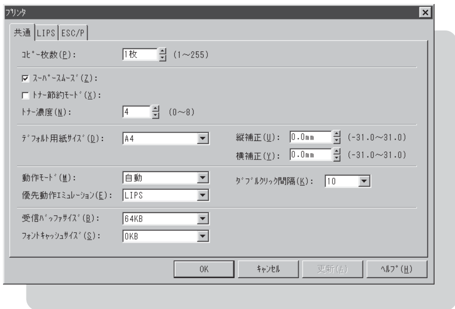
［状態］シートを表示し、［プリンタ設定］ボタンをクリックするか、［設定］－［プリンタ］メニューを選択します。

［プリンタ］ダイアログボックスが表示されます。



4

プリンタの設定は、いくつかのシートに分類されています。設定したい項目があるシートを表示します。また、シート上のボタンをクリックすると表示される設定項目もあります。



メモ

●通常、［プリンタ］ダイアログボックスの各項目の設定値は、実際にプリンタに設定されている設定値が表示されます。ただし、プリンタの状態やプリンタとの接続形態によっては、プリンタに設定されている設定値を調べられない場合があります。このときは［状態］シートの下の方に「単方向通信のため、表示されている情報とデバイスの設定が異なる場合があります。」と表示されます。

5

各項目の設定をします。各項目の説明は、［ヘルプ］ボタンをクリックしてNetSpotのヘルプを参照してください。

6

［OK］ボタンまたは［更新］ボタンをクリックし、設定を有効にします。

NetSpotを使って高度な設定をする

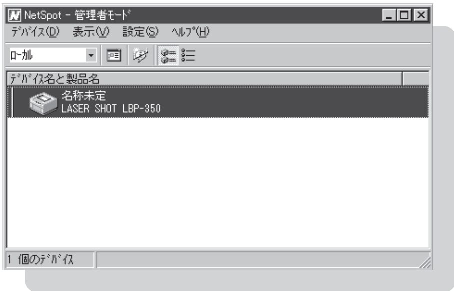
プリンタの設定内容をファイルに保存する

「プリンタの設定をする」（→**P.77**）で設定したプリンタの設定内容は、ファイルに保存することができます。
プリンタの設定内容をファイルに保存するときは、以下の手順を行ってください。

1

NetSpotを起動します。

デバイスリストにNetSpotから参照できるプリンタの一覧が表示されます。



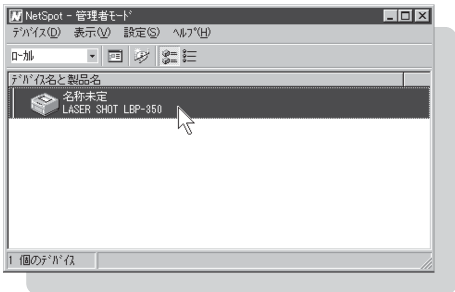
お願い

●設定をするプリンタのアイコンが表示されていないときは、NetSpotのヘルプ「トラブルシューティング」を参照してください。

2

設定内容を保存するプリンタのアイコンをダブルクリックします。

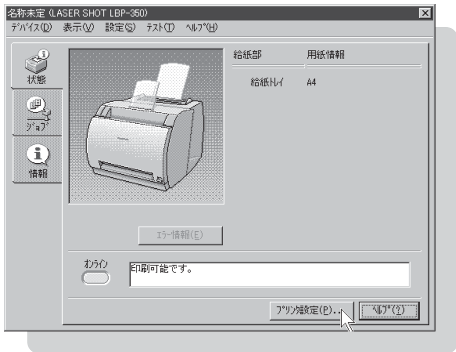
プリンタの詳細な情報が表示されます。



3

[状態] シートを表示し、[プリンタ設定] ボタンをクリックするか、[設定] ー [プリンタ] メニューを選択します。

[プリンタ] ダイアログボックスが表示されますので、プリンタの設定を行ってください。



メモ

● [プリンタ] ダイアログボックスで行った設定内容がファイルに保存されます。

4

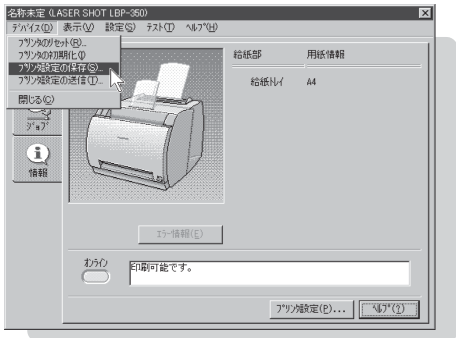
[OK] ボタンをクリックします。

[状態] シートに戻ります。

5

[デバイス] ー [プリンタ設定の保存...] メニューを選択します。

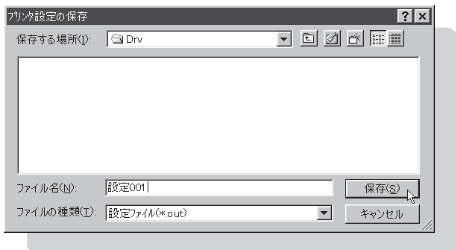
[プリンタ設定の保存] ダイアログボックスが表示されます。



6

ファイル名を入力し [保存] ボタンをクリックします。

プリンタの設定内容がファイルに保存されます。



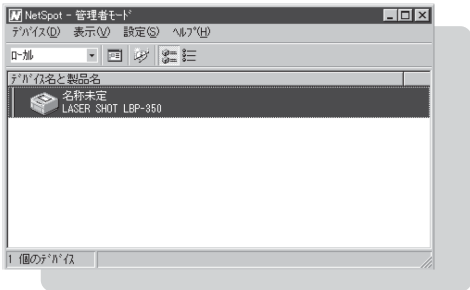
NetSpotを使って高度な設定をする

プリンタの設定ファイルを送信する

ファイルに保存した設定内容は、必要なときに以下の手順でプリンタに送信できます。プリンタに送信するとプリンタに設定されている設定値はファイルに保存されている設定値に変更されます。

1

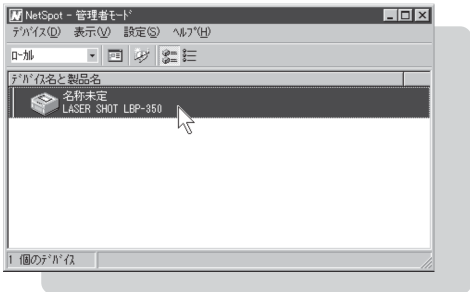
NetSpotを起動します。



2

設定を変更するプリンタのアイコンをダブルクリックします。

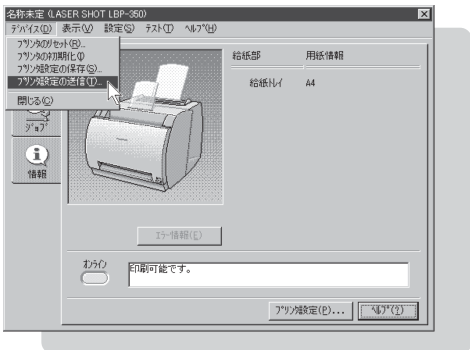
プリンタの詳細な情報が表示されます。



3

［デバイス］－［プリンタ設定の送信］メニューを選択します。

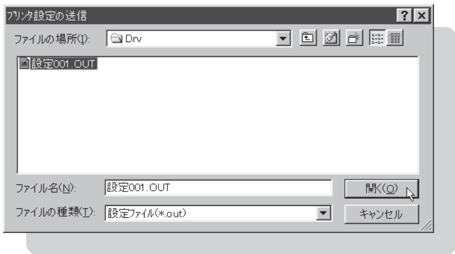
［プリンタ設定の送信］ダイアログボックスが表示されます。



4

ファイル名を選択し、［開く］ボタンをクリックします。

ファイルの内容がプリンタに送信され、プリンタに設定されている設定値が変更されます。



3

第3章　Windows NT 4.0から印刷するには

ここでは、Microsoft Windows NT 4.0日本語版に各種ソフトウェアをインストールする手順や注意事項などについて説明します。

1 必要なシステム環境

LBP-350 に付属のソフトウェアが Windows NT 4.0 上で動作するために必要なシステム環境について説明します。

Windows NT 4.0 用プリンタドライバ / NetSpot Job Monitor/NetSpot

Windows NT 4.0 用プリンタドライバは、以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア	Microsoft Windows NT Server / Workstation Version 4.0 日本語版
コンピュータ	上記 OS が動作するコンピュータ

お願い

- **Windows NT 4.0 では、USB を使用できません。**

Windows NT 4.0 用 NetSpot Job Monitor は、以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア	Microsoft Windows NT Server / Workstation Version 4.0 日本語版
ハードウェア	
CPU	Intel 社製 CPU i486/Pentium 系
メモリ	16MB 以上
画面サイズ	640 × 480 ドット以上の表示解像度を持つディスプレイ
カラー	256 色以上の表示色数を持つディスプレイ
ハードディスク容量	動作時に 10MB 以上が必要

必要なシステム環境

Windows NT 4.0 用 NetSpot は、以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア	Microsoft Windows NT Server / Workstation Version 4.0 日本語版
ハードウェア	
パソコン	IBM PC 機 / その互換機、PC98 シリーズ
メモリ	16MB 以上
画面サイズ	640 × 480 ドット以上の表示解像度を持つディスプレイ
カラー	16 色以上の表示色数を持つディスプレイ（256 以上を推奨）
ハードディスク容量	25MB 以上の空き領域 + システムドライブに 6MB 以上の空き領域

お願い

- **Microsoft Windows NT 4.0 英語版ではお使いになれません。**
- **これらのソフトウェアをインストールするにはCD-ROMドライブが必要です。CD-ROMドライブが使用できないパソコンにインストールする方法については付録「6 CD-ROMドライブが使用できないパソコンにインストールするには」（→ P.216）をお読みください。**
- **プリンタをネットワークで共有して、NetSpot Job Monitor の機能を使用するためには、ネットワークに接続されているパソコンにNetSpot Job Monitorをインストールし、そのパソコンのプリンタポートにプリンタを接続（ローカル接続）し、そのプリンタを共有プリンタとして設定しておく必要があります。**
- **NetSpot は、PC98 シリーズ（PC98-NX を除く）にローカル接続されたプリンタには対応していません。**
- **プリンタドライバなどのソフトウェアは、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。最新バージョンをお使いになるには、巻末の「ソフトウェアのバージョンアップについて」を参照して、バージョンアップを行ってください。**
- **これらのソフトウェアを使用するには、Service Pack 3 以降がインストールされている必要があります。**

2 プリンタドライバをインストールする

アプリケーションソフトから印刷するには、お使いのコンピュータにあらかじめプリンタドライバを組み込んでおく必要があります。この作業をインストールと呼びます。以下の手順でインストールを行ってください。

お願い

●以前のバージョンのプリンタドライバがインストールされている場合は、必ずそれらのプリンタドライバを削除してから、本プリンタドライバをインストールしてください。

3

Windows NT 4.0 用プリンタドライバのインストール手順

1

Windows を起動し、Administrators のメンバーとしてログオンします。

メモ

●プリンタドライバの組み込みを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

2

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。

お願い

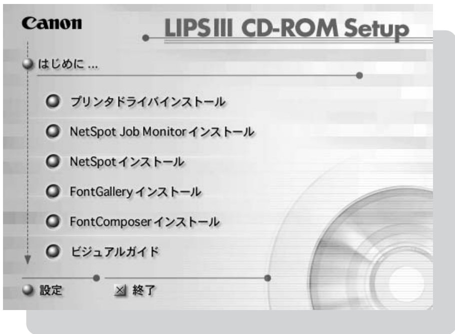
●CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROM メニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状況によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある Autorun.exe ファイルをダブルクリックして起動してください。

プリンタドライバをインストールする

3

CD-ROMメニューの［プリンタドライバインストール］ボタンをクリックします。

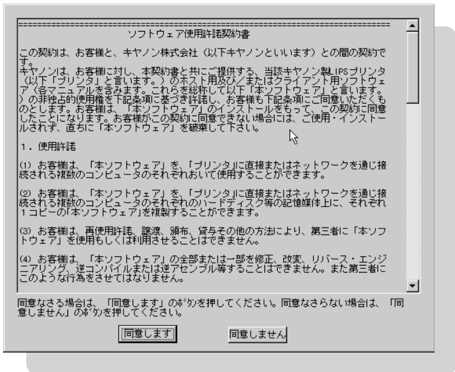
使用許諾契約書が画面に表示されます。



4

使用許諾契約書の内容を確認し、［同意します］ボタンをクリックします。

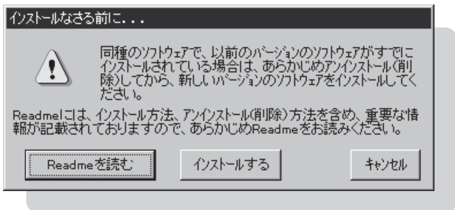
［インストールなさる前に］ダイアログボックスが表示されます。



5

必要に応じてReadmeを読みます。インストールを継続するには、［インストールする］ボタンをクリックします。

［プリンタ］フォルダが表示されます。



6

［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が起動します。

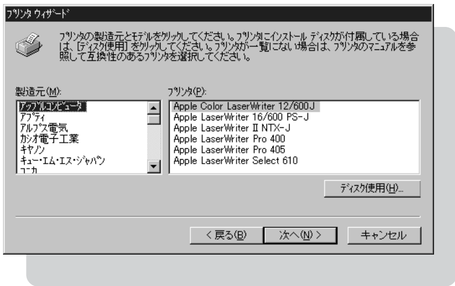
7

画面の案内に従ってインストールを続けます。

8

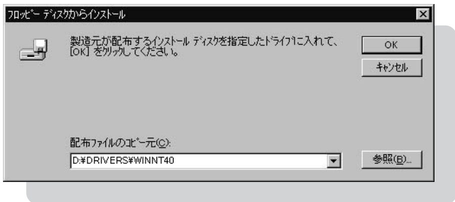
［ディスク使用］ボタンをクリックします。

［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。



9

［配布ファイルのコピー元］で［CD-ROMのドライブ名:\DRIVERS\WINNT40］を指定して、［OK］ボタンをクリックします。



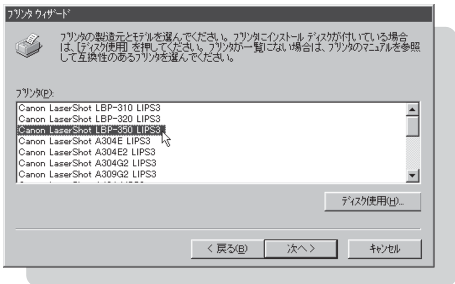
メモ

● ［参照］ボタンをクリックして指定することもできます。

10

プリンタの機種名を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

お使いの環境によっては、現在のドライバを使用するか、新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されることがあります。この場合は、必ず［新しいドライバに置き換える］を選択してください。



11

画面の案内に従ってインストールを続けます。

プリンタドライバをインストールする

12

テスト印刷についての項目を指定し、［完了］ボタンをクリックします。



ファイルのコピーが開始され、プリンタドライバのインストールが完了します。テスト印刷が設定されている場合は、テストページが印刷されます。

3

3

NetSpot Job Monitorをインストールする

Windows NT 4.0 上のNetSpot Job Monitorには、管理者用と一般ユーザ用の2種類があります。どちらのNetSpot Job Monitorをインストールするかにより、インストール方法が異なります。

NetSpot Job Monitorの種類	インストールに必要な権限	印刷状況を確認できるプリンタの種類
管理者用	Windows NT 4.0の Administrators	共有設定されているプリンタ ローカル接続されているプリンタ（下記参照）
一般ユーザ用	特に必要ありません	共有設定されているプリンタのみ

お願い

- **一般ユーザ用のNetSpot Job Monitorをお使いの場合は、共有設定されているプリンタの印刷状況のみ確認できますので、他のWindows NT 4.0をサーバとして使用している場合などにお使いください（そのとき、サーバとして使用しているWindows NT 4.0には管理者用のNetSpot Job Monitorをインストールしてください）。**

Windows NT 4.0 用 NetSpot Job Monitorのインストール手順

管理者用のインストールをする場合は、Administratorsのメンバーとしてログオンしてください。

管理者用のインストールでは、NetSpot Job Monitorのサーバ機能モジュールと、プリンタのユーザインタフェースモジュールがインストールされます。ネットワーク環境でコンピュータをプリンタサーバとして使用している場合や、プリンタをローカル接続している場合（パソコンにプリンタを直接接続している場合）などに管理者用のインストールを行います。

1

Windows を起動し、ログオンします。

2

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。

NetSpot Job Monitor をインストールする

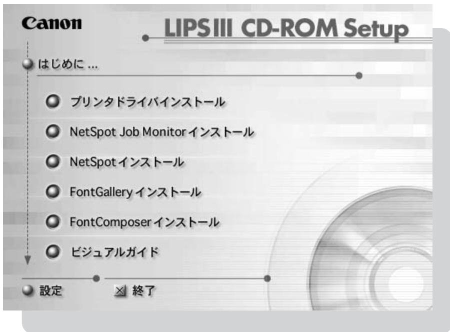
お願い

- **CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROM メニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状況によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある Autorun.exe ファイルをダブルクリックして起動してください。**

3

CD-ROM メニューの［NetSpot Job Monitorインストール］ボタンをクリックします。

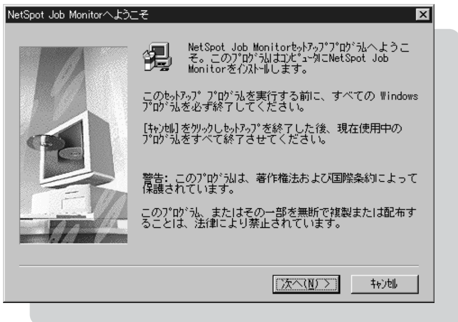
［NetSpot Job Monitorインストーラ］が起動し、［NetSpot Job Monitorへようこそ］ダイアログボックスが表示されます。



4

ダイアログボックスの記載内容を読み、［次へ］ボタンをクリックします。

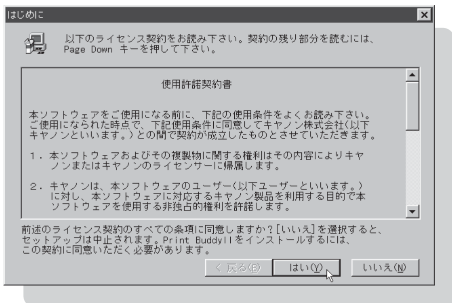
使用許諾契約書が表示されます。



5

使用許諾契約書の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックします。

［インストール先の入力］ダイアログボックスが表示されます。



3

6

NetSpot Job Monitorを組み込むディレクトリを指定します。表示されているディレクトリでよければ、［次へ］ボタンをクリックします。

［参照］ボタンをクリックして、インストール先のディレクトリを別に指定することができます。画面には、［インストールモジュールの選択］ダイアログボックスが表示されます。



7

Administratorsの権限がある場合は、インストールするモジュールを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。一般ユーザ用のインストールを行った場合は、手順9に進みます。

［NetSpot Job Monitor管理者モード］
　：サーバ機能モジュール
［NetSpot Job Monitor一般ユーザモード］
　：プリンタのユーザインタフェース
　　モジュール

画面には、［プリンタ機種の選択］ダイアログボックスが表示されます。



NetSpot Job Monitor をインストールする

8

［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

機種名の前のチェックマークをクリックして、選択を解除したり、選択し直すことができます。

［インストールの確認］ダイアログボックスが表示されます。



9

設定を確認して［次へ］ボタンをクリックします。

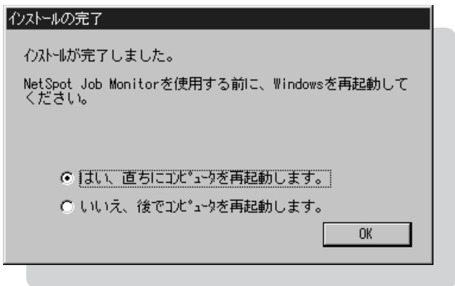
インストールの設定を変更したい場合は、［戻る］ボタンをクリックして再度設定し直してください。

［次へ］ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



10

インストールが完了すると［インストールの完了］ダイアログボックスが表示されます。［OK］ボタンをクリックして、Windows を再起動してください。



4 NetSpotをインストールする

必要に応じて以下の手順でNetSpotをインストールします（NetSpotをインストールする前に、プリンタドライバをインストールしてください）。NetSpotの使い方は第2章「13　NetSpotを使って高度な設定をする」（→P.71）を参照してください。

お願い

- インストールの前にNetSpotを管理者モードで使用するか一般ユーザモードで使用するか決める必要があります。
・管理者モードと一般ユーザモード：
NetSpotには、管理者モードと一般ユーザモードの2つの動作モードがあります。
管理者モードは、ネットワークプリンタの管理者が使用するモードで、一般ユーザモードで使用できる機能のほかにネットワークの設定などの機能が利用できます。
一般ユーザモードは通常のユーザが使用するモードです。プリンタの状態を調べる機能やプリンタの各種設定をする機能などが利用できます。

1

Windowsを起動します。

2

付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。

お願い

- CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROMメニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状況によってオートスタート機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROMのルートディレクトリにあるAutorun.exeファイルをダブルクリックして起動してください。

NetSpot をインストールする

3

CD-ROM メニューの［NetSpotインストール］ボタンをクリックします。

インストーラを選択する画面が表示されます。



4

管理者モードと一般ユーザモードの両方で使用できるNetSpotをインストールするときは、［管理者モード］ボタンをクリックします。一般ユーザモードのみ使用できるNetSpotをインストールするときは、［一般ユーザモード］ボタンをクリックします。



使用許諾契約書が画面に表示されます。

5

使用許諾契約書の内容を確認し、［同意します］ボタンをクリックします。

Readme を読むかどうかを選択する画面が表示されます。

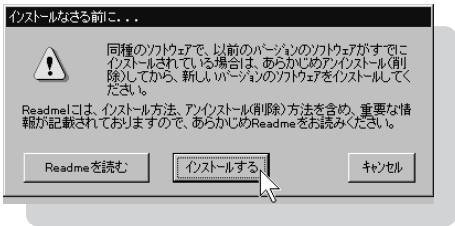


3

6

必要に応じてReadmeを読み、[インストールする]ボタンをクリックします。

インストールプログラムが起動します。以下、画面の指示にしたがってインストールしてください。



メモ

- **プロトコルを選択する画面では、NetSpotで使用するネットワークプロトコルを選択します。[なし]を選択した場合は、ローカル接続されているプリンタのみ使用できます。**

インストールが完了したら、NetSpotを使用できます。

お願い

- **NetSpotを使用する前に「NetSpotの準備をする」(→ P.71)に従って、必要な設定を行ってください。**

メモ

- **インストール完了後、NetSpotインストーラを起動して[デバイスの追加]を選択すると、NetSpotで管理できるプリンタの種類を追加または削除することができます。**

5 プリンタドライバの設定をする

本プリンタでは、プリンタドライバの設定をすることで、いろいろな機能を使って印刷を行うことができます。プリンタドライバの設定をするには、次の３つの方法があります。なお、プリンタドライバの各機能についてはヘルプを参照してください。

設定の種類	設定方法	設定の内容	必要なアクセス権
印刷時のドキュメント設定	アプリケーションからプリンタドライバの設定画面を開く	印刷するドキュメントに関する設定	ドキュメントの印刷権
プリンタの設定	［プリンタ］フォルダの［ファイル］-［プロパティ］メニューを選択する	プリンタに関する設定	フルコントロールアクセス権
全ドキュメントの設定	［プリンタ］フォルダの［ファイル］-［ドキュメント既定値］メニューを選択する	全ドキュメントに関する標準設定	フルコントロールアクセス権

お願い

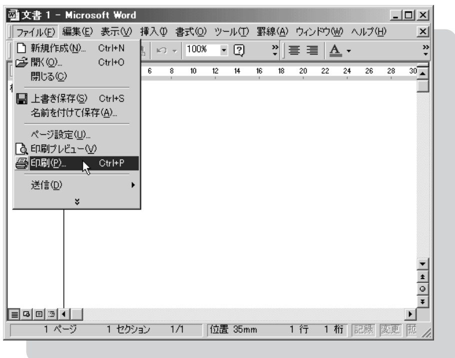
- 「印刷時のドキュメントの設定」と「ドキュメントの既定値の文書設定」で設定できる項目は同じです。設定した内容が、今回の印刷時のみ有効か、毎回有効になるかが異なります。
- デフォルトで文書の印刷権を持っているのはAdministratorsとPower Usersのメンバーです（Windows NT 4.0 Serverをお使いの場合は、Administrators、Print Operators、Server Operatorsのメンバー）。

印刷時のドキュメント設定をする

1

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します（アプリケーションによってコマンド名が異なります）。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。



2

［プリンタ名］にお使いのプリンタ名が表示されていることを確認し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

プリンタドライバ設定画面が表示されます。



3

プリンタドライバの設定画面の各シートで印刷に関する項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

プリンタの設定をする

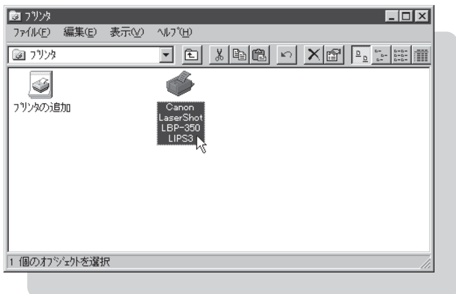
1

［スタート］メニューの［設定］－［プリンタ］メニューを選択します。

［プリンタ］フォルダが表示されます。

2

プリンタの設定を変更したいプリンタのアイコンを選択します。

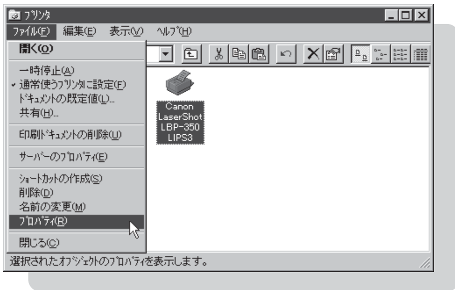


プリンタドライバの設定をする

3

［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択します。

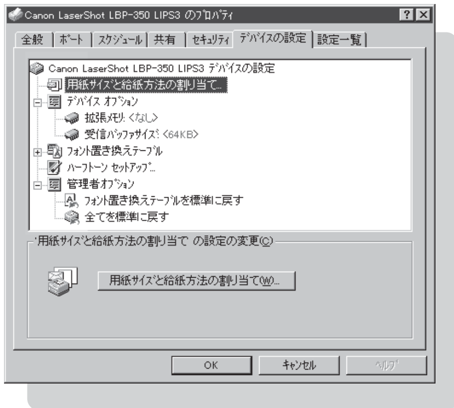
プリンタの設定画面が表示されます。

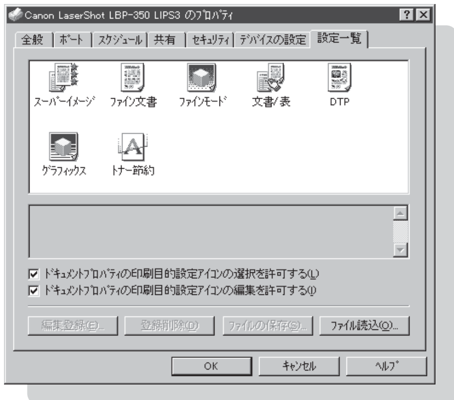


4

プリンタの設定画面の［デバイスの設定］シートと［設定一覧］シートで、印刷に関する項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。

プリンタの設定が変更されます。





全ドキュメントの標準設定をする

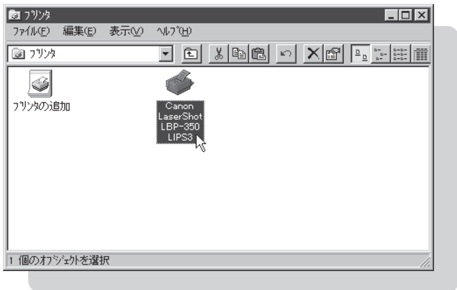
1

［スタート］メニューの［設定］－［プリンタ］メニューを選択します。

［プリンタ］フォルダが表示されます。

2

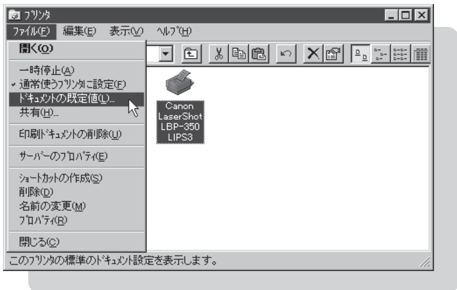
印刷設定を変更したいプリンタのアイコンを選択します。



3

［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］を選択します。

プリンタドライバの設定画面が表示されます。



4

プリンタドライバの設定画面の各シートで印刷に関する項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

標準の印刷設定が変更されます。



4

第4章　Windows 2000/XPから印刷するには

ここでは、Microsoft Windows 2000/XP日本語版に各種ソフトウェアをインストールする手順や注意事項などについて説明します。

1 必要なシステム環境

LBP-350に付属のソフトウェアがWindows 2000/XP上で動作するために必要なシステム環境について説明します。

Windows 2000/XP用プリンタドライバ/NetSpot Job Monitor/NetSpot

Windows 2000/XP用プリンタドライバは、以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア	Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版 Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
コンピュータ	上記OSが動作するコンピュータ

USBクラスドライバは、以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア	Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版 Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
コンピュータ	上記OSが動作するコンピュータ

Windows 2000/XP用NetSpot Job Monitorは、以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア	Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版 Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
ハードウェア	
CPU	Intel社製Pentium 133MHz以上、またはそれらと互換性のあるもの
メモリ	16MB以上
画面サイズ	640×480ドット以上の表示解像度を持つディスプレイ
カラー	256色以上の表示色を持つディスプレイ
ハードディスク容量	
	動作時に10MB以上が必要

必要なシステム環境

Windows 2000/XP 用 NetSpot は、以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア　Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版

ハードウェア

パソコン　IBM PC 機 / その互換機、PC-98 シリーズ

メモリ　16MB 以上

ハードディスク　25MB以上の空き領域＋システムドライブに 6MB 以上の空き領域

画面　640 × 480　16 色以上（256 色以上を推奨）

対応しているプリンタの接続形態

NetSpotを使用するパソコンのパラレルインタフェースに接続されているプリンタまたは USB ポートを使用して接続されているプリンタ

お願い

- **Microsoft Windows 2000/XP 英語版ではお使いになれません。**
- **これらのソフトウェアをインストールするにはCD-ROMドライブが必要です。CD-ROM ドライブが使用できないパソコンにインストールする方法については、付録「6 CD-ROM ドライブが使用できないパソコンにインストールするには」（→ P.216）をお読みください。**
- **プリンタをネットワークで共有して、NetSpot Job Monitor の機能を使用するためには、ネットワークに接続されているパソコンに NetSpot Job Monitor をインストールし、そのパソコンのプリンタポートまたは USB ポートにプリンタを接続（ローカル接続）し、そのプリンタを共有プリンタとして設定しておく必要があります。**
- **NetSpot は、PC98 シリーズ（PC98-NX を除く）にローカル接続されたプリンタには対応していません。**
- **プリンタドライバなどのソフトウェアは、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。最新バージョンをお使いになるには、巻末の「ソフトウェアのバージョンアップについて」を参照して、バージョンアップを行ってください。**

4

2 プリンタドライバをインストールする

アプリケーションソフトから印刷するには、お使いのコンピュータにあらかじめプリンタドライバを組み込んでおく必要があります。この作業をインストールと呼びます。以下の手順でインストールを行ってください。

お願い

●以前のバージョンのプリンタドライバがインストールされている場合は、必ずそれらのプリンタドライバを削除してから、本プリンタドライバをインストールしてください。

メモ

●お使いの環境によっては、[新しいハードウェアの検出ウィザード] で自動検出されたデバイス名称が " 不明 " と表示されることがあります。

4

インストールの前に

本プリンタドライバには、パラレルインタフェースとUSBの2種類に対応しています。お使いのOSにより、ご使用いただけるインタフェースの種類やインストールするソフトウェアが異なります。本プリンタをUSBで使用するためには、はじめにUSBクラスドライバをインストールする必要があります。

本プリンタをお使いになる上で必要なソフトウェア

OS	使用可能なインタフェース	USBクラスドライバ	プリンタドライバ
Windows 2000/XP	USB	**インストールが必要**	**インストールが必要**
	パラレルインタフェース	必要ありません	**インストールが必要**

お使いの環境にあったインストールを行ってください。

・Windows 2000 用 USB クラスドライバのインストール手順→ **P.105**
・Windows 2000 用プリンタドライバのインストール手順→ **P.109**
・Windows XP 用 USB クラスドライバのインストール手順→ **P.113**
・Windows XP 用プリンタドライバのインストール手順→ **P.118**

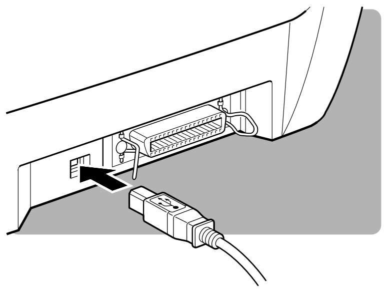
プリンタドライバをインストールする

Windows 2000用USBクラスドライバのインストール手順

メモ
- 本プリンタをUSBで使用するには、お使いのパソコンにUSBポートが装備されており、メーカーによりUSBの動作が保証されている必要があります。
- 手順1～3は、Windowsを起動する前に行ってください。

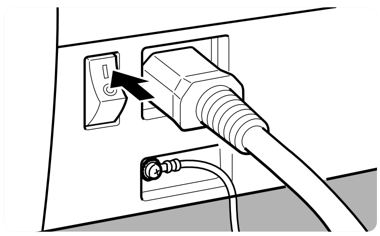
1

本プリンタの背面のUSBポート、パソコンのUSBポートをケーブルで確実に接続します。



2

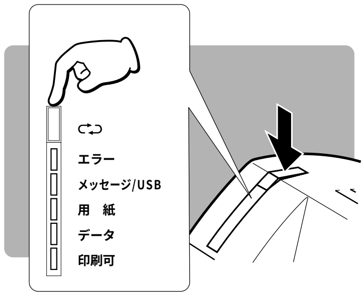
本プリンタの電源をオンにします。



3

操作ボタンを連続して２回押し、USBが使用できる状態にします。

メッセージ/USBランプが点灯します。



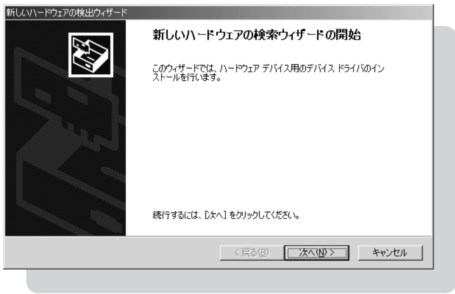
メモ
- 本プリンタの工場出荷時の状態では、電源をオンにするとパラレルインタフェースが使用できる状態になります。電源をオンにしたときに、USBポートが使用できるようにする場合は、操作ボタンを押しながら電源をオンにし、全てのランプが点灯した後、エラーランプが点灯している状態のときに操作ボタンから手を離してください。

4

Windows を起動します。

プラグ アンド プレイが実行され、USB クラスドライバがインストールされ､「USB印刷サポート」が登録されます。

続いて[新しいハードウェアの検索ウィザードの開始] が表示される場合は、キャンセルで一度ウィザードを閉じます。



4

メモ

- **プラグ アンド プレイにより Windows に標準の USB クラスドライバをインストールした後に、CD-ROM に同梱している キヤノン製のUSBクラスドライバをインストールします。**

5

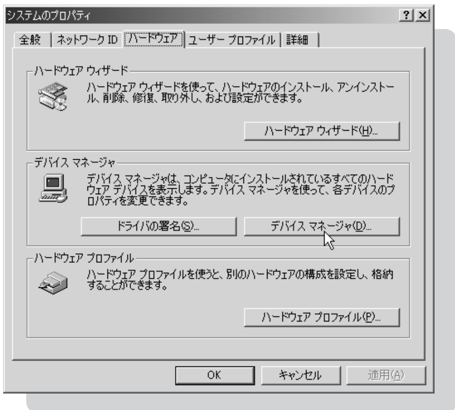
付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニューが自動的に立ち上がりますが､ドライバのインストールはUSB クラスドライバのインストールの後に行いますので、そのまま以下の手順を進めます。

6

[コントロールパネル] ー [システム] ー [ハードウェア] タブを選択して､[デバイス マネージャ] をクリックします。

[デバイス マネージャ] が表示されます。

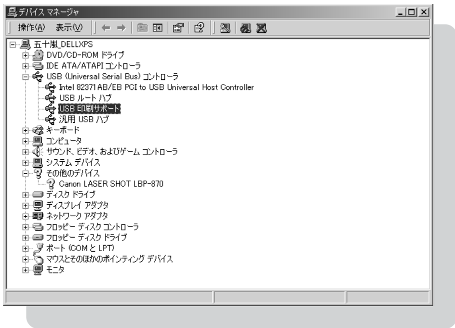


プリンタドライバをインストールする

7

[USB (Universal Serial Bus)] コントローラの [USB 印刷サポート] をダブルクリックします。

[USB 印刷サポートのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



8

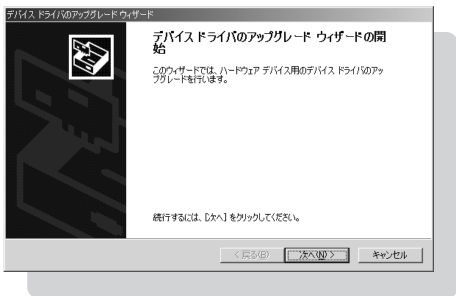
[ドライバ] タブをクリックし、[ドライバの更新] ボタンをクリックします。

ウィザードが表示されます。



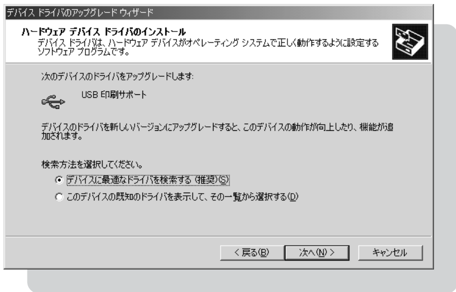
9

[デバイスドライバのアップグレードウィザード] が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。



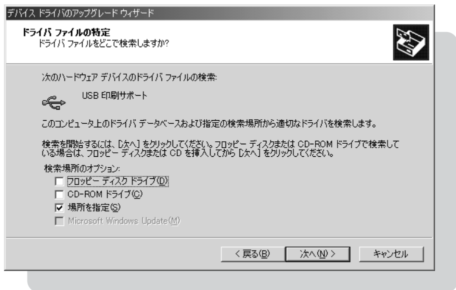
10

［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



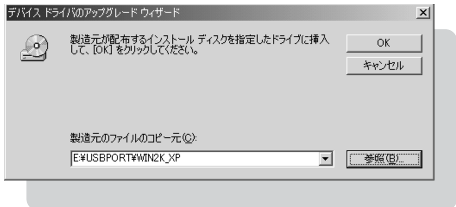
11

［場所を指定］だけにチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。



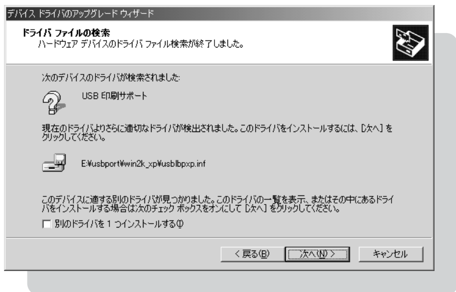
12

［参照］から、［CD-ROM　ドライブ\USBPORT\WIN2K_XP］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



13

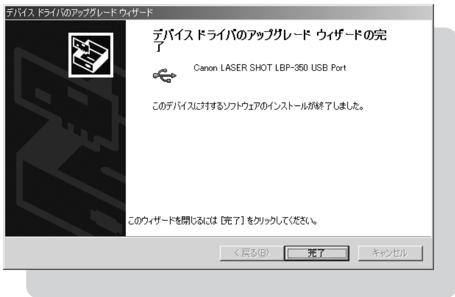
LBP-350 用のUSB クラスドライバが検索されますので、［次へ］ボタンをクリックします。



プリンタドライバをインストールする

14

インストールが終了したら、[完了] ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。



メモ

- システムのプロパティのデバイスマネージャに、「Canon LBP USB Device 」とその下に「Canon LASER SHOT LBP-350 USB Port」が追加されていることを確認してください。

4

Windows 2000 用プリンタドライバのインストール手順

1

Windows を起動し、Administrators のメンバーとしてログオンします。

メモ

- プリンタドライバの組み込みを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

メモ

- Windows を起動したときに、［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されたら、［キャンセル］ボタンをクリックします。

2

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。

お願い

- CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROM メニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状況によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある Autorun.exe ファイルをダブルクリックして起動してください。

3

CD-ROMメニューの［プリンタドライバインストール］ボタンをクリックします。

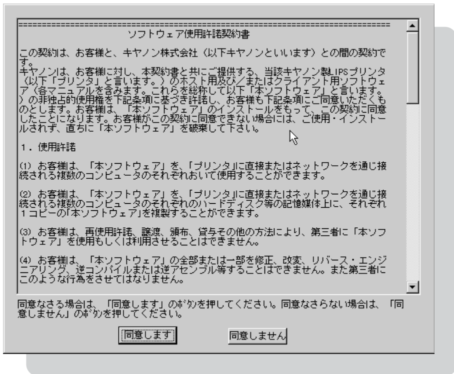
使用許諾契約書が画面に表示されます。



4

使用許諾契約書の内容を確認し、［同意します］ボタンをクリックします。

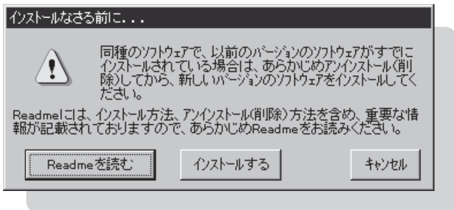
［インストールなさる前に］ダイアログボックスが表示されます。



5

必要に応じてReadmeを読みます。インストールを継続するには、［インストールする］ボタンをクリックします。

［プリンタ］フォルダが表示されます。



6

［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が起動します。

プリンタドライバをインストールする

7

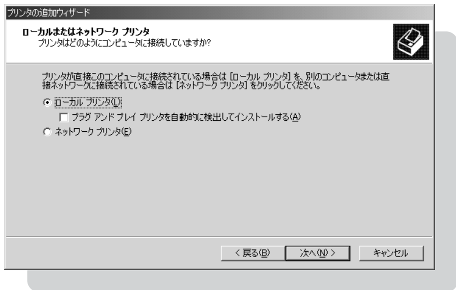
［次へ］ボタンをクリックします。

ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを選択する画面になります。

8

［ローカルプリンタ］を選択し、［プラグアンドプレイプリンタを検出してインストールする］のチェックをはずして、［次へ］ボタンをクリックします。

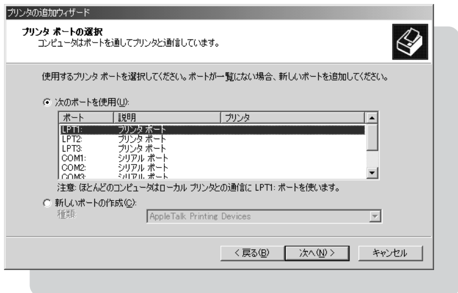
プリンタポートを選択する画面になります。



9

プリンタに使用するポートを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

本プリンタをパラレルインタフェースに接続してお使いになる場合は「LPT1」を選択します。
USBポートに接続してお使いになる場合は、「LPT.USB1」を選択します。



お願い

- **必ず、本体側でパラレルインタフェース／USB を切り替えたポートを選択してください。誤ったポートを選択すると印刷できません（→ P.162）。**

10

［ディスク使用］ボタンをクリックします。

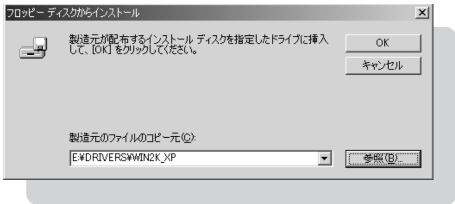
［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。



4

11

[参照] ボタンをクリックして [CD-ROMのドライブ名：\ D R I V E R S \ WIN2K_XP] を指定して、[OK] ボタンをクリックします。



12

[Canon LaserShot LBP-350 LIPS3] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

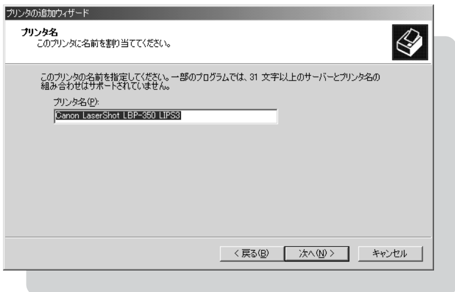
お使いの環境によっては、現在のドライバを使用するか、新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されることがあります。この場合は、必ず [新しいドライバに置き換える] を選択してください。プリンタの名前を設定する画面になります。



13

ここでは、プリンタアイコンに表示される名前を変更することができます。必要があれば名前を入力します。

（以降、本書では「Canon LaserShot LBP-350 LIPS3」と入力したものとして説明します。）



14

画面の案内に従ってインストールを続けます。

プリンタドライバをインストールする

15

テスト印刷についての項目を指定し、［次へ］ボタンをクリックします。



ウィザードで行った設定を確認する画面が表示されます。

16

［完了］ボタンをクリックします。

ファイルのコピーが開始され、プリンタドライバのインストールが完了します。テスト印刷が設定されている場合は、テストページが印刷されます。

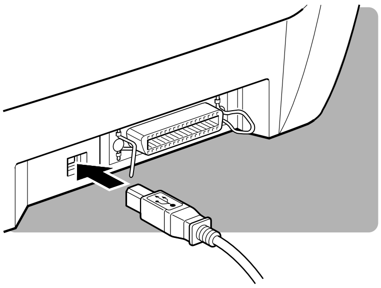
Windows XP 用 USB クラスドライバのインストール手順

メモ

- 本プリンタをUSBで使用するには、お使いのパソコンにUSBポートが装備されており、メーカーによりUSBの動作が保証されている必要があります。
- 手順1～3は、Windowsを起動する前に行ってください。

1

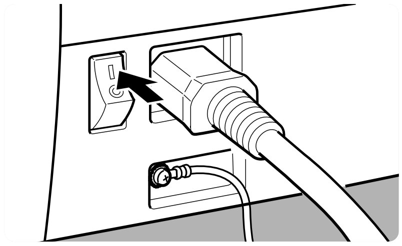
本プリンタの背面のUSBポート、パソコンのUSBポートをケーブルで確実に接続します。



4

2

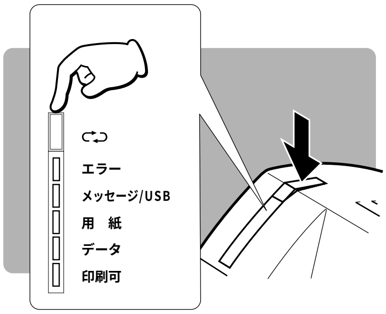
本プリンタの電源をオンにします。



3

操作ボタンを連続して 2 回押し、USB が使用できる状態にします。

メッセージ /USB ランプが点灯します。



メモ

- **本プリンタの工場出荷時の状態では、電源をオンにするとパラレルインタフェースが使用できる状態になります。電源をオンにしたときに、USBポートが使用できるようにする場合は、操作ボタンを押しながら電源をオンにし、全てのランプが点灯した後、エラーランプが点灯している状態のときに操作ボタンから手を離してください。**

4

Windows を起動します。

プラグ アンド プレイが実行され、自動的に USB クラスドライバがインストールされ、「USB 印刷サポート」が登録されます。

メモ

- **プラグ アンド プレイにより Windows に標準の USB クラスドライバをインストールした後に、CD-ROM に同梱しているキヤノン製の USB クラスドライバをインストールします。**

プリンタドライバをインストールする

5

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニューが自動的に立ち上がりますが、ドライバのインストールはUSB クラスドライバのインストールの後に行いますので、そのまま以下の手順を進めます。

6

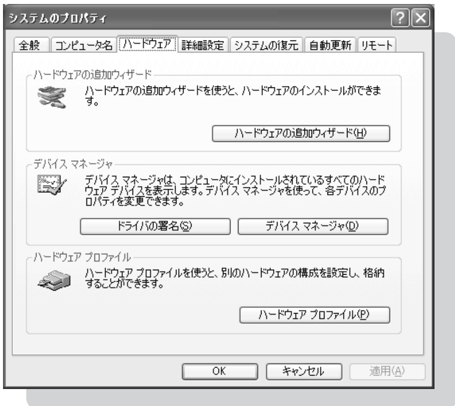
[コントロールパネル] － [プリンタとその他のハードウェア] を選択し、左上の [関連項目] から [システム] を選択します。

システムのプロパティが表示します。



7

[ハードウェア] タブを選択して、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。

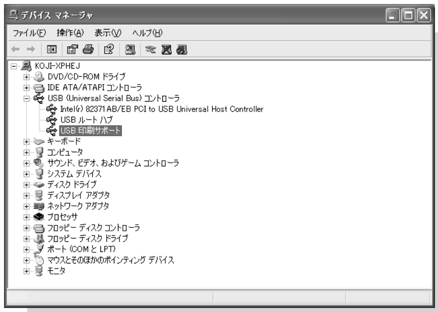


4

8

[USB (Universal Serial Bus)] コントローラの [USB 印刷サポート] をダブルクリックします。

[USB 印刷サポートのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



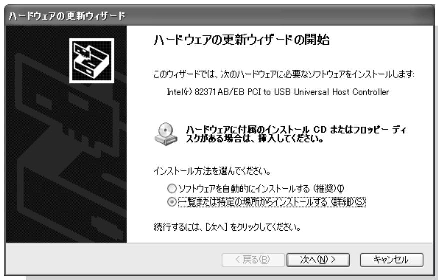
9

[ドライバ] タブをクリックし、[ドライバの更新] ボタンをクリックします。



10

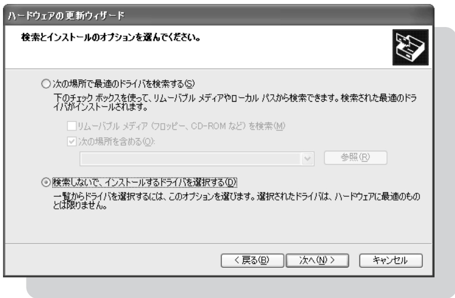
[一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



プリンタドライバをインストールする

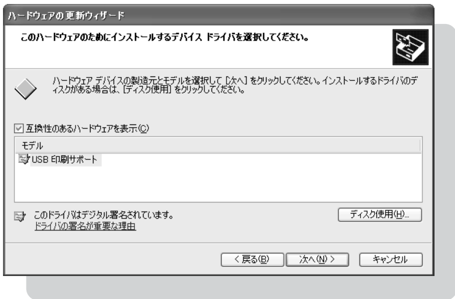
11

[検索しないで、インストールするドライバを選択する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



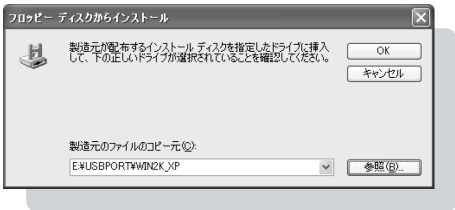
12

[ディスク使用] をクリックします。



13

[参照] から [CD-ROM ドライブ:\USBPORT\WIN2K_XP] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



ウィザードに戻ります。

14

[モデル] から [Canon LASER SHOT LBP-350 USB Port] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

4

15

インストールが終了したら、[完了] ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。



メモ

●システムのプロパティのデバイスマネージャに、「Canon LBP USB Device 」とその下に「Canon LASER SHOT LBP-350 USB Port」が追加されていることを確認してください。

Windows XP 用プリンタドライバのインストール手順

1

Windows を起動し、Administrators のメンバーとしてログオンします。

メモ

●プリンタドライバの組み込みを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。
●Windows を起動したときに、[新しいハードウェアの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されたら、[キャンセル] ボタンをクリックします。

2

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。

お願い

●CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROM メニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状況によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある Autorun.exe ファイルをダブルクリックして起動してください。

プリンタドライバをインストールする

3

CD-ROMメニューの［プリンタドライバインストール］ボタンをクリックします。

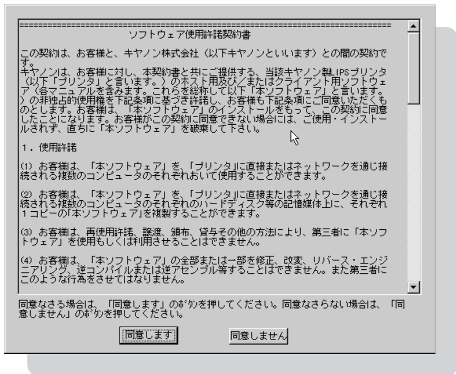
使用許諾契約書が画面に表示されます。



4

使用許諾契約書の内容を確認し、［同意します］ボタンをクリックします。

［インストールなさる前に］ダイアログボックスが表示されます。



5

必要に応じて Readme を読みます。インストールを継続するには、［インストールする］ボタンをクリックします。

[プリンタとFAX]フォルダが表示されます。

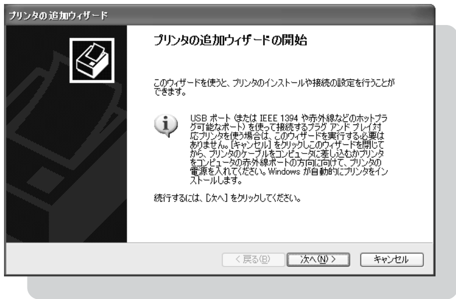
6

左上の［プリンタのタスク］から［プリンタのインストール］を選択します。

[プリンタの追加ウィザード]が起動します。

7

[次へ]ボタンをクリックします。



8

[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックをはずして、[次へ]ボタンをクリックします。



9

プリンタに使用するポートを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

本プリンタをパラレルインタフェースに接続してお使いになる場合は「LPT1」を選択します。

USBポートに接続してお使いになる場合は、「LPT.USB1」を選択します。



お願い

- **必ず、本体側でパラレルインタフェース／USBを切り替えたポートを選択してください。誤ったポートを選択すると印刷できません（→ P.162）。**

プリンタドライバをインストールする

10

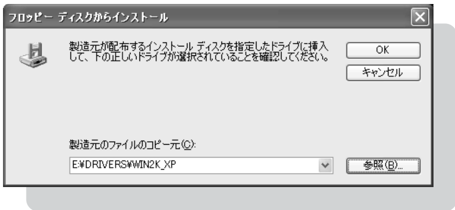
［ディスク使用］ボタンをクリックします。

［フロッピーディスクからインストールする］ダイアログボックスが表示されます。



11

［製造元のファイルのコピー元］で［CD-ROM ドライブ \ DRIVERS \ WIN2K_XP］を指定して［OK］ボタンをクリックします。



12

［Canon LaserShot LBP-350 LIPS3］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

13

ここでは、プリンタアイコンに表示される名前を変更することができます。必要があれば名前を入力します。

（以降、本書では「Canon LaserShot LBP-350 LIPS3」と入力したものとして説明します。）



メモ

- 普段使用するプリンタとする場合は、［このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？］で［はい］を選択します。

14

共通プリンタについての項目を指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

15

テスト印刷についての項目を指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

16

[完了]ボタンをクリックします。

ファイルのコピーが開始され、プリンタドライバのインストールが完了します。テスト印刷が設定されている場合は、テストページが印刷されます。



3 NetSpot Job Monitorを インストールする

Windows 2000/XP上のNetSpot Job Monitorには、管理者用と一般ユーザ用の2種類があります。どちらのNetSpot Job Monitorをインストールするかにより、インストール方法が異なります。

NetSpot Job Monitorの種類	インストールに必要な権限	印刷状況を確認できるプリンタの種類
管理者用	Windows 2000/XPのAdministrators	共有設定されているプリンタ ローカル接続されているプリンタ （下記参照）
一般ユーザ用	特に必要ありません	共有設定されているプリンタのみ

お願い

- **一般ユーザ用のNetSpot Job Monitorをお使いの場合は、共有設定されているプリンタの印刷状況のみ確認できますので、他のWindows 2000/XPをサーバとして使用している場合などにお使いください（そのとき、サーバとして使用しているWindows 2000/XPには管理者用のNetSpot Job Monitorをインストールしてください）。**

Windows 2000/XP用NetSpot Job Monitorのインストール手順

管理者用のインストールをする場合は、Administratorsのメンバーとしてログオンしてください。

管理者用のインストールでは、NetSpot Job Monitorのサーバ機能モジュールと、プリンタのユーザインタフェースモジュールがインストールされます。ネットワーク環境でコンピュータをプリンタサーバとして使用している場合や、プリンタをローカル接続している場合（パソコンにプリンタを直接接続している場合）などに、管理者用のインストールを行います。

1

Windowsを起動し、ログオンします。

2

付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。

> ●CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROM メニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状況によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある Autorun.exe ファイルをダブルクリックして起動してください。

お願い

3

CD-ROM メニューの［NetSpot Job Monitorインストール］ボタンをクリックします。

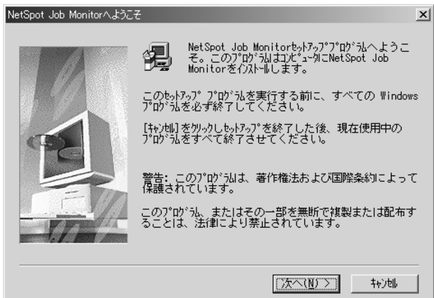
［NetSpot Job Monitorインストーラ］が起動し、［NetSpot Job Monitorへようこそ］ダイアログボックスが表示されます。



4

ダイアログボックスの記載内容を読み、［次へ］ボタンをクリックします。

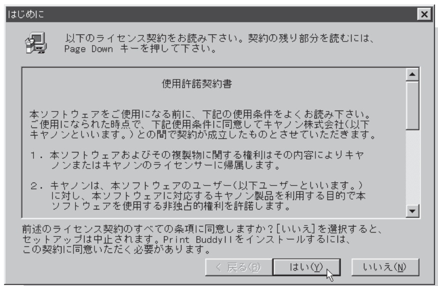
使用許諾契約書が表示されます。



5

使用許諾契約書の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックします。

［インストール先の入力］ダイアログボックスが表示されます。



4

NetSpot Job Monitor をインストールする

6

NetSpot Job Monitorを組み込むディレクトリを指定します。表示されているディレクトリでよければ、［次へ］ボタンをクリックします。

［参照］ボタンをクリックして、インストール先のディレクトリを別に指定することができます。画面には、［インストールモジュールの選択］ダイアログボックスが表示されます。



7

Administrators の権限がある場合は、インストールするモジュールを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。一般ユーザ用のインストールを行った場合は、手順 9 に進みます。

［NetSpot Job Monitor 管理者モード］
　：サーバ機能モジュール
［NetSpot Job Monitor 一般ユーザモード］
　：プリンタのユーザインタフェース
　　モジュール

画面には、［プリンタ機種の選択］ダイアログボックスが表示されます。



8

[Canon LaserShot LBP-350 LIPS3]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



機種名の前のチェックマークをクリックして、選択を解除したり、選択し直すことができます。

［インストールの確認］ダイアログボックスが表示されます。

9

設定を確認して［次へ］ボタンをクリックします。

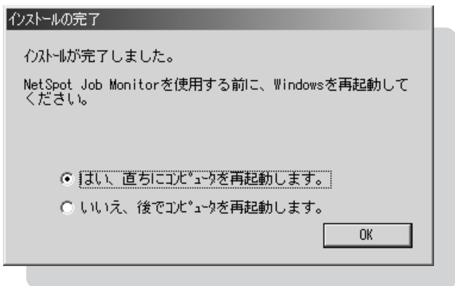


インストールの設定を変更したい場合は、［戻る］ボタンをクリックして再度設定し直してください。

［次へ］ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。

10

インストールが完了すると［インストールの完了］ダイアログボックスが表示されます。［OK］ボタンをクリックして、Windows を再起動してください。



4 NetSpot をインストールする

必要に応じて以下の手順で NetSpot をインストールします（NetSpot をインストールする前に、プリンタドライバをインストールしてください）。
NetSpot の使い方は第 2 章「13　NetSpot を使って高度な設定をする」（→ P.71）を参照してください。

お願い

- インストールの前にNetSpotを管理者モードで使用するか一般ユーザモードで使用するか決める必要があります。
- ・管理者モードと一般ユーザモード：
  NetSpot には、管理者モードと一般ユーザモードの 2 つの動作モードがあります。
  管理者モードは、ネットワークプリンタの管理者が使用するモードで、一般ユーザモードで使用できる機能のほかにネットワークの設定などの機能が利用できます。
  一般ユーザモードは通常のユーザが使用するモードです。プリンタの状態を調べる機能やプリンタの各種設定をする機能などが利用できます。

4

1

Windows を起動します。

2

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。

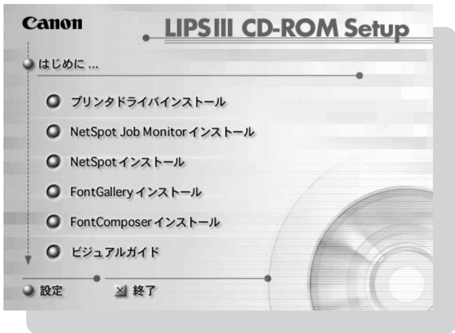
お願い

- CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROM メニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状況によってオートスタート機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある Autorun.exe ファイルをダブルクリックして起動してください。

3

CD-ROMメニューの［NetSpotインストール］ボタンをクリックします。

インストーラを選択する画面が表示されます。



4

管理者モードと一般ユーザモードの両方で使用できるNetSpotをインストールするときは、［管理者モード］ボタンをクリックします。一般ユーザモードのみ使用できるNetSpotをインストールするときは、［一般ユーザモード］ボタンをクリックします。

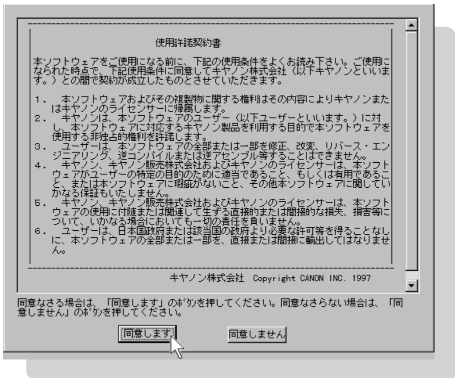
使用許諾契約書が画面に表示されます。



5

使用許諾契約書の内容を確認し、［同意します］ボタンをクリックします。

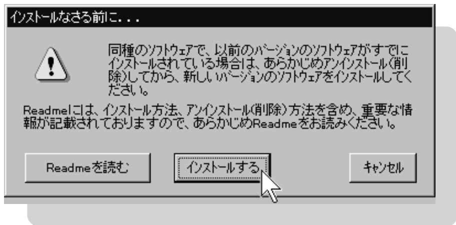
Readme を読むかどうかを選択する画面が表示されます。



NetSpot をインストールする

6

必要に応じてReadmeを読み、[インストールする］ボタンをクリックします。



インストールプログラムが起動します。以下、画面の指示に従ってインストールしてください。

メモ

●プロトコルを選択する画面では、NetSpot で使用するネットワークプロトコルを選択します。［なし］を選択した場合は、ローカル接続されているプリンタのみ使用できます。

インストールが完了したら、NetSpot を使用できます。

お願い

●NetSpot を使用する前に「NetSpot の準備をする」（→ P.71）に従って、必要な設定を行ってください。

メモ

●インストール完了後、NetSpot インストーラを起動して［デバイスの追加］を選択すると、NetSpot で管理できるプリンタの種類を追加または削除することができます。

4

5

プリンタドライバの設定をする

本プリンタでは、プリンタドライバの設定をすることで、いろいろな機能を使って印刷を行うことができます。プリンタドライバの設定をするには、次の3つの方法があります。なお、プリンタドライバの各機能についてはヘルプを参照してください。

設定の種類	設定方法	設定の内容	必要なアクセス権
印刷時のドキュメント設定	アプリケーションからプリンタドライバの設定画面を開く	印刷するドキュメントに関する設定	ドキュメントの印刷権
プリンタの設定	［プリンタ］フォルダの［ファイル］-［プロパティ］メニューを選択する	プリンタに関する設定	フルコントロールアクセス権
全ドキュメントの設定	［プリンタ］フォルダの［ファイル］-［印刷設定］メニューを選択する	全ドキュメントに関する標準設定	フルコントロールアクセス権

お願い

- **「印刷時のドキュメントの設定」と「全ドキュメントの設定」で設定できる項目は同じです。設定した内容が、今回の印刷時のみ有効か、毎回有効になるかが異なります。**
- **デフォルトで文書の印刷権を持っているのはAdministratorsとPower Usersのメンバーです。**

印刷時のドキュメント設定をする

1

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します（アプリケーションによってコマンド名が異なります）。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

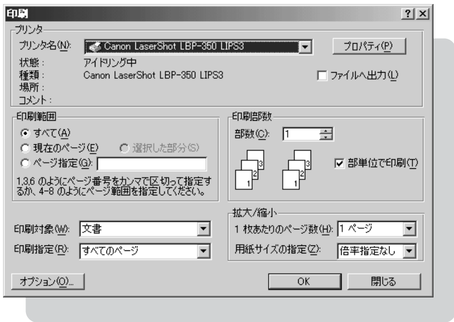


プリンタドライバの設定をする

2

［プリンタ名］にお使いのプリンタ名が表示されていることを確認し、［プロパティ］ボタン（Windows XPの場合は、［詳細設定］ボタン）をクリックします。

プリンタドライバ設定画面が表示されます。



上図は Windows 2000 の画面例です。

3

プリンタドライバの設定画面の各シートで印刷に関する項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

プリンタの設定をする

1

［プリンタ］フォルダ（Windows XPの場合は、［プリンタとFAX］フォルダ）を表示します。

メモ

- ［プリンタ］フォルダ、［プリンタと FAX］フォルダは以下の手順で表示します。
  Windows 2000：［スタート］ – ［設定］ – ［プリンタ］
  Windows XP Proffessional：［スタート］ – ［設定］ – ［プリンタと FAX］
  Windows XP Home Edition：［スタート］ – ［コントロールパネル］ – ［プリンタとその他のハードウェア］ – ［プリンタと FAX］

4

2

プリンタの設定を変更したいプリンタのアイコンを選択します。



上図は Windows 2000 の画面例です。

3

[ファイル] メニューの [プロパティ] を選択します。

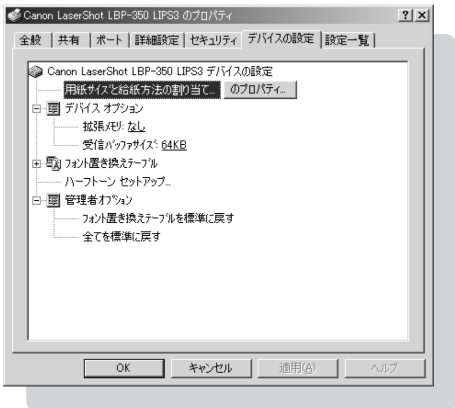
プリンタの設定画面が表示されます。



4

プリンタの設定画面の ［デバイスの設定］ シートと ［設定一覧］ シートで、印刷に関する項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

プリンタの設定が変更されます。



プリンタドライバの設定をする



4

全ドキュメントの標準設定をする

1

[プリンタ] フォルダ（Windows XPの場合は、[プリンタとFAX] フォルダ）を表示します。

メモ

- ［プリンタ］フォルダ、［プリンタと FAX］フォルダは以下の手順で表示します。

  Windows 2000：［スタート］ － ［設定］ － ［プリンタ］
  Windows XP Proffessional：［スタート］ － ［設定］ － ［プリンタと FAX］
  Windows XP Home Edition：［スタート］ － ［コントロールパネル］ － ［プリンタとその他のハードウェア］ － ［プリンタと FAX］

2

印刷設定を変更したいプリンタのアイコンを選択します。



上図は Windows 2000 の画面例です。

3

[ファイル] メニューの [印刷設定] を選択します。

プリンタドライバの設定画面が表示されます。



4

プリンタドライバの設定画面の各シートで印刷に関する項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

標準の印刷設定が変更されます。



5

第5章　DOSから印刷するには

ここでは、PC-9800シリーズ日本語版MS-DOS Version 3.30以降、またはDOS/V Version 5.0以降（以下DOSと表記）から印刷するときの注意事項などについて説明します。

1 アプリケーションソフトから印刷する

DOSアプリケーションソフトから印刷する場合には、アプリケーションソフトの中で使用するプリンタの機種を選択し、印刷のレイアウトなどの設定を決めて印刷します。
LBP-350が対応しているプリンタドライバは、「LIPS III」と「ESC/P」です。アプリケーションからプリンタの機種を選択するということは、プリンタドライバの種類を選択することになります。
印刷の前に、以下を参考にしてプリンタの機種を選択してください。

お願い

- DOSアプリケーションソフトから印刷する場合には、付属のプリンタドライバは使用できません。
- プリンタの機種の選択方法、印刷の手順については、お使いのアプリケーションに付属の取扱説明書をお読みください。
- プリンタ本体側のパラレル／USBインタフェースの切り替え設定では、必ずパラレルインタフェースに設定してください。USBポートを使っての印刷はできません（→P.162）。

5

LBP-350の機種名が表示されるとき

LBP-350の機種名を選択します。

他のレーザショットの機種名しか表示されないとき

本プリンタの機種名がないときは、互換性のある他のレーザショットの機種名を選択します。

優先順位	機　種　名	LIPSのバージョン
1	LBP-320	LIPS III
2	LBP-310	LIPS III
3	LBP-A404F	LIPS III
4	LBP-A405Jr.、A404GII、LBP-A404E	LIPS III
5	LBP-B406GII、LBP-B406EII	LIPS III
6	LBP-A404	LIPS III
7	LBP-B406S/D	LIPS III

アプリケーションソフトから印刷する

お願い

●優先順位が高いほど、本プリンタとの互換性が高くなります。
●これらのプリンタの機種名を選択した場合は、印刷には支障ありませんが、LBP-350 で対応していない機能は使えません。たとえば、給紙用カセット等は使用できません。
●プリンタ設定の方法や表示されるプリンタ名称はアプリケーションソフトによって違います。アプリケーションソフトに付属の取扱説明書をお読みになって、正しく設定してください。

アプリケーションが LIPS IIIに対応していない場合

アプリケーションが、LBP-350の機能を十分に引き出せるLIPS IIIに対応していない場合は、ESC/P エミュレーションモードで印刷します。

ESC/P に対応しているプリンタ（たとえば VP-1000 など）を選択します。

ESC/Pエミュレーションモードの設定方法や注意事項については、「3 動作モードについて」（→ **P.139**）と「4 ESC/P モードを使用する」（→ **P.142**）をお読みください。

メモ

●LBP-350 は、「PC-PR201 系」のプリンタドライバには対応していません。

2 いろいろな機能を利用するには

本プリンタは縮小して印刷したり、トナーを節約しながら印刷することができます。これらの機能は、NetSpotから設定することができます。

設定できる機能

LBP-350では、次のような機能をDOS上で利用することができます。

よく使う機能

項目名	機能の概要	設定方法
デフォルト用紙サイズ	給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。	［共通］シートの［デフォルト用紙サイズ］で大きさを選択します。
ページフォーマット	エミュレーションモードで使用する場合、用紙に合わせてページフォーマットを設定します。	［ESC/P］シートの［ページフォーマット］でサイズを選択します。

使ってみると便利な機能

項目名	機能の概要	設定方法
縮小印刷 **（LIPSモード時のみ）**	データを縮小して印刷します。	［LIPS］シートの［縮小印刷］で大きさを選択します。
オーバレイ印字 **（LIPSモード時のみ）**	LIPSのコントロールコマンドで登録したフォーマットを選択し、重ねて印刷します。	［LIPS］シートの［拡張設定］でオーバレイ1、オーバレイ2をチェックします。
トナー濃度	印刷濃度を設定します。	［共通］シートの［トナー濃度］で数値を設定します。
トナー節約モード	トナー消費量を節約します。	［共通］シートの［トナー節約モード］をチェックします。

設定方法については、第2章「13　NetSpotを使って高度な設定をする」（→**P.71**）を参照してください。

メモ

- **アプリケーションソフト上で、NetSpotと同じ設定項目があるときは、アプリケーションソフトでの設定が優先されます。**

3 動作モードについて

本プリンタは、キヤノン製プリンタ専用のLIPSモード、DOS/Vパソコンや AXパソコンなどで使われているESC/Pのエミュレーションモードの2種類の動作モードを内蔵しています。

プリンタはプリントデータを受信すると、データを判別して自動的にデータに応じた動作モードに切り替えて印刷します。このため、通常は工場出荷時の設定のままで各種パソコンに対応できますが、自動切り替えがうまくできないときなどは、どちらかの動作モードに固定することができます。

LIPS とは

LIPSとは、キヤノンが開発したページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。LIPS に対応しているアプリケーションソフト（一太郎、Lotus 1-2-3、桐など）は、この LIPS モードで印刷します。

ESC/P とは

ESC/P とは、DOS/V や IBM-PC 系のコンピュータ、AX パソコンで標準的に使用されているコントロールコマンド体系です。このESC/Pに準拠したプリンタのまねをして、同じようにプリントできるようにすることをエミュレーションと言います。LIPSに対応していないアプリケーションソフトを使用しているときは、ESC/Pエミュレーションモードで印刷します。エプソンが提唱する ESC/P-J84 のコマンド体系に準拠しています。

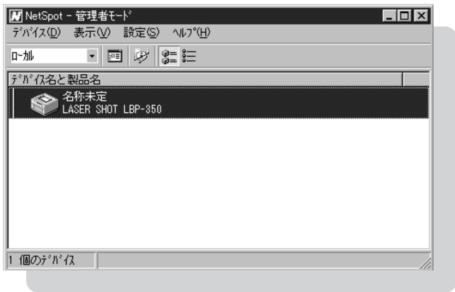
動作モードを固定するには

本プリンタの動作モードの設定を［自動］（工場出荷時の設定）で使用中に、ESC/P データが LIPS で印刷されるなど、動作モードの自動切り替えがうまくいかないときは、印刷データに合わせて動作モードを固定してください。NetSpot から設定します。

1

NetSpot を起動します。

デバイスリストにNetSpotから参照できるプリンタの一覧が表示されます。



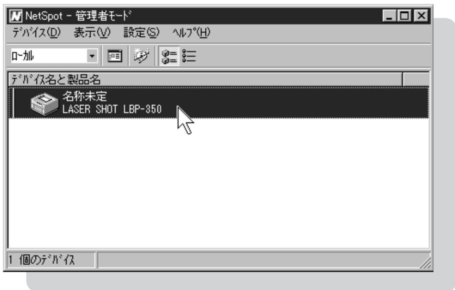
お願い

●設定をするプリンタのアイコンが表示されていないときは、NetSpot のヘルプ「トラブルシューティング」を参照してください。

2

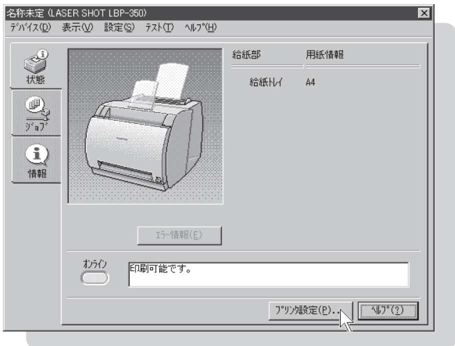
設定をするプリンタのアイコンをダブルクリックします。

プリンタの詳細な情報が表示されます。



3

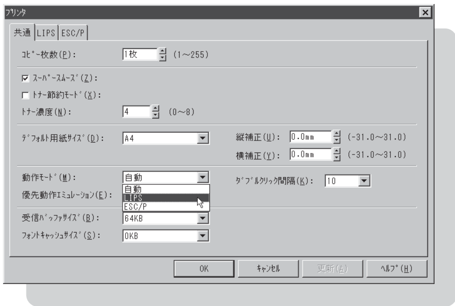
[状態] シートを表示し、[プリンタ設定] ボタンをクリックするか、[設定] ー [プリンタ] メニューを選択します。
[プリンタ] ダイアログボックスが表示されます。



動作モードについて

4

[共通] シートを表示し、[動作モード] の設定を変更します。



メモ

●通常、[プリンタ] ダイアログボックスの各項目の設定値は、実際にプリンタに設定されている設定値が表示されます。ただし、プリンタの状態やプリンタとの接続形態によっては、プリンタに設定されている設定値を調べられない場合があります。このときは [状態] シートの下の方に「単方向通信のため、表示されている情報とデバイスの設定が異なる場合があります。」と表示されます。

5

[OK] ボタンまたは [更新] ボタンをクリックし、設定を有効にします。

お願い

●ESC/Pエミュレーションモードで印刷するときは、あらかじめページフォーマットを設定しておく必要があります。「ページフォーマットについて」(→P.142) をお読みください。

コントロールコマンド一覧の表示方法

LIPSコントロールコマンド一覧とESC/Pエミュレーションコントロールコマンド一覧は、付属 CD-ROM「User Software for LBP-350」に収められています。

本プリンタが標準で対応している2つのコントロールコマンド (LIPS、ESC/Pエミュレーションコマンド) の機能、書式、コード、パラメータをまとめたリストが本プリンタ付属のCD-ROM「User Software for LBP-350」の [COMLIST] ディレクトリに収められています。テキストファイルですので、テキストエディタなどを使ってご覧ください。

LIPSコントロールコマンドのさらに詳細な書式、使用例については、オプションのプログラマーズマニュアルをご覧ください。

5

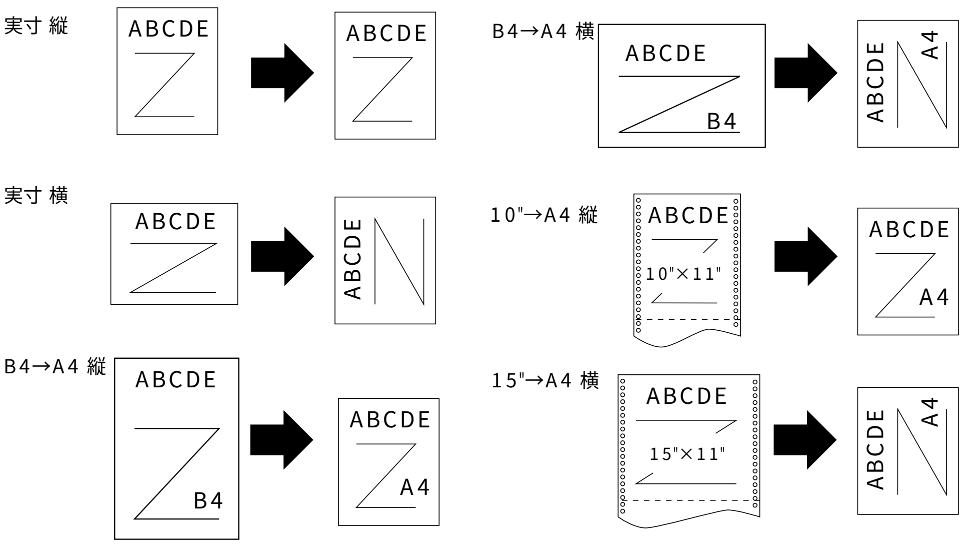
4 ESC/P モードを使用する

ここでは、ESC/Pエミュレーションモードで使用するときに注意しなければならないことを説明します。

ページフォーマットについて

本プリンタをESC/Pエミュレーションモードで使用するときは、あらかじめページフォーマットを設定しておく必要があります。
いままでESC/P準拠プリンタで使用していた用紙の種類やアプリケーションソフトで使用していた用紙の種類に合わせ、次の 6 種類のページフォーマットから選択して設定してください。
本プリンタを購入したとき（工場出荷時）の状態では「実寸縦」に設定されています。実寸以外の設定では、A4 に合わせて縮小印字されます。ページフォーマットの詳細は、「ESC/P モードでのページフォーマット」（→ **P.147**）をご覧ください。

- 縦置きのA4用紙にプリントしていた場合 ➡ 実寸 縦
- 横置きのA4用紙にプリントしていた場合 ➡ 実寸 横
- 縦置きのB4用紙にプリントしていた場合 ➡ B4→A4 縦
- 横置きのB4用紙にプリントしていた場合 ➡ B4→A4 横
- 10"×11"の連続用紙にプリントしていた場合 ➡ 10"→A4 縦
- 15"×11"の連続用紙にA4サイズでプリントしていた場合 ➡ 15"→A4 横



メモ

●10" × 11" の連続用紙のサイズは、254mm × 279.4mm です。15" × 11" の連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mm です。

ESC/P モードを使用する

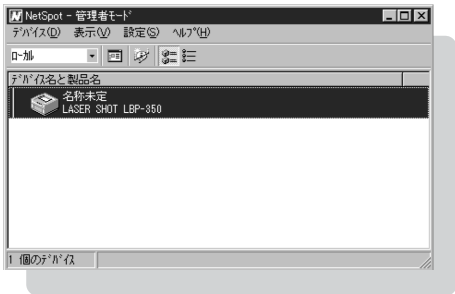
ページフォーマットの設定をするには

ESC/P エミュレーションモードのページフォーマットは、NetSpot から設定します。

1

NetSpot を起動します。

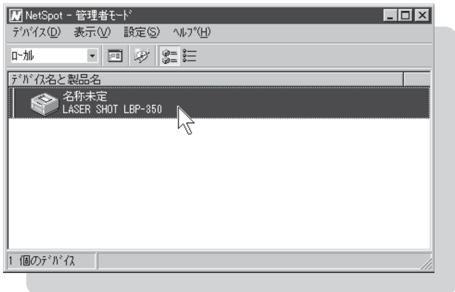
デバイスリストにNetSpotから参照できるプリンタの一覧が表示されます。



2

設定をするプリンタのアイコンをダブルクリックします。

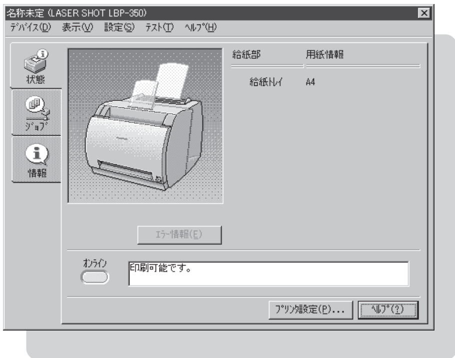
プリンタの詳細な情報が表示されます。



5

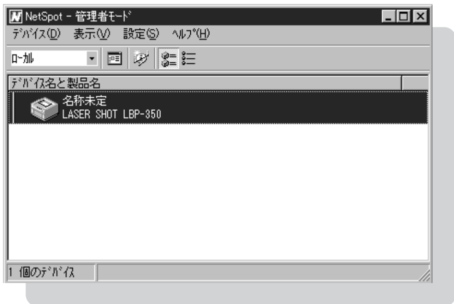
3

[状態] シートを表示し、[プリンタ設定] ボタンをクリックするか、[設定] − [プリンタ] メニューを選択します。
[プリンタ] ダイアログボックスが表示されます。



4

[ESC/P] シートを表示し、ページフォーマットの設定を変更します。



お願い

- 通常、[プリンタ] ダイアログボックスの各項目の設定値は、実際にプリンタに設定されている設定値が表示されます。ただし、プリンタの状態やプリンタとの接続形態によっては、プリンタに設定されている設定値を調べられない場合があります。このときは [状態] シートの下の方に「単方向通信のため、表示されている情報とデバイスの設定が異なる場合があります。」と表示されます。

5

[OK] ボタンまたは [更新] ボタンをクリックし、設定を有効にします。

ESC/P モードを使用する

ESC/P モードでの印刷

ESC/Pエミュレーションモードでは、ESC/P対応アプリケーションによる印刷出力ができますが、シリアルプリンタ（VP-1000）とは異なる点があります。印刷するにあたっては以下の点にご注意ください。

解像度の違いについて

VP-1000の解像度l80dpiに対し、解像度300dpi／各ページフォーマットごとの縮小率によってデータを変換します。これによって、印刷結果がVP-1000と異なることがあります。

イメージデータ　解像度/縮小率によってドットパターンが変換されるため、線の太さやグラフィックパターンが異なって見えることがあります。特に「15" → A4 横」では水平方向と垂直方向の縮小率が異なるため、イメージ全体が横長になります。

登録文字　24 × 24 ドット構成の外字は、l0 ポイントまたは 8 ポイント相当のドット構成に変換されるため、印字したときに文字パターンが変化したように見えることがあります。ダウンロード文字セットも同様にドット構成が変換されます。

印字間隔など　解像度/縮小率によって印字間隔が変換されるため、半端な値によって印字にズレを生じることがあります。

文字パターンの違いについて

文字サイズ　「実寸 縦」、「実寸 横」、「10" → A4 縦」では l0 ポイント、「B4 → A4 縦」、「B4 → A4 横」、「15" → A4 横」では 8 ポイントの文字が印字されるため、VP-1000 より若干大きめに見えることがあります。特に縮小モードでは、ページフォーマットの縮小率よりも大きな文字サイズになります。また、ローマン文字では英数字のみ文字幅が細めになります。

フォントデザイン　VP-l000 とはフォントのデザインが異なります。このため、特殊文字などの字形やANK/漢字のバランスが若干異なって見えるようになります。

5

2バイトコードの未定義領域

2バイトコードの中で、ESC/Pでは未定義の領域に本プリンタ専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字すると本プリンタ特有のパターンが印字されます。ただし、この範囲の文字に対しては文字修飾を行うことはできません。

その他の制限

プリントデータ量
1ページ内のプリントデータの量が非常に大きいとき、メッセージランプが点灯することがあります。この場合、エラースキップの操作を行えば、次ページに正常に印刷することができます。

登録文字数
文字の登録を行っているときなどにメモリが不足すると、エラーが発生し、メッセージランプが点灯します。登録文字数は工場出荷のメモリ設定（受信バッファなど）では以下の数になります。（1文字ずつ登録）

・ダウンロード文字　47文字

・外字　64文字

これ以上の登録文字が必要な場合には、オプション拡張RAMを増設して空きメモリを増やして再度印刷してください。

白紙の排出
本エミュレーションモードでは、ページ内に印刷データがないと排紙を行いません。

PCA-AX/3、FGL-AX/3
本ESC/Pエミュレーションは、他のLASER SHOTシリーズ用のPCA-AX（/3）コントロールカードとは印刷解像度やフォントが違うため、印刷結果が異なります。また、PCA-AX（/3）でサポートされているキヤノン拡張機能・拡張コマンド、およびFGL-AX（/3）には対応していません。

ESC/Pスーパー
本ESC/PエミュレーションはESC/P24-J84仕様にのみ対応しているため、ESC/Pスーパーのプリンタ設定では正しく印刷されません（漢字横書き/HDパイカモードの組み合わせのみ可能）。

メモリスイッチ機能について

AXプリンタのDIPスイッチやメモリスイッチで設定できる機能の中で、本エミュレーションモードがサポートしていない機能や特定の意味が異なる機能があります。
本エミュレーションモードでは、AXプリンタのそれぞれの機能を次のように取り扱います。

ESC/P モードを使用する

ESC/P モードでのページフォーマット

ページフォーマットと印字範囲

標準領域モード

ページフォーマット	印字範囲	A4	B5	A5	官製はがき
実寸 縦	文字数	78	67	54	35
	行　数	63	54	42	28
実寸 横	文字数	112	97	78	54
	行　数	42	36	28	16
B4 → A4 縦	文字数	97	×	×	×
	行　数	82	×	×	×
B4 → A4 横	文字数	136	×	×	×
	行　数	52	×	×	×
10" → A4 縦	文字数	80	×	×	×
	行　数	66	×	×	×
15" → A4 横	文字数	136	×	×	×
	行　数	66	×	×	×

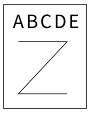
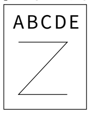
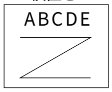
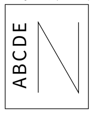
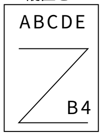
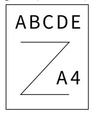
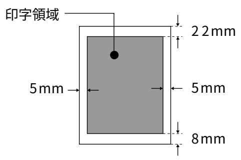
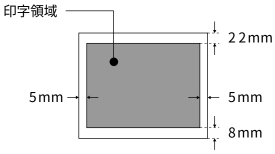
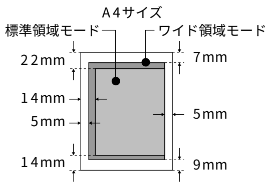
×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数/行数は、上余白と用紙位置微調整、右マージン既定値が初期状態の場合です。

ワイド領域モード

ページフォーマット	印字範囲	A4	B5	A5	官製はがき
実寸 縦	文字数	―	―	―	―
	行　数	―	―	―	―
実寸 横	文字数	―	―	―	―
	行　数	―	―	―	―
B4 → A4 縦	文字数	104	×	×	×
	行　数	88	×	×	×
B4 → A4 横	文字数	150	×	×	×
	行　数	61	×	×	×
10" → A4 縦	文字数	80	×	×	×
	行　数	68	×	×	×
15" → A4 横	文字数	150	×	×	×
	行　数	68	×	×	×

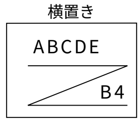
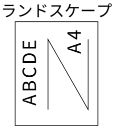
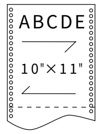
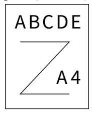
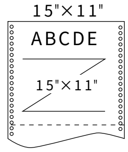
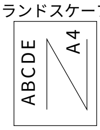
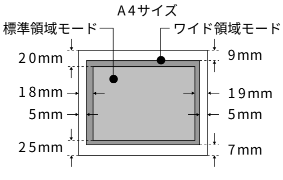
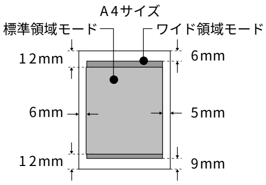
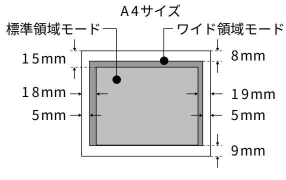
×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
ー：標準領域モードでの文字数・行数と同じです。
表中の文字数/行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値が初期状態の場合です。

5

設定値名	実寸 縦	実寸 横	B4 → A4 縦
	カット紙の場合のページフォーマット		
ページフォーマット	ESC/P準拠プリンタ 縦置き  レーザショット ポートレイト  ESC/P準拠プリンタにカット紙を縦置きにセットして印字するときのフォーマット。ESC/P準拠プリンタと同じ文字サイズ、改行ピッチ、文字間隔（実寸）で、ポートレイトで印字	ESC/P準拠プリンタ 横置き  レーザショット ランドスケープ  ESC/P準拠プリンタにカット紙を横置きにセットして印字するときのフォーマット。ESC/P準拠プリンタと同じ文字サイズ、改行ピッチ、文字間隔（実寸）で、ランドスケープで印字	ESC/P準拠プリンタ 縦置き  レーザショット ポートレイト  ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を縦置きでセットして印字するときのフォーマット。A4サイズに縮小し（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）、ポートレイトで印字
縮小率	－	－	連続用紙の印字範囲を縦横同率で3/4倍に縮小
用紙サイズ	A4、B5、A5、はがきサイズ	A4、B5、A5、はがきサイズ	A4、B5、A5、はがきサイズ （ワイド領域モードではA4サイズのみ）
印字文字	10ポイントのフォント	10ポイントのフォント	8ポイントのフォントを、若干縮小して印字
イメージの印字	プリンタの解像度が異なるため、ESC/P準拠プリンタとは印字結果が若干異なります	プリンタの解像度が異なるため、ESC/P準拠プリンタとは印字結果が若干異なります	プリンタ解像度の違いや縮小印字のため、ESC/P準拠プリンタの印字結果とは見た目が異なります
印字領域			
第1文字目の印字位置	先頭行（TOF行）の左マージン位置	先頭行（TOF行）の左マージン位置	先頭行（TOF行）の左マージン位置
右マージン	用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm(13.6")、またはコントロールパネルで設定した右マージン位置（有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータは印字されません）	用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6"）、またはコントロールパネルで設定した右マージン位置（有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータは印字されません）	**標準領域モード**：用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6"）（有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータは印字されません） **ワイド領域モード**：印字領域は本プリンタの有効印字領域とほぼ同じです
ボトム位置	ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはコントロールコマンドで設定したページ長	ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはコントロールコマンドで設定したページ長	**標準領域モード**：ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはコントロールコマンドで設定したページ長 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置

5

ESC/P モードを使用する

<table>
<tr><th colspan="2">B4 → A4 横</th><th colspan="2">10" → A4 縦</th><th colspan="2">15" → A4 横</th></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">連続用紙の場合のページフォーマット</td></tr>
<tr><td>ESC/P準拠プリンタ</td><td>レーザショット</td><td>ESC/P準拠プリンタ</td><td>レーザショット</td><td>ESC/P準拠プリンタ</td><td>レーザショット</td></tr>
<tr><td>横置き
</td><td>ランドスケープ
</td><td>10"×11"
</td><td>ポートレイト
</td><td>15"×11"
</td><td>ランドスケープ
</td></tr>
<tr><td colspan="2">ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を横置きにセットして印字するときのフォーマット。A4サイズに縮小し（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）、ランドスケープで印字</td><td colspan="2">ESC/P準拠プリンタにl0"×11"の連続用紙をセットして印字するときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にポートレイトで印字</td><td colspan="2">ESC/P準拠プリンタにl5"×11"の連続用紙をセットして印字するときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープで印字</td></tr>
<tr><td colspan="2">連続用紙の印字範囲を縦横同率で3/4倍に縮小</td><td colspan="2">連続用紙の印字範囲（8"×11"）を縦横同率で292/300倍に縮小</td><td colspan="2">連続用紙の印字範囲（13.6"×11"）を横方向で3/4倍、縦方向で2/3倍に縮小</td></tr>
<tr><td colspan="2">A4、B5、A5、はがきサイズ
（ワイド領域モードではA4サイズのみ）</td><td colspan="2">A4サイズ
（A4サイズ以下の用紙への印字は保証しません）</td><td colspan="2">A4サイズ
（A4サイズ以下の用紙への印字は保証しません）</td></tr>
<tr><td colspan="2">8ポイントのフォントを、文字間と改行ピッチを若干縮小して印字</td><td colspan="2">l0ポイントのフォントを、文字間を詰めて印字</td><td colspan="2">8ポイントのフォントを、行間を詰めて印字</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンタ解像度の違いや縮小印字のため、ESC/P準拠プリンタの印字結果とは見た目が異なります</td><td colspan="2">プリンタ解像度の違いや縮小印字のため、ESC/P準拠プリンタの印字結果とは見た目が異なります</td><td colspan="2">プリンタ解像度の違いや縮小印字のため、ESC/P準拠プリンタの印字結果とは見た目が異なります</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">先頭行（TOF行）の左マージン位置</td><td colspan="2">標準領域モード：先頭行（TOF行）の左マージン位置</td><td colspan="2">標準領域モード：先頭行（TOF行）の左マージン位置</td></tr>
<tr><td colspan="2">標準領域モード：用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6"）（有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータは印字されません）
ワイド領域モード：印字領域は本プリンタの有効印字領域とほぼ同じです</td><td colspan="2">用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6"）(有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータは印字されません)
ワイド領域モード：印字領域は本プリンタの有効印字領域とほぼ同じです</td><td colspan="2">用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6"）(有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータは印字されません)
ワイド領域モード：印字領域は本プリンタの有効印字領域とほぼ同じです</td></tr>
<tr><td colspan="2">標準領域モード：ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはコントロールコマンドで設定したページ長
ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置</td><td colspan="2">初期状態の印字開始位置から279.4mm(11")（実際の用紙上では271.8mm{10.7"}）下、またはコントロールコマンドで設定したページ長</td><td colspan="2">初期状態の印字開始位置から279.4mm(11")（実際の用紙上では210.8mm{8.3"}）下、またはコントロールコマンドで設定したページ長</td></tr>
</table>

5

メモ

- 10" × 11" の連続用紙のサイズは、254mm × 279.4mm です。15" × 11" の連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mm です。
- 8" × 11" は 203.2mm × 279.4mm です。13.6" × 11" は 345.4mm × 279.4mm です。

5

6

第6章　Macintoshパソコンやネットワーク環境で使用するには

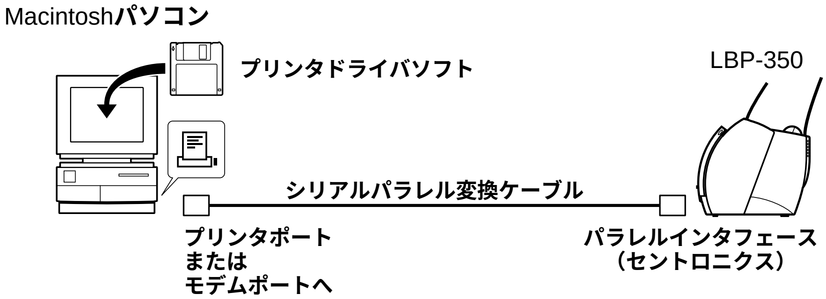
LBP-350をMacintoshパソコンに接続して印刷する方法やネットワーク環境で使用する方法を説明します。これらと接続するには、それぞれに対応するオプション製品が必要になります。

1 Macintoshパソコンから印刷するには

LBP-350をMacintoshパソコンに接続して使用するには、Macintoshパソコンから本プリンタのパラレルインタフェースに接続する方法とUSBポートに接続する方法があります。

パラレルインタフェースに接続する

レーザショット用プリンタドライバソフトをMacintoshパソコンにインストールし、シリアルパラレル変換ケーブルで接続します。



6

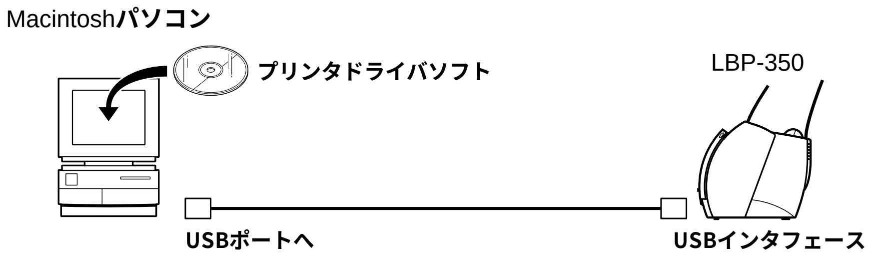
メモ

- LBP-350をMacintoshパソコンのパラレルインタフェースに接続して使用する場合に必要なオプション品として、次のものが用意されています。
  「NetHawk SP-320」（Macintosh用プリンタドライバ＋シリアルパラレル変換ケーブルセット）
  この製品の詳細や購入方法については、新潟キヤノテック㈱ユーザサポートセンターへお問い合わせください。詳しくは、付属のCD-ROM「User Software for LBP-350」に添付されている小冊子の巻末を参照してください。
- ユーザサポートをお受けになるには、ユーザ登録が必要です。同梱のユーザ登録カードをご記入の上、ご返送ください。

Macintosh パソコンから印刷するには

USBポートに接続する（簡易インストール）

USB（Universal Serial Bus）は、コンピュータ本体と周辺機器を接続するための新しい規格です。お使いのパソコンや本プリンタの電源がオンの状態で、ケーブルを接続して印刷したり、ケーブルを抜いたりすることができます。
レーザショット用プリンタドライバソフトをMacintoshパソコンにインストールし、USBケーブルを接続します。



警告

- 感電防止のため、USBインタフェースに接続する前には必ずアースコードを接続してください。ただし、絶対にガス管や水道管、電話線のアース、避雷針などに接続しないでください。火災や感電の原因になります。
- USBケーブルを接続したり抜いたりするとき、プラグの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。

6

1

LBP-350 と Macintosh パソコンを USB ケーブルで接続します。

2

本プリンタの電源をオンにします。

3

操作ボタンを連続して 2 回押し、USB が使用できる状態にします。

メッセージ /USB ランプが点灯します。

4

Finder 以外のアプリケーションを終了します。

5

付属の CD-ROM「User Software for LBP-350」のウィンドウを開き、「Installer」（インストーラ）のアイコンをダブルクリックします。

6

［インストール］ボタンをクリックします。

7

［USB 用プリンタドライバ］を選択して、［続ける］ボタンをクリックします。

8

インストールを終了すると再起動を指示するメッセージが表示されますので、必ず Macintosh パソコンを再起動してください。

9

再起動後、アップルメニューのセレクタを開きます。

10

本製品のプリンタドライバをクリックし、「出力先の選択」より USB ポートに接続したプリンタを選択します。

11

セレクタを閉じます。

メモ

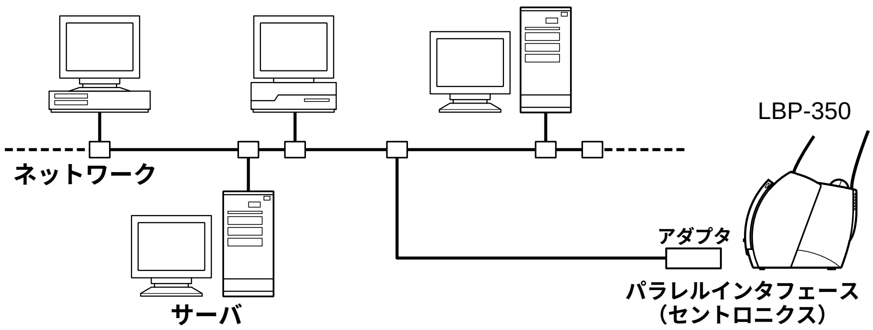
- ファイルを選択してインストールする方法や、プリンタドライバの詳しい操作方法については、付属の CD-ROM「User Software for LBP-350」に収録されているオンラインマニュアルの「カスタムインストールについて」を参照してください。
- Macintosh 用プリンタドライバについてのご質問は、新潟キヤノテック㈱ユーザサポートセンターへお問い合わせください。詳しくは、付属の CD-ROM「User Software for LBP-350」に添付されている小冊子の巻末を参照してください。
- お使いのパソコンに対応したUSBケーブルがおわかりにならない場合は、パソコンを購入された販売店にお問い合わせください。

お願い

- PDF マニュアルをご覧になるには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Adobe Acrobat Reader は、付属の CD-ROM「User Software for LBP-350」に収録されています。

2 ネットワーク環境で使用するには

LBP-350 を Ethernet などのネットワークで、プリントサーバやリモートプリンタとして使用する場合、オプションのネットワークアダプタが必要です。オプションのネットワークアダプタを装着すると、本プリンタを Ethernetなどのネットワークに直接接続し、プリントサーバやリモートプリンタとして使用できます。



お願い

- 本プリンタにネットワークアダプタを装着してネットワークに接続した場合、ネットワーク OS（NetWare、UNIX など）の設定やプリントサーバまたはリモートプリンタとしてのインストール作業が必要です。これらの作業については、ネットワークアダプタまたはネットワーク OS に付属の取扱説明書をご覧ください。

7

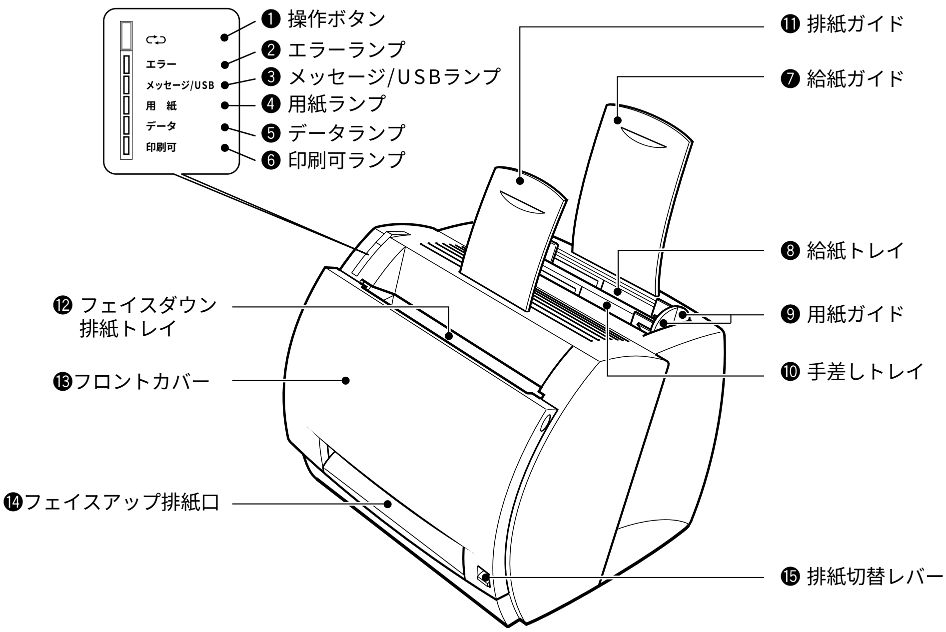
第7章　知っておきたい日常操作

この章では、各部の名称と働きやトナーカートリッジの交換方法、本体のお手入れについて説明します。

1 各部の名称と働き

LBP-350を使用する上で、知っておきたい各部の名称と機能について説明します。

本体前面の各部の名称と機能



❶ 操作ボタン
テストプリント、エラースキップ、自己診断を実行する場合に使用します。

❷ エラーランプ
プリンタの内部機構に異常が発生したときに点灯します（→ **P.190**）。

❸ メッセージ/USBランプ
印刷処理実行中にエラーが発生したときや、USBポートが使用できるときに点灯します（→ **P.195**）。

❹ 用紙ランプ
用紙切れ、紙詰まりなど用紙に関するトラブルが発生したときに点灯あるいは点滅します（→ **P.191**）。

❺ データランプ
印刷を実行して、パソコンからデータが転送されているときに点灯あるいは点滅します（→ **P.193**）。

❻ 印刷可ランプ
プリンタが印刷可能な状態のときに点灯します。

❼ 給紙ガイド
用紙をセットするときに差し込んで使用します。

❽ 給紙トレイ
用紙をセットするトレイです。普通紙（64g/㎡）で最大125枚までの用紙をセットすることができます（→ **P.16**）。

❾ 用紙ガイド
用紙がまっすぐに送られるように、用紙の幅に合わせます。

❿ 手差しトレイ
用紙を1枚ずつ手差しで印刷するときに使用するトレイです（→ **P.18**）。

⓫ 排紙ガイド
用紙がまっすぐに排紙されるように、差し込んで使用します。

⓬ フェイスダウン排紙トレイ
フェイスダウンで印刷するときに、用紙はここに排紙されます（→ **P.23**）。

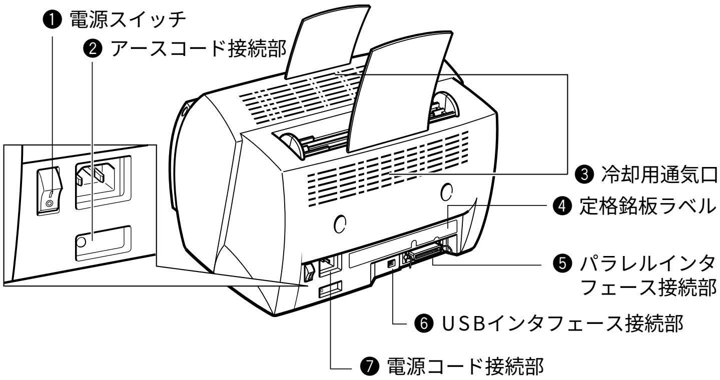
⓭ フロントカバー
トナーカートリッジの交換や紙詰まりを除去するときに開きます。

⓮ フェイスアップ排紙口
フェイスアップで印刷するときに、用紙はここから排紙されます（→ **P.24**）。

⓯ 排紙切替レバー
フェイスアップ排紙とフェイスダウン排紙を切り替えます（→ **P.24**）。

各部の名称と働き

本体裏面の各部の名称と機能



❶ 電源スイッチ
電源をオン / オフにするスイッチです（→ **P.13**）。

❷ アースコード接続部
アースを接続するときに、付属のアースコードを接続します（→ **P.12**）。

❸ 冷却用通気口
プリンタ本体を設置する際に、通気口をふさがないように注意してください。

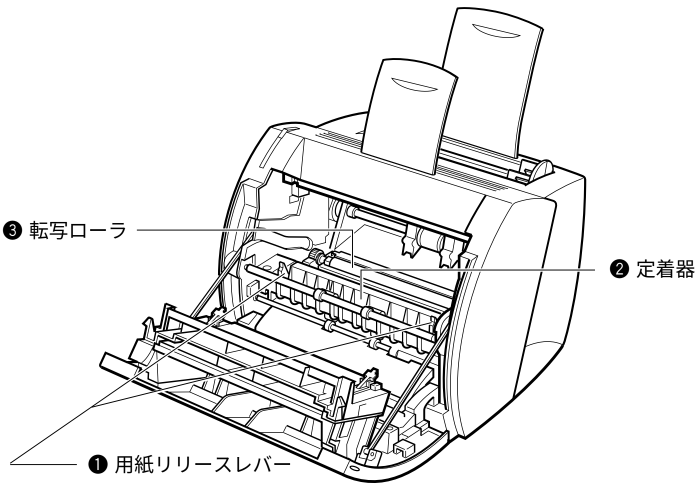
❹ 定格銘板ラベル
明示されている電流値（2.9A）は、平均消費電流値です。

❺ パラレルインタフェース接続部
セントロニクス準拠のパラレルインタフェースケーブルの接続部です。パソコンのプリンタポートに接続します（→ **P.9、31**）。

❻ USB インタフェース接続部
USB ケーブルの接続部です。パソコンなどの USB ポートに接続します（→ **P.10**）。

❼ 電源コード接続部
付属の電源コードを接続します（→ **P.12**）。

本体内部の名称と機能



❶ 用紙リリースレバー
紙詰まりを起こしたときに、このレバーを上げて紙を取りやすくします（→ **P.185**）。

❷ 定着器
トナーを用紙に定着させます（→ **P.184**）。

❸ 転写ローラ
プリンタの重要部品です。絶対に手を触れないでください。指紋や傷などがつくと、印字品質が低下し、サービス交換が必要になります。

2 オンライン／オフラインについて

プリンタがパソコンと交信し、データを受け取って印刷できる状態を「オンライン」、パソコンとの交信ができず、データを受け取れない状態を「オフライン」といいます。日常印刷を行う場合は、必ずプリンタが印刷可能な状態（オンライン）であることを確認してください。

印刷可能な状態（オンライン）

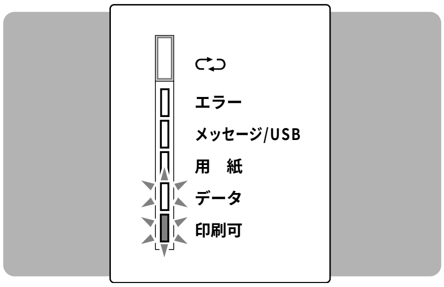
印刷可ランプが点灯しています。パソコンとの交信が可能で、データを受け取れる状態です。



パソコンからデータを受信している状態

データランプが点滅します。

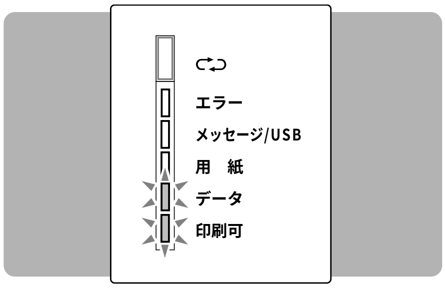
このとき、印刷可ランプは点灯したままです。プリンタ内でデータ処理中もデータランプは点滅しています。



パソコンからのデータを待っている状態

データランプが点灯したままになります。

印刷可ランプは点灯したままです。プリンタが停止し、印刷されない場合は、強制排出（→ **P.193**）またはリセット（→ **P.194**）してプリンタを印刷可の状態に戻します。



メモ

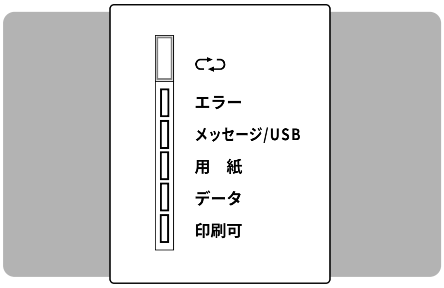
●データランプが点滅または点灯しているあいだは、プリンタの電源コードをはずさないでください。電源コードをはずすと、プリンタ内にあるデータが消去されます。

オンライン ／オフラインについて

印刷できない状態（オフライン）

印刷可ランプが消灯しています。パソコンとの交信ができず、データを受け取れない状態です。

エラースキップ（→ **P.195**）、リセット（→ **P.194**）、強制排出（→ **P.193**）などの操作は、オフラインで行います。



3 パラレル/USBインタフェースを切り替えるには

本プリンタは、パラレルとUSBインタフェースの規格に対応しており、操作ボタンで切り替えて使用することができます。工場出荷時の状態では、パラレルインタフェースに設定されています。プリンタとパソコンのインタフェースを同じ設定にして使用します。

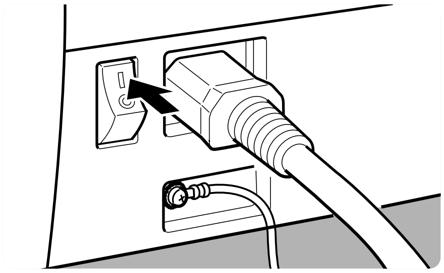
メモ

- 本プリンタをUSBで使用するには、以下の条件を満たす必要があります。
  - ・お使いのパソコンにUSBポートが装備されており、メーカーによりUSBの動作が保証されていること。
  - ・Windows 98/Me/2000/XPがインストールされていること。
- インタフェースの切り替えは、印刷中ではないことを確認してから行ってください。
- USBに設定している間は、パラレルインタフェースからの印刷は行わないでください。
- パラレルインタフェースに設定している間は、USBからの印刷は行わないでください。

一時的に切り替える

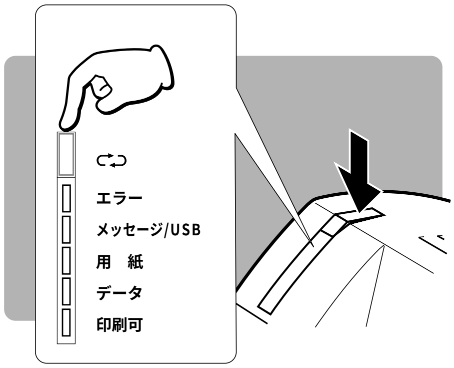
電源がオンになった直後の状態から、一時的にUSBを利用する場合には、以下の手順で切り替えます。

1
本プリンタの電源をオンにします。



2
操作ボタンを2回連続して押します。

USBに切り替えた場合、メッセージ/USBランプが点灯していることを確認します。パラレルインタフェースに切り替えた場合は、メッセージ/USBランプが消灯していることを確認します。



メモ

- 本プリンタの電源をオフにすると、一時的に設定した値は消去されます。

パラレル /USB インタフェースを切り替えるには

電源をオンにしたとき、USB が選択されているようにする

USB を主に利用する場合、電源をオンにした直後に USB が選択されているように設定しておくと便利です。

1

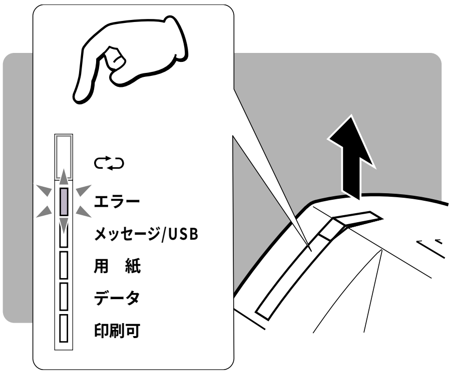
操作ボタンを押しながら、電源をオンにします。

すべてのランプが点灯した後、印刷可ランプ、用紙ランプ、メッセージ /USB ランプ、エラーランプの順にそれぞれ点灯します。

2

エラーランプが点灯しているときに操作ボタンから手をはなします。

電源をオンにした直後の状態になった後、メッセージ /USB ランプが点灯します。



電源をオンにしたとき、パラレルインタフェースが選択されているようにする

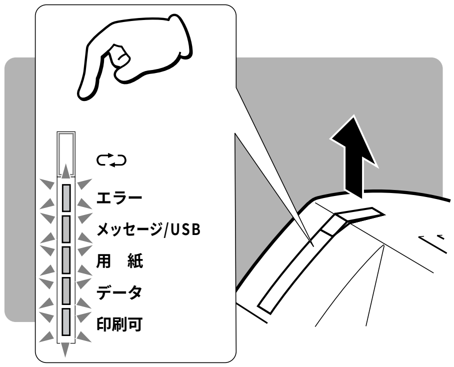
1

操作ボタンを押しながら、電源をオンにします。

2

操作ボタンを約1秒間押し続け、すべてのランプが点灯したらはなします。

ランプが順次点灯した後、印刷可ランプが点灯して終了です。



パソコン側のプリンタポートを切り替える

マイコンピュータの中のプリンタで [Canon LaserShot LBP-350 LIPS3] を選択し、右クリックしてプロパティを開きます。パラレルインタフェースの場合は「LPT1」、USBポートの場合は「LPT.USB1」にプリンタポートを割り当てます。

本プリンタをお使いになるときのインタフェース設定

	プリンタ側	パソコン側
1	パラレル	パラレル
2	USB	USB

お願い

●インタフェースの設定は、上のいずれかになっていることを確認してください。プリンタとパソコンのインタフェースが正しく設定・接続されていない場合は印刷できません。また、一部データが損なわれることがあります。

7

4 トナーカートリッジを交換する

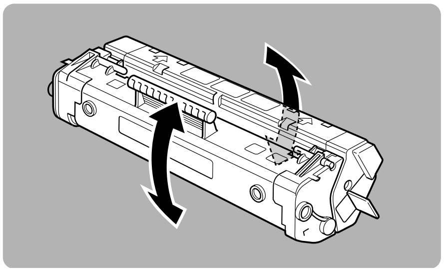
トナーカートリッジは消耗品なので、トナーが不足すると用紙の縦方向に印字のカスレやムラが出ることがあります。このような症状がでたら、次の手順でトナーカートリッジを交換します。LBP-350 では、トナーカートリッジとして「EP-22 カートリッジ」を使用します。

トナーカートリッジの寿命をのばす

トナーカートリッジを交換する前に、トナーカートリッジをゆすってかたよったトナーを均一にします。このことで、多少トナーカートリッジの寿命をのばすことができます。それでも同じ症状が出るときは、トナーカートリッジを交換してください。

1

トナーカートリッジをプリンタから取り出し、図のような方向にゆっくりと5～6 回ゆすり、再びプリンタに取り付けます。



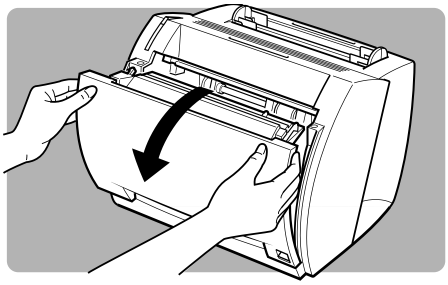
メモ

- トナーカートリッジの寿命は、A4 原稿（印字比率 5%、印刷濃度が工場出荷時の初期設定値の場合）で約 2,500 枚です。ただし、印刷する文書によって、トナーの消費量は異なります。例えば、複雑なグラフィックデータなど、白紙部分の少ない書類を印刷することが多い場合は、寿命がもっと短くなります。

トナーカートリッジの交換

1

本体のフロントカバーを開きます。

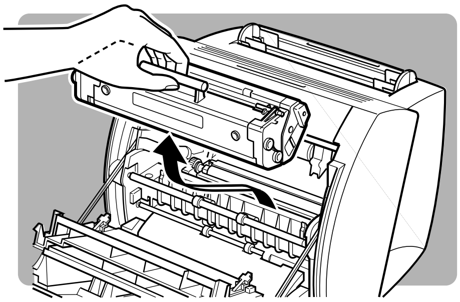


7

2

トナーカートリッジを取り出します。

トナーカートリッジのハンドルを手前に倒すように引いたあと、回転させながら引き出します。

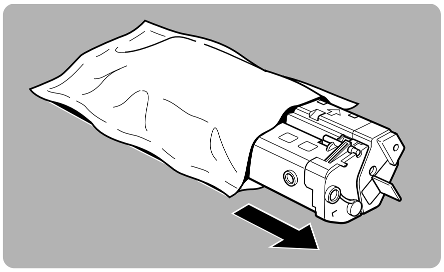


警告

● 使用済みのトナーカートリッジは、絶対に火の中に投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火してやけどや火災の原因になります。

3

新しいトナーカートリッジを保護袋から取り出します。

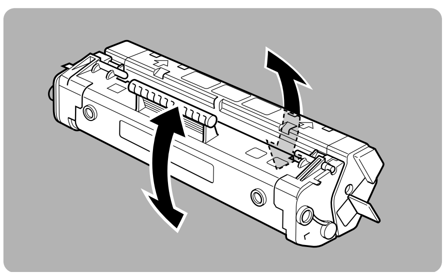


お願い

● トナーカートリッジが入っていた保護袋は、メンテナンスや修理でプリンタからトナーカートリッジを取り出す際に遮光のために必要となりますので、捨てずに保管しておいてください。

4

図のような方向にトナーカートリッジをゆっくりと 5 ～ 6 回ゆすり、内部のトナーをならします。

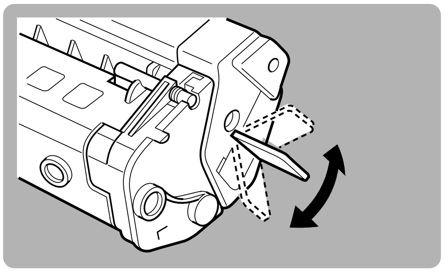


トナーカートリッジを交換する

5

トナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジ側面のタブを図のように折り曲げます。

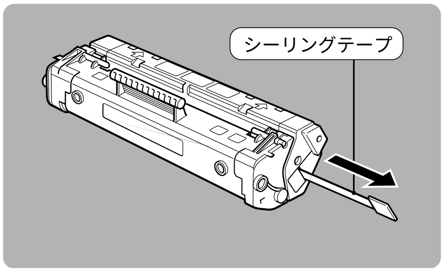
シーリングテープが引ける状態になります。



6

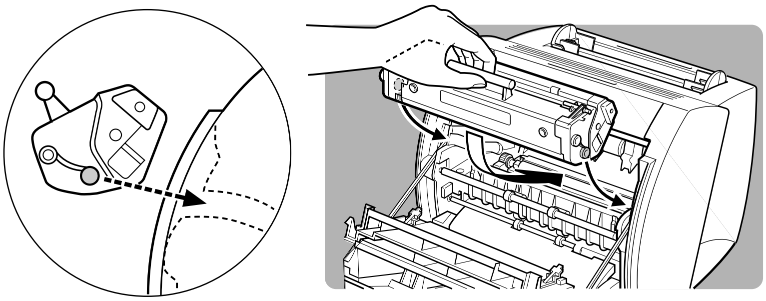
シーリングテープを水平に引き抜きます。

斜めや下向きに引くと、途中で切れて引き抜けなくなることがあります。



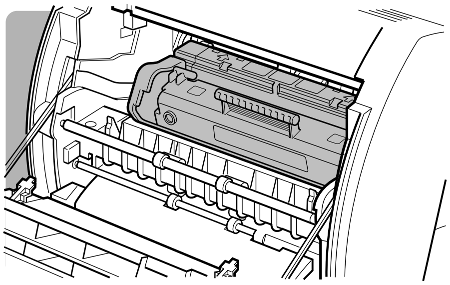
7

トナーカートリッジの左右の突起を本体内部のガイドに合わせて押し込みます。



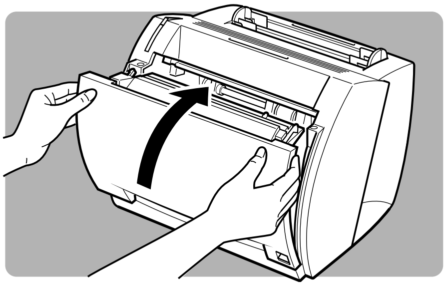
8

奥に突き当たったら、図のように押し込み、カチッとロックされることを確認します。



9

フロントカバーを閉じます。



メモ

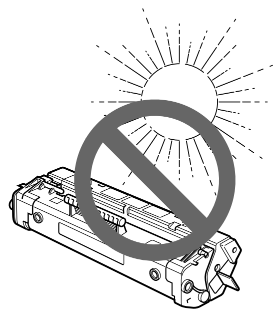
- **キヤノンでは、資源再利用のために、使用済みカートリッジの回収を推進しています。このカートリッジ回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。つきましては、キヤノンの“環境保全と資源の有効活用”の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったカートリッジをお買い求めの販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点にお持ちいただければ幸いと存じます。**

トナーカートリッジ取り扱いのご注意

トナーカートリッジは、光に敏感な部品や精密な部品で構成されています。トナーカートリッジの取り付けや取りはずしの際には、次のような点に注意してください。

お願い

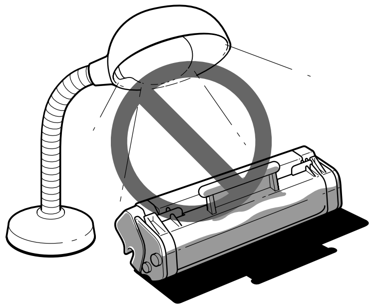
- **プリンタに取り付けるまで、保護袋は開けないでください。**
- **絶対に直射日光や強い光に当てないでください。**



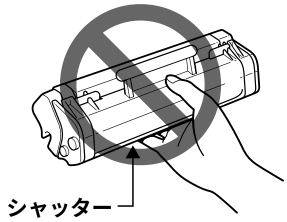
トナーカートリッジを交換する

お願い

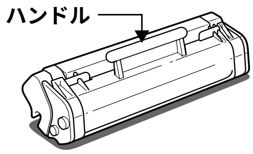
●プリンタの修理や紙詰まり処理のためにトナーカートリッジを本体から取り出したときには、すみやかに厚い布で包むか、カートリッジが入っていた保護袋に入れてください。



●感光ドラムを手で触ったり、ドラムに傷が付くと印字品質が劣化しますので、絶対にドラム保護シャッターを開けないでください。



●立てたり、裏返したりしないでください。必ずハンドルが上を向くようにして取り扱ってください。



●絶対に分解や改造などをしないでください。

●トナーカートリッジは磁気製品です。イメージデータを破損する恐れがありますので、パソコン本体やディスプレイなどに近づけないでください。

●フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品にも近づけないでください。

●トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあり、印字品質が低下します。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなど、保護袋を開封せずに１時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。

●交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内にご使用ください。

●交換用のEP-22トナーカートリッジは、キヤノン純正品をお使いになることをおすすめします。

警告

●使用済みのトナーカートリッジは、絶対に火の中に投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火してやけどや火災の原因になります。

注意

●万一、トナーが手や衣服についたら、すぐに水で洗い流してください。
●温水で洗うと、トナーが融着して汚れが取れなくなる恐れがあります。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に注意して保管してください。

お願い

●新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないでください。
●立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。
●直射日光の当たる場所は避けてください。
●高温多湿の場所や、温度変化の激しい場所は避けてください。
保管温度範囲：0 〜 35℃
保管湿度範囲：35 〜 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
●アンモニアなど腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
●フロッピーディスクやディスプレイ、パソコン本体など、磁気を嫌う製品の近くには置かないでください。
●幼児の手の届かないところに保管してください。

メモ

●結露とは：
保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この、水滴が付着する状態を結露といいます。結露は印字品質を低下させます。

5 プリンタエンジンのお手入れについて

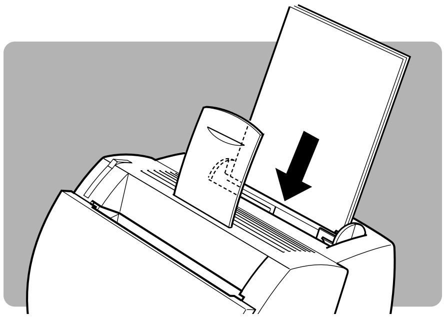
EP-22 トナーカートリッジを交換したときや印字品質が良くないときには、プリンタエンジンをクリーニングする必要があります。

NetSpot からクリーニングする

プリンタエンジンのクリーニングは、NetSpot から行うことができます。

1

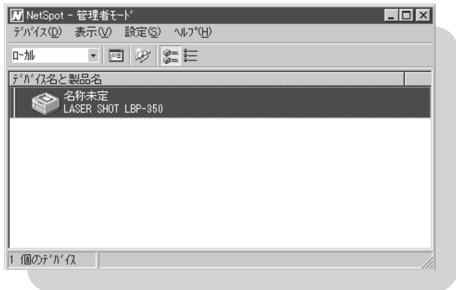
給紙トレイにA4サイズの用紙をセットします。



2

NetSpot を起動します。

デバイスリストにNetSpotから参照できるプリンタの一覧が表示されます。



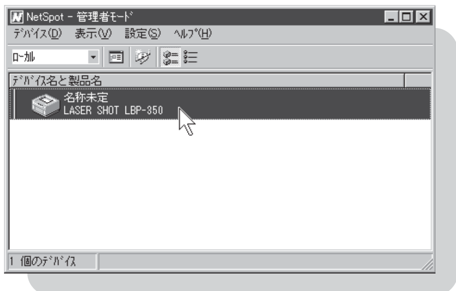
メモ

- 設定をするプリンタのアイコンが表示されていないときは、NetSpot のヘルプ「トラブルシューティング」を参照してください。

3

[Laser SHOT LBP-350] アイコンをダブルクリックします。

プリンタの詳細な情報が、いくつかのシートに分かれて表示されます。



7

4

［テスト］メニューの［エンジンクリーニング］を選択します。

クリーニングが開始されます。終了したら、白紙が１枚排紙され、通常の状態に戻ります。



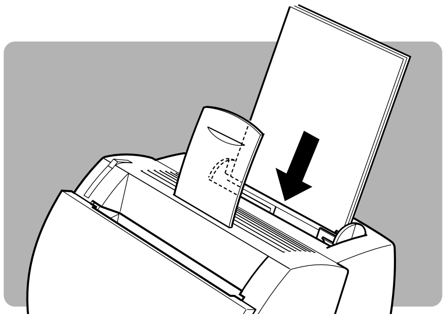
お願い

- **クリーニングが開始したら、中断することはできません、また、用紙の設定などをすることもできません。**

操作ボタンからクリーニングする

1

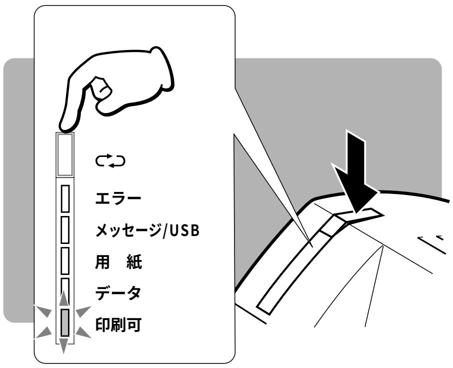
給紙トレイにA4サイズの用紙をセットします。



2

印刷可ランプが点灯していることを確認し、操作ボタンを約９秒間押し続けます。

いったんすべてのランプが消灯し、データランプ、メッセージ/USBランプの順に点灯した後、メッセージ/USBランプとデータランプが同時に点灯します。



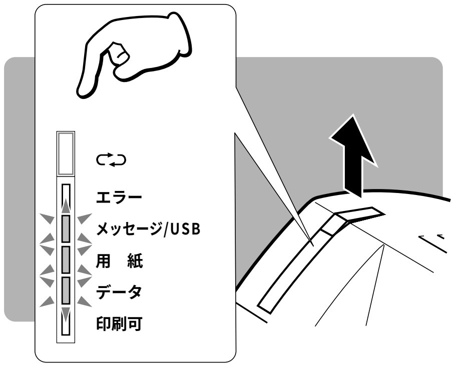
7

プリンタエンジンのお手入れについて

3

メッセージ /USB ランプ、用紙ランプ、データランプが同時に点灯したら、操作ボタンから手をはなします。

クリーニングが開始されます。終了したら、白紙が 1 枚排紙され、通常の状態に戻ります。



お願い

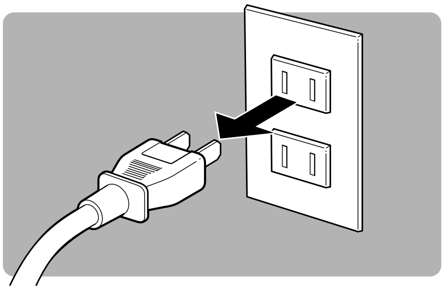
- クリーニングが開始したら、中断することはできません、また、用紙の設定などをすることもできません。

6 プリンタのお手入れについて

LBP-350を長期間使用している間に、本体外部にほこりや汚れが付着したときは、プリンタを清掃してください。

1

清掃する前に、必ず電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜きます。



メモ

- 電源をオフにするときは、プリンタのデータランプが消灯していることを確認してください。データランプが点灯中に電源をオフにすると、データは消去されてしまいます。

2

水または中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞ってから拭いてください。

中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取ってください。また、汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。



お願い

- 本体のプラスチックが変質することがありますので、絶対に水または中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 本プリンタには注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。



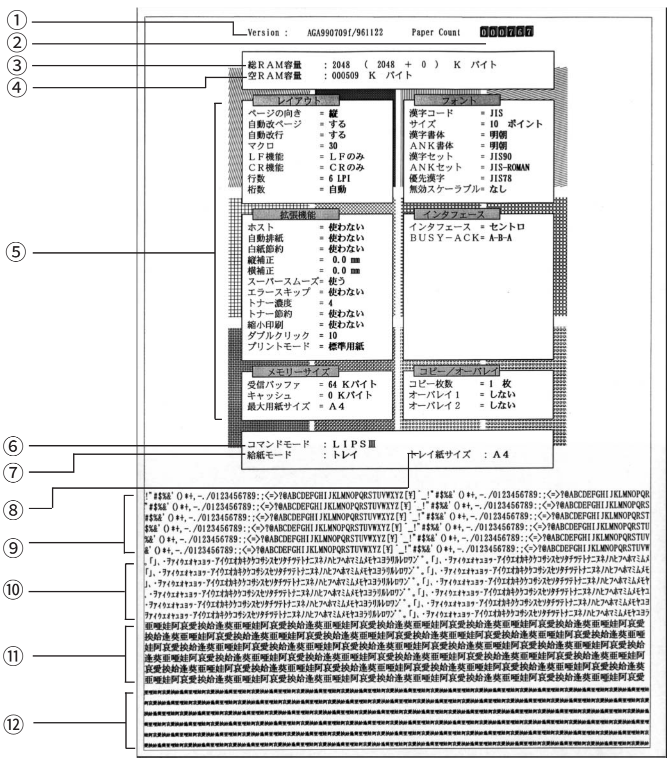
7 テストプリントを印刷する

LBP-350には、プリンタの設定環境やプリンタフォントのサンプルを確認できる「テストプリント」の機能が付いています。テストプリントには、LIPSモードのシングルテストプリントと連続テストプリント、ESC/Pエミュレーションモードのシングルテストプリントが用意されています。

テストプリントの操作は、操作ボタンで行います。操作ボタンでシングルテストプリントを行うと、その時点での動作モードに対応したテストプリントが印刷されます。

シングルテストプリント

このテストプリントには、メモリ（RAM）容量、プリンタに内蔵の文字セットのサンプルなどが表示されます。テストプリントを印刷すると、現在のプリンタの状態が確認できます。プリンタの設定によって縦位置と横位置に印字されます。



7

① **Version**　LIPS のバージョンとエディションなどの添字記号

② **Paper Count**　総プリント枚数（リセットすることはできません）。

③ **総 RAM 容量**　プリンタに装備されているメモリの総容量（標準 RAM 容量＋増設 RAM 容量）、単位は KB

④ **空 RAM 容量**　メモリの未使用部分の容量（使用可能な容量）、単位は KB

⑤ **プリント環境の設定内容**
現在のプリント環境の設定状態（NVRAMの内容と一致している値は太字で表示）

⑥ **コマンドモード**　現在実行中のコントロールコマンド

⑦ **給紙モード**　現在選択されている給紙方法

⑧ **トレイ紙サイズ**　現在選択されている用紙サイズ

⑨ **G0 文字セット**　G0 領域の文字セットのサンプル（工場出荷時は半角英数字）

⑩ **G1 文字セット**　G1 領域の文字セットのサンプル（工場出荷時は半角カタカナ）

⑪ **G2 文字セット**　G2 領域の文字セットのサンプル（工場出荷時は全角漢字）

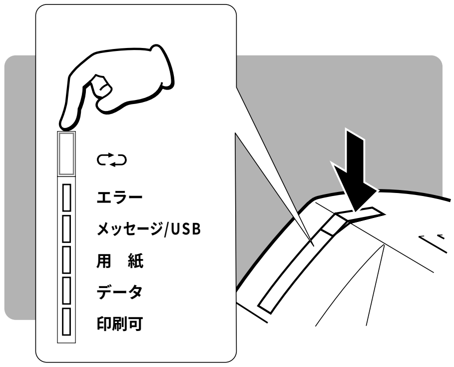
⑫ **G3 文字セット**　G3 領域の文字セットのサンプル（工場出荷時はG2文字セットの1/4 角）

＜シングルテストプリントの操作＞

1

プリンタの操作ボタンを約1秒押します。

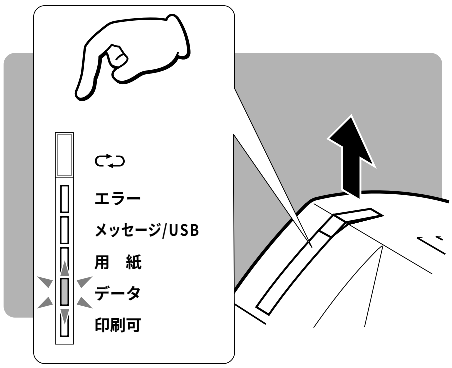
操作ボタンを押すと、いったんすべてのランプが消灯します。



2

データランプが点灯したら、操作ボタンをはなします。

シングルテストプリントが開始されます。印刷が終了すると、印刷可の状態に戻ります。



テストプリントを印刷する

お願い

- メッセージランプが点灯するまで操作ボタンを押し続けると、プリンタはリセットされてしまいます。プリンタがリセットされると、それまでプリンタドライバで設定して、プリンタのメモリに登録されていたプリント環境が電源オン時の環境に初期化されます。リセット後のテストプリントには、電源オン時の環境が表示されることになります。

連続テストプリント

LBP-350の機能紹介内容をA4縦で印刷します。連続テストプリントは、印刷中止の操作をするまで連続（255枚まで）で印刷されますので、プリンタの動作確認のためなどに使用します。


Canon

LASER SHOT
LBP-350

1) スピーディー (Speedy)
8PPM のエンジンに Intel 社製高速 RISC プロセッサを採用。
さらに TypeWing® 機能の強化や高速双方向通信などの機能で、よりスピーディーなプリントを実現しています。

2) ハイ・クオリティ (High Quality)
信頼の高解像度 600DPI プリンタエンジンを搭載し、スーパー・スムージング・テクノロジー機能とあわせ、高精細プリントが可能です。また、イメージデータやフォーム印刷時もより高画質になりました。

3) オンデマンド (On Demand)
キヤノン独自のオンデマンド定着技術により、ウォームアップ０秒を実現。
欲しいときにすぐプリントできる便利さに加え、トータルの消費電力量も抑えるエコロジー設計です。

4) イージーオペレーション (Easy Operation)
多機能な Windows® 用 LIPS ドライバと、プリンタの印刷状況がパソコンで確認できる Print BuddyII を同梱。
ネットワークでもプリンタの設定が便利な NetSpot も標準添付して、煩わしい操作を簡単にしています。

5) マルチプラットフォーム (Multi Platform)
LIPS III と ESC/P 標準搭載の上、最新のパソコン規格にも対応可能なマルチ設計のパーソナルプリンタ。
Windows® 98/95、WindowsNT® 4.0 環境はもちろん、Macintosh、DOS 環境でのプリントも可能にしています。

6) フレンドリー (Friendly)
デスクサイドに置けるコンパクトサイズであり、設置面積内で給排紙ができるので
余分なスペースを必要としません。また、ファンレス設計で動作音もとても静かです。

FONT LIST:
平成角ゴシック体™ W5 ／平成明朝体™ W3
Dutch-Roman, **Dutch-Bold,** *Dutch-Italic,* ***Dutch-Bold-Italic***
Swiss, **Swiss-Bold,** *Swiss-Oblique,* ***Swiss-Bold-Oblique***
Σψμβολ(Symbol)
Courier, **Courier-Bold,** *Courier-Oblique,*
Courier-Bold-Oblique

PERSONAL PRINTER LBP-350
PERSONAL PRINTER LBP-350
PERSONAL PRINTER LBP-350
PERSONAL PRINTER LBP-350
PERSONAL PRINTER LBP-350
PERSONAL PRINTER LBP-
PERSONAL PRINTE-

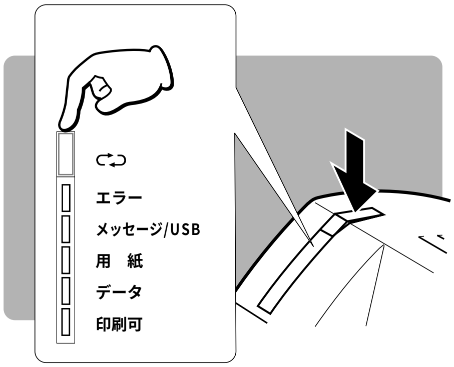
＊Windows,Windows NT は米国マイクロソフト社の米国及び他の国における登録商標です。
＊Macintoshは米国アップルコンピュータ社の商標です。
＊その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
●このサンプルは、Canon LASER SHOT LBP-350で出力しました。

＜連続テストプリントの操作＞

1

プリンタの操作ボタンを約6秒押します。

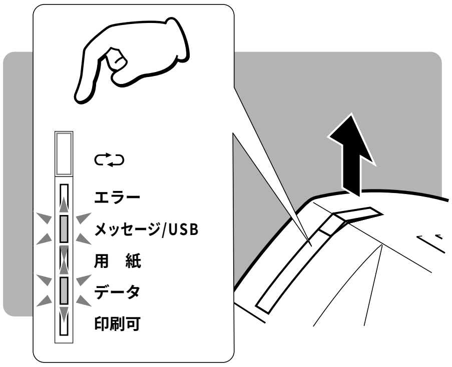
いったんすべてのランプが消灯します。



2

メッセージ/USB ランプとデータランプが点灯したら、操作ボタンをはなします。

連続テストプリントが開始されます。



お願い

- 連続テストプリントでは、印刷中止の操作を行うまで、連続してテストプリントの出力を続けます（最大 255 枚まで）。

＜連続テストプリントの中止＞

1

プリンタ本体の操作ボタンを一度押して、はなします。

2

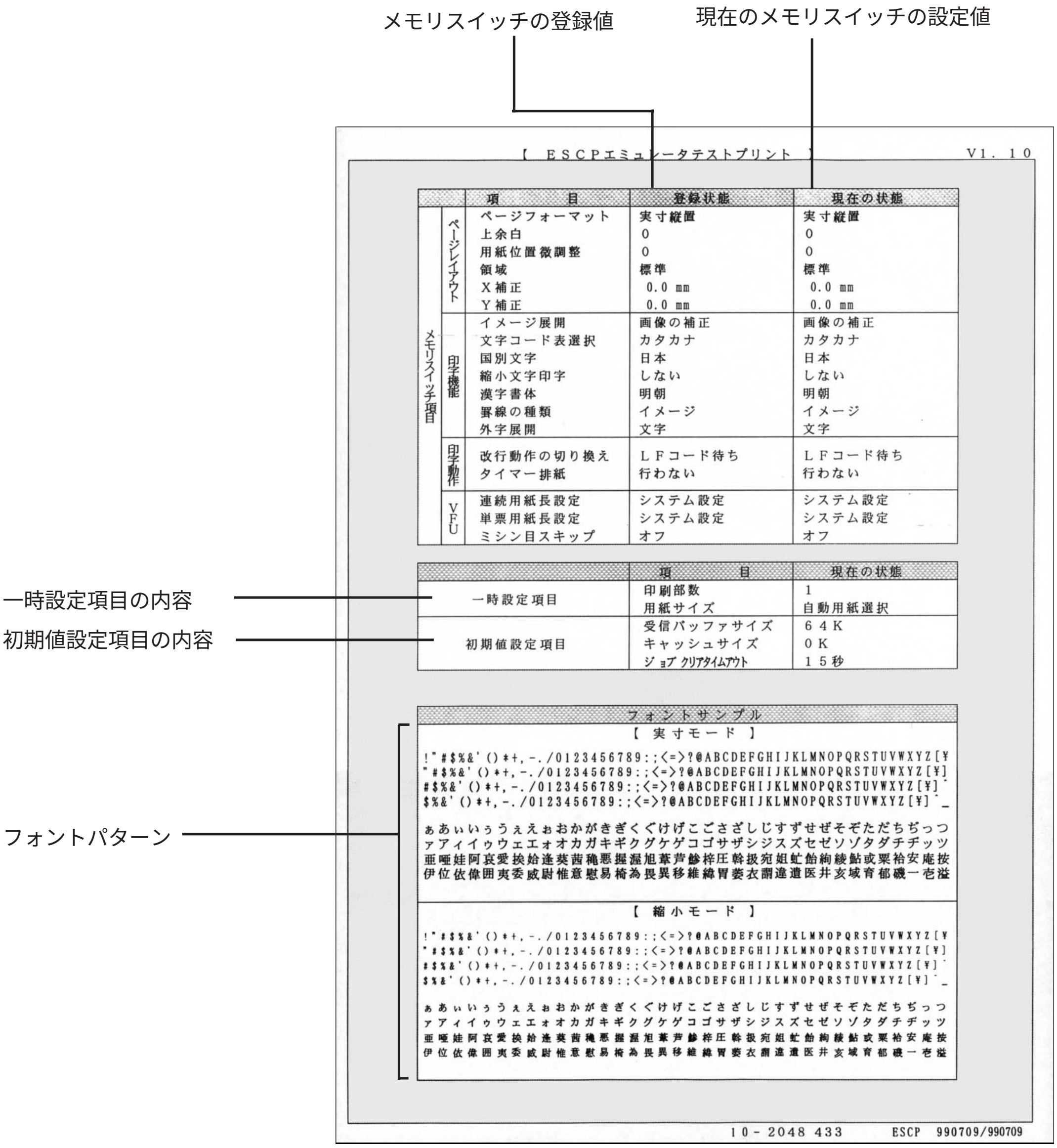
印刷が終了すると、連続テストプリントが中止されます。

印刷可の状態に戻ります。

テストプリントを印刷する

ESC/P エミュレーションのテストプリント

プリンタの動作モードがESC/P モードのときに、シングルテストプリントを実行すると、印刷されます。



【　ＥＳＣＰエミュレータテストプリント　】　　Ｖ１．１０

		項　目	登録状態	現在の状態
メモリスイッチ項目	ページレイアウト	ページフォーマット	実寸縦置	実寸縦置
		上余白	０	０
		用紙位置微調整	０	０
		領域	標準	標準
		Ｘ補正	0.0 mm	0.0 mm
		Ｙ補正	0.0 mm	0.0 mm
	印字機能	イメージ展開	画像の補正	画像の補正
		文字コード表選択	カタカナ	カタカナ
		国別文字	日本	日本
		縮小文字印字	しない	しない
		漢字書体	明朝	明朝
		罫線の種類	イメージ	イメージ
		外字展開	文字	文字
	印字動作	改行動作の切り換え	ＬＦコード待ち	ＬＦコード待ち
		タイマー排紙	行わない	行わない
	ＶＦＵ	連続用紙長設定	システム設定	システム設定
		単票用紙長設定	システム設定	システム設定
		ミシン目スキップ	オフ	オフ

	項　目	現在の状態
一時設定項目	印刷部数	１
	用紙サイズ	自動用紙選択
初期値設定項目	受信バッファサイズ	６４Ｋ
	キャッシュサイズ	０Ｋ
	ジョブ クリアタイムアウト	１５秒

フォントサンプル

【　実寸モード　】

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥
"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]
#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^
$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_

ぁあぃいぅうぇえぉおかがきぎくぐけげこごさざしじすずせぜそぞただちぢっつ
ァアィイゥウェエォオカガキギクグケゲコゴサザシジスズセゼソゾタダチヂッツ
亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或粟袷安庵按
伊位依偉囲夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢

【　縮小モード　】

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥
"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]
#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^
$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_

ぁあぃいぅうぇえぉおかがきぎくぐけげこごさざしじすずせぜそぞただちぢっつ
ァアィイゥウェエォオカガキギクグケゲコゴサザシジスズセゼソゾタダチヂッツ
亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或粟袷安庵按
伊位依偉囲夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢

１０－２０４８ ４３３　　ESCP　990709/990709

8

第8章　困ったときには

LBP-350で印刷中に困ったことが起こったら、この章をお読みください。トラブルへの対処法やプリンタのチェック方法について説明しています。

1 エラーチェックリスト

LBP-350を使用中に異常が発生したら、次の手順に従ってチェックしてみてください。

1　LBP-350の電源は入っているか？

電源スイッチ、電源ケーブルの接続をチェックする（→P.12）

2　パソコンと正常に接続されているか？

パソコンとの接続をチェックする（→P.9）
インタフェースの設定をチェックする（→P.162）

3　プリンタのエラーランプが点灯していないか？

ランプのエラー表示と対策（→P.190）

4　印刷設定ダイアログにLBP-350が表示されるか？

ソフトウェアを再インストールする
（Windows 95/98/Me→P.30、
Windows NT 4.0→P.86、
Windows 2000/XP→P.104）

5　印刷されるが、印刷結果がおかしい

印刷設定をチェックする（Windows 95/98/Me→P.51、Windows NT 4.0→P.97、Windows 2000/XP→P.130）
印字結果がおかしい（→P.198）

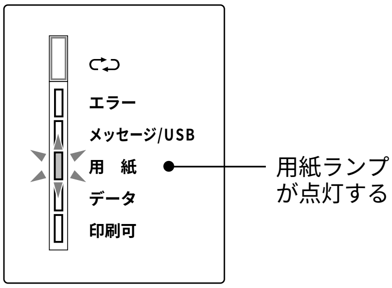
8

お願い

- 販売店に電話する前に、自己診断機能でプリンタのテストを行います（→P.203）。その結果を販売店に電話する時に連絡すると、よりすみやかなサービスを受けることができます。
- エラーランプが点灯するような症状が発生したら、ただちに電源コードのプラグをコンセントから抜いて、電源をオフにしてください。
- 自己診断を実行すると、設定したプリンタの状態がすべて初期状態に戻ります。

2 紙詰まりが起きたら

印刷中にプリンタ内部で紙が詰まると用紙ランプが点灯し、NetSpot Job Monitorをお使いの場合は、プリンタの状態がステータスモニタに表示されます。



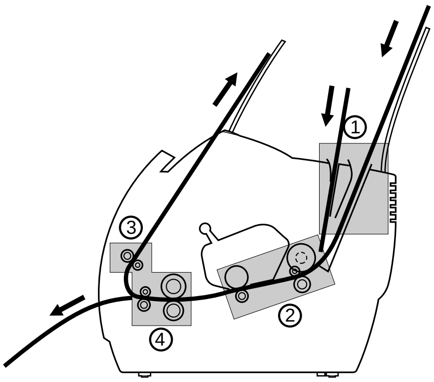
次のような手順で詰まった用紙を取り除きます。

紙詰まり位置を確認する

紙詰まりが起こったら、次の各部をチェックしてください。

紙詰まりは、右図のような箇所で発生することがありますので、紙詰まりが起きたと思われるときは、次の箇所をチェックしてください。

① 給紙エリア
② 給紙〜転写エリア
③ フェイスダウンエリア
④ 定着〜フェイスアップエリア

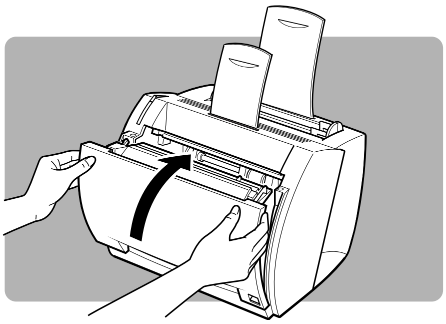


紙詰まりを取り除く前に

1

フロントカバーを開きます。

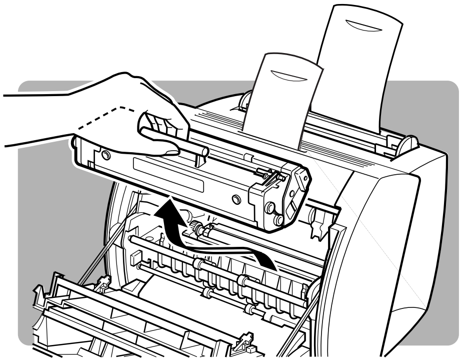
給紙トレイやフェイスダウン排紙トレイに用紙がある場合は、これも取り除きます。



8

2

トナーカートリッジを取りはずします。



お願い

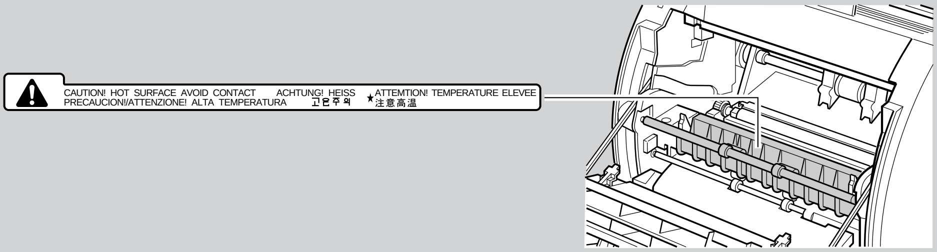
- 用紙の取り出しに時間がかかりそうなときは、遮光のためトナーカートリッジは保護袋に入れるか、または厚手の布で包んでください。
- プリンタ内部を点検するときは、ネックレスや時計などの金属物がプリンタ内部に触れないようにしてください。やけどや感電の原因になることがあります。

お願い

- 詰まった用紙を取り除くときは、転写ローラに触れないよう注意してください、転写ローラに指紋や傷がつくと印字品質低下の原因になることがあります。
- 転写ローラの右端にあるピンに触れないようにしてください。

注意

- プリンタ使用中は定着器が高温になっています。本体内部を点検するときは、手で触れないように注意してください。万一触れると、やけどをする恐れがあります。

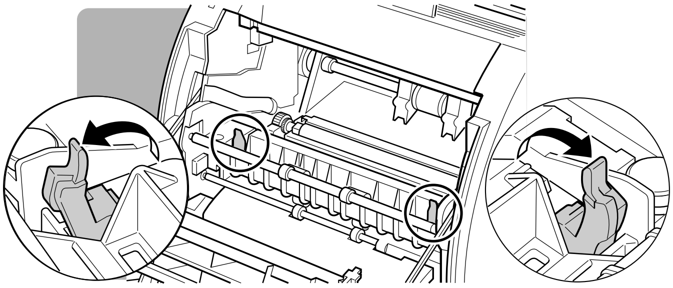


紙詰まりが起きたら

3

フロントカバーを開けたときに、用紙リリースレバーが解除されていない場合は、フロントカバーを閉じ、再度開いてください。用紙リリースレバーが自動的に解除されます。

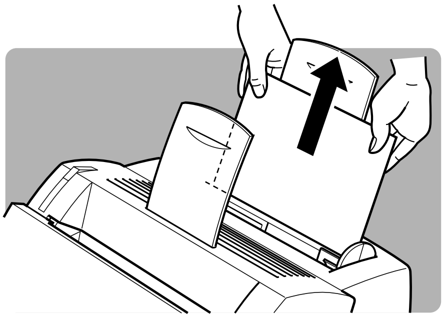
解除されない場合は、左右の用紙リリースレバーの先端を指でつまみ、少し前へ引いて解除してください。



用紙の一部が詰まっているとき

1

給紙トレイの残っている用紙の上端を両手で持ち、まっすぐ上に向けてゆっくりと引いてください。



お願い

- 用紙を引くときに、用紙がちぎれないように注意してください。
  ちぎれてしまったときは、プリンタから用紙の破片を取り除いてください。
- 詰まった用紙を取り除くときは、用紙を両手で持ってください。

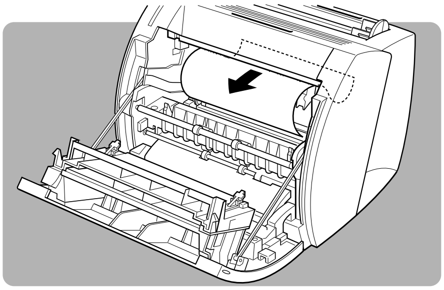
用紙が完全に詰まっているとき

1

トナーカートリッジを取り出します（→ P.165）。

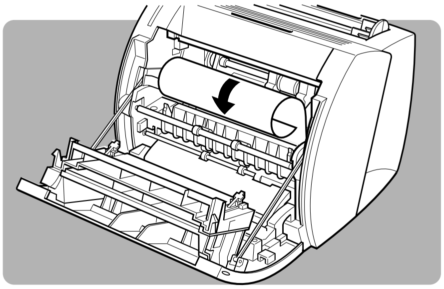
2

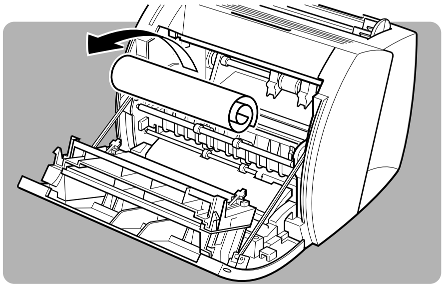
用紙を両手で手前に向けてゆっくりと引き出します。



3

用紙の上端が見えていて、給紙〜転写エリアに送られていないときは、用紙を手前に引き出し、内側に丸めます。





お願い

- 詰まっている用紙を給紙トレイから上に向けて引っ張らないでください。プリンタの故障原因になることがあります。
- 詰まった用紙を真上に引き出さないでください。用紙上のトナーがプリンタ内部に汚れや傷をつけ、印字品質が低下することがあります。

詰まった用紙をすべて取り出したら、カートリッジをセットし、フロントカバーを閉じます。用紙リリースレバーは自動的に元の位置に戻ります。

紙詰まりが起きたら

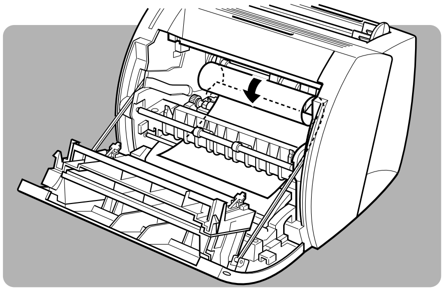
給紙～転写エリア付近での紙詰まり

1

トナーカートリッジを取り出します。

2

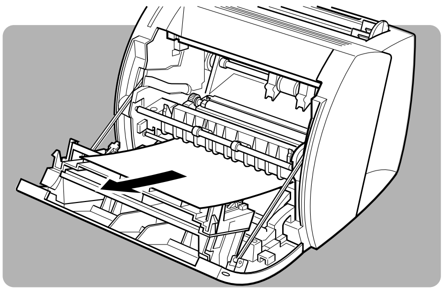
用紙の下端が見えているときには、給紙～転写エリアから用紙を後ろの方へ引き出せるように、用紙の下端を内側に丸めます。



丸めた用紙をプリンタからゆっくりと引き出します。

3

用紙の下端が見えないときには、詰まった用紙を前側へゆっくりと引き出します。



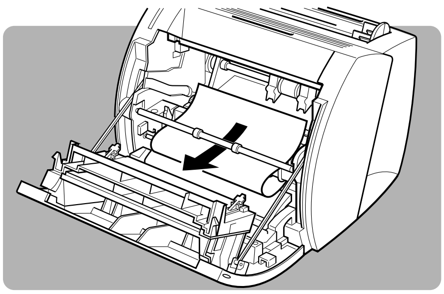
フェイスダウン排紙エリアでの紙詰まり

1

トナーカートリッジを取り出します。

2

用紙の上端が現れるまで、用紙をフェイスダウン排紙ローラの間からゆっくりと引き出します。



3

ローラの間から用紙の残りをゆっくりと引き出します。

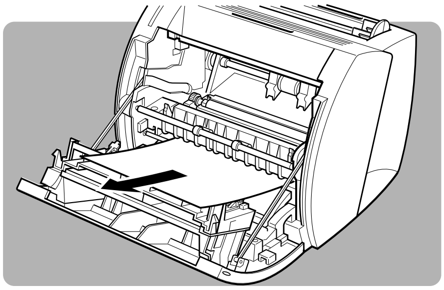
お願い

●用紙がフェイスダウン排紙ローラの後ろに隠れているときは、用紙を前側に引っ張らないでください。フェイスダウン排紙ローラが破損することがあります。

フェイスアップ排紙エリアでの紙詰まり

1

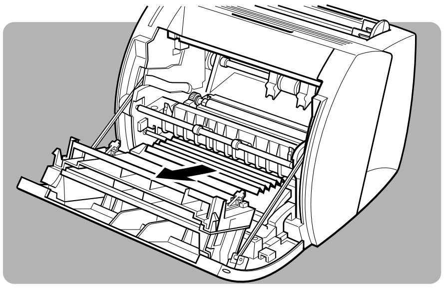
トナーカートリッジを取り出します。



2

用紙の上端が見えているときは、プリンタがぐらつかないようにしながら、用紙をまっすぐ水平に慎重に引き出します。

用紙が折りたたまれて蛇腹のようになっているときは、折りを伸ばしてから引き出します。



3

用紙の上端が見えないときは、定着器後ろ側の用紙転写スリットの間を通し、ローラの間からゆっくりと引き出します。

お願い

●定着器の後ろ側で用紙を取り扱うときは、用紙のトナーが手に付かないように注意してください。万一、トナーが手に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。

8

紙詰まりが起きたら

4

ローラの間から用紙をゆっくりと引き出します。

メモ

- **紙詰まりを取り除いた後、トナーカートリッジをセットし、フロントカバーを閉じれば、印刷可能な状態に戻ります。**

印刷可能な状態に戻れば、紙詰まりのトラブルは解消されました。

印刷可能状態に戻らなければ、まだ用紙がプリンタ内部に残っています。もう一度用紙が詰まっていないかどうかチェックしてください。

お願い

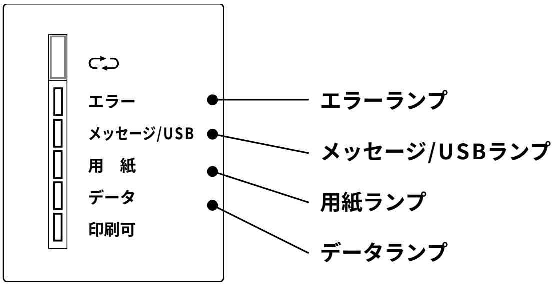
- **詰まった用紙を取り除いているとき、用紙のトナーがプリンタ内部についた場合は、次の印刷で排出された用紙がトナーで汚れることがあります。**
- **転写ローラに指紋や傷などが付くと印字品質低下原因になることがあります。紙詰まりなどプリンタ内部を点検する際には、転写ローラ（→ P.159）に触れないように注意してください。**

8

3 ランプのエラー表示と対策

プリンタ本体にエラーが生じた場合は、本体にあるランプが点滅または点灯してエラーが起こったことを知らせます。点滅または点灯するランプの種類によって、エラーの内容を推測することができます。

ほとんどのエラーはランプに表示されると同時に、パソコン画面のNetSpot Job Monitor上にも表示されます。



エラーが表示されたときの原因と対策

点滅または点灯したランプの種類によって、対処法は異なります。

ランプ名	原　因	対　策
エラー	プリンタの本体の内部機構に異常が発生した場合に点灯します。	①「自己診断機能」を実行します。この診断によって回復することもあります（→**P.203**）。 ②「自己診断機能」を実行してもエラーが表示される場合は、プリンタの電源をオフにし、お買い求めの販売店にご相談ください。
メッセージ/USB	印刷処理実行中にメモリオーバーなどが発生して、正常に印刷処理が継続できない場合に点灯します。 原因としては、「メッセージランプが点灯するエラーの原因」（→**P.196**）を参照してください。	エラースキップの操作（→**P.195**）でエラーを一時的に解除することができます。 再びメッセージランプが点灯するエラーが起きた場合は、「メッセージランプが点灯するエラーの原因」（→**P.196**）を読んで対処してください。

ランプのエラー表示と対策

ランプ名	原　因	対　策
用紙	用紙切れ、紙詰まりなど用紙に関するエラーが発生した場合や、プリンタカバーやトナーカートリッジについて不具合が発生している場合に点滅または点灯します。	原因を取り除くと用紙ランプは消灯します。 ・用紙切れの場合（点灯） 用紙を補充または正しくセットします。（→**P.16**） ・紙詰まり（点滅） 詰まった用紙を取り除きます（→**P.183**）。プリンタカバーを開閉することによって用紙ランプは消灯します。 ・プリンタカバーが開いている（点滅） カバーを閉じます。 ・トナーカートリッジが入っていないか正しくセットされていない トナーカートリッジを正しくセットします。（→**P.6**）
データ	内部のメモリに印刷されないデータが残っている場合に点灯します。また、印刷処理中には点滅します。	強制排出の操作（→**P.193**）でメモリ内のデータを排出するか、リセットの操作（→**P.194**）でメモリ内のデータを削除すると、ランプは消灯します。

8

4 印刷を中止するには

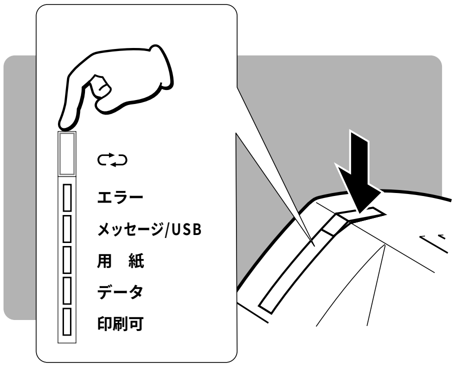
複数ページの印刷中に印刷を中止するには、すでにプリンタに送信されたプリンタ内のメモリのデータをクリアして印刷を中止します。

プリンタ内のメモリのデータをクリアする操作は、データランプが点灯している（メモリにデータがある状態）ときにだけ有効です。また、エラーランプが点灯している場合には、本操作は行えません。

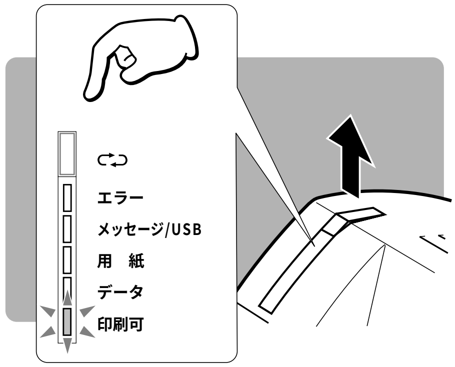
1

データランプが点灯している状態で、プリンタの操作ボタンを連続して 2 回押します。

最初に操作ボタンを押した時点でいったんすべてのランプが消灯します。



2回目に操作ボタンを押した時点で、メモリ内データがクリアされます。データがクリアされると、印刷可ランプが点灯し、印刷可能な状態になります。



お願い

- 操作ボタン連続して押す間隔が長すぎた場合は、印刷中止になりません。もう一度、注意しながら上記の操作を行ってください。
- プリンタが排紙状態にある場合は、排紙が終了してからメモリのクリアが実行され、印刷が中止されます。

5 データランプが点灯したままになったときは

受信したデータが1ページに満たなかったり、パソコン側の操作で印刷を中断した場合に、パソコンからすでにデータの一部がプリンタに送られていることがあります。この場合、プリンタのメモリには印刷されないデータが残ったままになります。このときプリンタは、印刷処理を継続できず、次のデータを受け取ることもできなくなり、停止した状態になります。
このような場合には、プリンタ内のメモリに残っているデータを強制的に排出するか、リセットの操作で消去します。

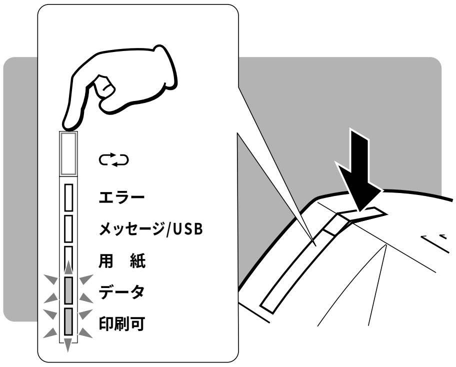
プリンタ内のデータを強制的に排出する

プリンタ内のメモリに残っているデータを、強制的に排出するには、次のように操作します。

1

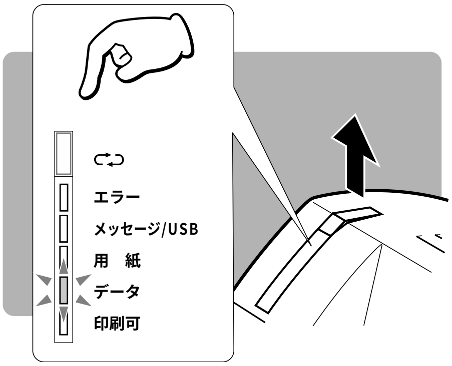
プリンタの操作ボタンを約 1 秒間押します。

操作ボタンを押すと、いったんすべてのランプが消灯します。



2

データランプが点灯したら、操作ボタンをはなします。



3

残っていたデータが排出され、印刷可能な状態になります。

点灯していたデータランプが消え、印刷可ランプだけが点灯していることを確認してください。

お願い

●操作ボタンを6秒以上押し続けると、スイッチを押す前の状態に戻ります。もう一度、注意しながら上記の操作を行ってください。

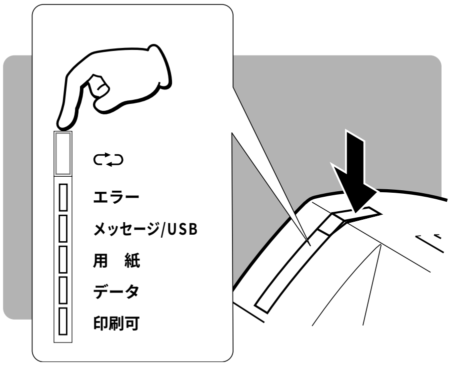
プリンタをリセットする

プリンタ内のメモリにあるデータが不要の場合は、プリンタをリセットしてメモリ内のデータを消去します。

1

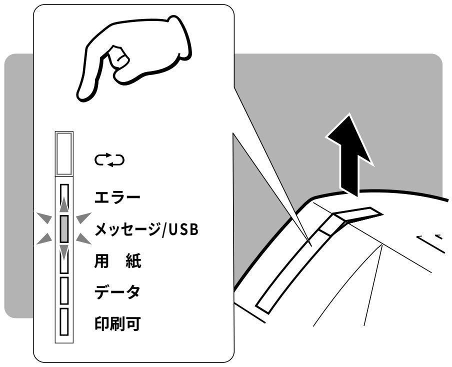
プリンタの操作ボタンを約 3 秒間押します。

操作ボタンを押すと、いったんすべてのランプが消灯します。



2

メッセージ/USBランプが点灯したら、操作ボタンをはなします。



3

メモリ内に残っていたデータは消去され、プリンタは印刷可能な状態になります。

点灯していたデータランプは消え、印刷可ランプだけが点灯していることを確認してください。

お願い

●プリンタをリセットすると、ユーティリティで一時的にプリンタのメモリ上に登録したマクロやオーバレイフォーム、ダウンロードしたフォントは消去されます。再度、ソフトウェアで印刷指定をして、登録し直してください。
●操作ボタンを6秒以上押し続けると、スイッチを押す前の状態に戻ります。もう一度、注意しながら上記の操作を行ってください。

8

6 メッセージランプが点灯したときは

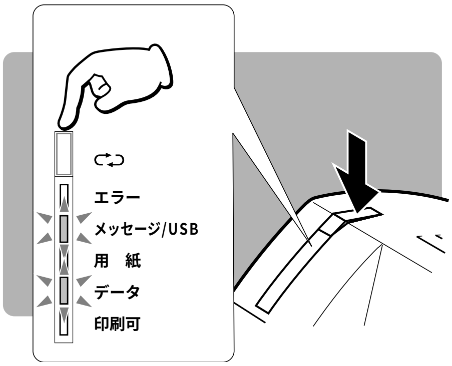
メッセージランプが点灯した場合には、次の操作でエラーを一時的に解除して印刷を続行することができます。

エラースキップの操作

1

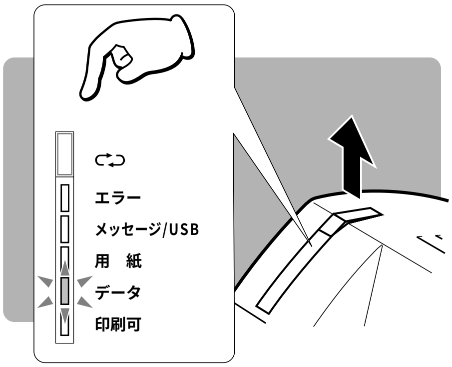
プリンタの操作ボタンを約1秒押します。

操作ボタンを押すと、いったんすべてのランプが消灯します。



2

データランプが点灯したら、操作ボタンをはなします。



3

エラーを一時的に解除して、印刷を続行します。

ただし、正しい印刷結果とならない場合があります。

お願い

- **操作ボタンを3秒以上押してメッセージランプが点灯した時点で操作ボタンをはなすとリセットの操作になります。6秒以上押し続けると、ボタンを押す前の状態に戻ります。もう一度、注意しながら上記の操作を行ってください。**

メッセージランプが点灯するエラーの原因

エラースキップ操作は一時的にエラーを解除するだけです。同じようなデータを送った場合には、再びエラーが発生する可能性があります。これを避けるためには、下記の原因と対策を読んで対処してください。

原因 1：印刷するデータ量が多すぎて、印刷処理用メモリがオーバーフローした

解説　写真やグラフィックなど複雑なデータ、あるいはたくさんの種類のフォントを使用した場合などには印刷するデータ量は多くなり、プリンタ内の標準メモリでは処理しきれなくなって、オーバーフローを起こすことがあります。

対策 1　エラースキップの操作（→ **P.195**）を実行します。中断したページから印刷を再開します。ただし、オーバーフローしたデータは印刷されません。

対策 2　印刷するデータ量を減らします。

・縮小印刷しないように設定する
・使用するフォント数を減らす
・写真やグラフィックなどを減らす
・プリンタの電源を入れ直す（電源を入れ直すことにより、プリンタ内のメモリ配分がリセットされ、印刷処理用メモリが確保される場合があります）
・NetSpot で、受信バッファやキャッシュメモリサイズの値を小さく設定し直す

対策 3　オプションの拡張 RAM を取り付ける（→ **P.210**）

原因 2：ダウンロードデータが多すぎて、メモリ容量が不足した

解説　外字やオーバレイなどのデータをコンピュータからプリンタへダウンロードする際に、メモリ容量が不足した場合に起こります。

対策 1　エラースキップの操作（→ **P.195**）を実行します。中断したページから印刷を再開します。ただし、オーバーフローしたデータは印刷されません。

対策 2　次のような方法で空き RAM 容量を増加して、再度印刷し直します。

・縮小印刷しないように設定する
・プリンタの電源を入れ直す
・NetSpot で、受信バッファやキャッシュメモリサイズの値を小さく設定し直す

対策 3　オプションの拡張 RAM を取り付ける（→ **P.210**）

メッセージランプが点灯したときは

原因３：フォントテーブルがオーバーフローした

解説　登録しようとしているフォントの数が多く、フォント情報を登録している領域（フォントテーブル）がオーバーフローした場合に起こります。

対策　エラースキップの操作（→**P.195**）を実行します。エラーが発生したページは正しく印刷されないことがあります。LIPSコマンドをプログラミングして印刷しているときは、登録する文字セット数を減らすか、不要な文字セットを削除してから印刷し直します（エラーが発生した文字セットのフォント登録は無効になります）。

原因４：印刷不可能な用紙サイズを指定した

解説　アプリケーションソフトからの印刷指定で、本プリンタでは使用できない用紙サイズを指定した場合に起こります。

対策１　エラースキップの操作（→**P.195**）を実行します。エラーが発生したページは正しく印刷されないことがあります。

対策２　アプリケーションソフトの用紙サイズ選択を印刷可能な用紙サイズに変更してから印刷し直します。

原因５：指定した用紙サイズと縮小率の設定が合っていない

解説　アプリケーションソフトからの印刷指定で、指定した用紙サイズと縮小率が合っていない場合に起こります。

対策１　エラースキップの操作（→**P.195**）を実行します。ただし、アプリケーションソフトで指定したサイズの用紙に等倍で印刷されます。

対策２　アプリケーションソフトの用紙サイズを正しく設定して、印刷し直します。

原因６：印刷処理に問題が起き、正常に印刷できない

解説　パソコンからプリンタへのデータ転送中にエラーが起きた。あるいは、印刷処理中に何らかの理由で印刷処理に問題が起きたために、正常に印刷できないことがあります。

対策１　エラースキップの操作（→**P.195**）を実行します。エラーが発生したページは正しく印刷されないことがあります。正しく印刷されない場合は、再度印刷し直します。

対策２　Windows 95/98/Me/2000/XPをお使いの場合、パソコンのBIOSの設定をECPからBidirectionalに変更し、システムアイコンの設定を「プリンタポート設定」にします。それぞれの設定に関しては、パソコンのマニュアルをご覧ください。

対策３　プリンタの電源をオフにし、プリンタの操作ボタンを押しながらプリンタの電源をオンにします。操作ボタンを押し続け、エラーランプだけが点灯したらはなします。

7 印字結果がおかしいときは

印字品質のトラブル

白いすじが入る

原因 トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。

対策 トナーカートリッジを取り出して、ゆっくりとゆすり、カートリッジ内のトナーをならしてください。それでも同じ症状がでるときは、新しいトナーカートリッジ（EP-22 カートリッジ）に交換します（→ **P.165**）。

印字が全体に薄い

原因 1 「トナー濃度」の設定が薄い方になっている。

対策 NetSpot で［トナー濃度］を濃い方に設定します。

原因 2 高温環境で多量の印刷を行った。

対策 NetSpot で［トナー濃度］を濃い方に設定します。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。トナーカートリッジ交換後は、本プリンタを涼しい環境でご使用ください。

印字が全体に黒ずむ

原因 1 「トナー濃度」の設定が濃い方になっている。

対策 NetSpot で［トナー濃度］を薄い方に設定します。

原因 2 プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置してある。

対策 プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタからはなしてください。

印字の定着が悪い（印刷した用紙がトナーで汚れる）

原因 厚紙や印字定着の悪い用紙を使用している。

対策 プリンタドライバで特殊定着モードに設定します。以下の手順で行います。

(1) ドキュメントプロパティを表示します。

(2) Windows 95/98/Meをお使いの場合、[用紙] シートを開きます。Windows NT 4.0/2000/XPをお使いの場合は、[ページ設定] シートを開きます。

(3) [詳細設定] の [特殊定着] をオンにします。

(4) [OK] ボタンをクリックして、設定を完了します。

印字結果がおかしいときは

フォントのトラブル

意味不明の半角文字が印刷される

原因 1　動作モードの自動切り替えがうまく働かなかった。
対策　NetSpotで、動作モードを目的のエミュレーションに固定して印刷し直してください。
原因 2　LIPS モードで使用中に、漢字コードの設定が違っている。
対策　NetSpotで、漢字コードの設定をコンピュータで使用している漢字コードに正しく合わせてください。
原因 3　付属のWindows用プリンタドライバを組み込まずにWindowsから印刷しようとした。
対策　付属のWindows用プリンタドライバを組み込み、印刷し直してみてください（→ 95/98/Me は **P.30**、NT 4.0 は **P.86**、2000/XP は **P.104**）。
原因 4　DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない。
対策　DOSアプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに設定し直してください（→ **P.136**）。

指定した書体と違う書体で印字される

原因　Windows用プリンタドライバでTrueTypeフォントの置き換えが設定されている。
対策　Windows用プリンタドライバでTrueTypeフォントの置き換えを正しく設定し直し、印刷し直してください。

その他のトラブル

最後のページが印刷できない

原因　データの終わりを表すコマンドがプリンタに送られていない（データランプが点灯している）。
対策　プリンタのメモリ内に残っているデータを強制的に排出します（→ **P.193**）。

データが用紙をはみ出した（用紙の周囲のデータが印刷されない）

原因 1　データのサイズより小さな用紙をセットした。
対策　データのサイズに合った用紙をセットしてください。
原因 2　用紙をセットする位置が合っていない。
対策　用紙を正しくセットし、印刷し直してください。

原因 3　余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した。
対策　データの周囲に 5mm（封筒の場合は 10mm）以上の余白を取って印刷し直してください。余白の設定については、アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。
原因 4　ESC/P モードの「ページフォーマット」の設定が合っていない。
対策　NetSpot で ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷し直してください（→ **P.147**）。
原因 5　ESC/P モードの「上余白」、「用紙位置微調整」の設定が合っていない。
対策　NetSpot で ESC/P モードの「上余白」、「用紙位置微調整」を正しく設定し、印刷し直してください（→ **P.148**）。

印字位置がずれてしまう

原因 1　ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない。
対策　NetSpot で ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、印刷し直してください。
原因 2　NetSpot で「縦補正」や「横補正」が設定されている。
対策　NetSpot の「縦補正」や「横補正」を「0」に設定し、印刷し直してください。
原因 3　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない。
対策　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、印刷し直してください。

印字位置がだんだんずれていく

原因　ESC/P モードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない。
対策　アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせて印刷し直してください。

ページの途中から次のページに分かれて印刷される

原因　アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない。
対策　1 ページに収まるようにアプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷し直してください。「行間」や「1 ページの行数」の設定については、アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

印字結果がおかしいときは

縮小されて印刷される

原因 1　縮小印刷が設定がされている。
対策　NetSpot で縮小印刷を「しない」に設定してください。
原因 2　ESC/Pモードで使用しているときに、ページフォーマットが「10"→A4縦」または「15"→A4横」に設定されている。
対策　「10"→A4縦」または「15"→A4横」のページフォーマットでは縮小して印刷されます。「しない」に設定してください。

文字や罫線に図形が上書きされている原稿が画面と異なった印刷結果になる

原因　Windows用プリンタドライバの［グラフィックモード］で、［標準イメージ］または［ファインイメージ］を選択しているときにTypeWing機能を使って印刷すると、文字や罫線と図形との重ね合わせが画面と異なった印刷結果になることがある。
対策　［フォント設定］シートの［TypeWing機能を使う］のチェックをはずし、印刷し直してください。

オーバレイ印刷時に、フォームファイルが利用できない

原因 1　オーバレイ印字の設定が正しくされていない。
対策　プリンタドライバで［オーバレイ印刷］が選択されていることを確認してください。
原因 2　LIPS Ⅲプリンタドライバ以外で作成したフォームファイルを使用している。
対策　「BJC-880J用プリンタドライバ」、「BJC-680J用プリンタドライバ」、「LBP-A405Jr.用拡張フォトグラフィックドライバ」で作成したフォームファイルは本プリンタから印刷できません。本プリンタドライバで作成したフォームファイルを使用してください。
原因 3　イメージモード、LIPSモードで作成したフォームファイルは互換性がない。
対策　イメージモードでオーバレイ印字を行う場合は、イメージモードのフォームファイルを使用してください。LIPS モードも同様です。

カラーイメージデータの出力に時間がかかる

原因　カラーイメージデータ（カラーのビットマップデータ）をLIPSモードでグレースケール（モノクロ）出力している。
対策　イメージモードで印刷してください。
イメージモードで印刷すると、印刷データの処理のほとんどをパソコンで行うため、印刷速度はパソコンの処理能力に依存します。
イメージモードは、［メイン］シートの［印刷目的］アイコン一覧で［ファイン文書］または［ファイン写真］、［写真］を選択することにより設定できます（ただしプリンタフォントは利用できなくなります）。

USB ポートでのトラブルの対処法

印字されない、印字結果がおかしい

原因 1　パソコンのメーカーによりUSBポートを使用しての動作保証がされていない。

対策　動作保証されているパソコンを使用してください。

原因 2　インタフェースの設定または接続方法が正しく行われていない。

対策　USB ポートを使用する場合は、次のことを確認してください。

- プリンタの USB インタフェース接続部、パソコンの USB ポートが USB ケーブルで接続されている（→ **P.10**）。
- プリンタのインタフェースを USB に設定している（→ **P.162**）。
- USB クラスドライバが正しくインストールされている（→ **P.31**、**34**、**105**、**113**）。
- パソコン上でプリンタポートは「LPT.USB1」になっている。

原因 3　USB クラスドライバが正しくインストールされていない。

対策　USBクラスドライバのインストールを途中で中断された場合は、アンインストールを行った後、再インストールを行います。

再インストールできない場合（Windows 98/Me/2000/XP の場合）は、[スタート] ボタンの [設定] − [コントロール パネル] メニューを選択し、[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックして表示された [アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログボックス（Windows XP の場合は、[プログラムの追加と削除] ダイアログボックス）で「Canon LASER SHOT LBP-350 USB Port」を削除してから再インストールします。

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログボックスの中に「Canon LASER SHOT LBP-350 USB Port」がない場合は、同梱された CD-ROM の中の、\USBPORT\WIN98_ME（または WIN2K_XP）\USBLBPUN.EXE を実行した後、再インストールを行います。

DOS でのトラブルの対処法

マウスが使用できない

原因　マウスドライバが組み込まれていない。

対策　マウスドライバが組み込まれているか確認してください。マウスドライバの組込み方は DOS の取扱説明書をお読みください。

8 自己診断する

LBP-350には、プリンタ本体を自己診断する機能が用意されています。この機能は、エラーランプが点灯した場合や、NetSpot Job Monitorに「プリンタの内部機構にトラブルが発生しました」のメッセージが表示されたときのみ実行してください。

お願い

- 自己診断でエラーが検出されたときは、電源コードのプラグをコンセントからはずして、電源をオフにして、お買上げになった販売店にご連絡ください。
- 自己診断を実行すると、プリンタの状態がすべて工場出荷時の初期状態に戻ります。

自己診断の操作

1

データランプが消灯していることを確認します。

2

電源スイッチをオフにします。

お願い

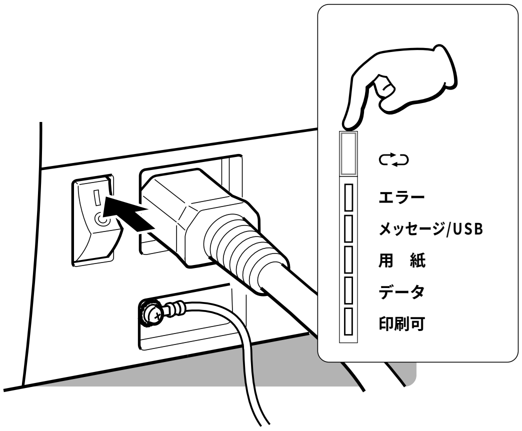
- プリンタの電源をオフにし、再び電源をオンにする場合は、電源をオフにしてから2秒以上待ってから電源をオンにしてください。

3

用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。

4

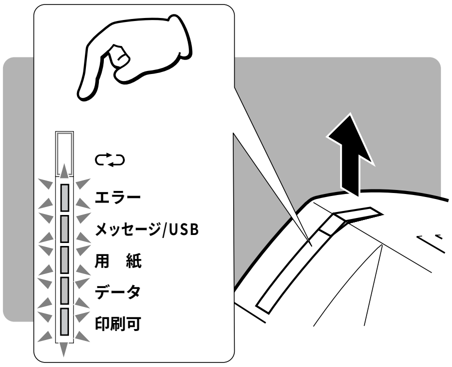
プリンタの操作ボタンを押しながら、電源スイッチをオンにします。



5

操作ボタンを約1秒間押し続け、すべてのランプが点灯したらはなします。

再びランプが順次点灯し、自己診断が始まります。



6

ランプの点灯状態を確認します。

異常が発見されると、ランプが点灯したままになります。ランプの表示については、本章「3　ランプのエラー表示と対策」（→ **P.190**）をご覧ください。

7

自己診断が正常に終了すると、印刷可ランプが点灯して、印刷可能な状態に戻ります。

8

付録

1 Windows 95/98/Me用 プリンタドライバから行える設定一覧

［プロパティ］ダイアログボックス

設定場所	設定項目名	機能の概要	初期状態の値
メインシート	印刷目的	印刷の目的に合わせて最適な設定で印刷する	ファイン文書
	設定一覧	現在選択している印刷目的設定の詳細設定内容	―
	コメント	現在選択している印刷目的設定の補足説明	―
用紙シート	用紙サイズ	アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ設定	A4
	出力用紙	プリンタにセットした用紙のサイズ設定	A4
	拡縮率	原稿を任意の倍率で印刷する	OFF
	印刷の向き	原稿を縦向きに印刷するか横向きに印刷するかの設定	縦
	給紙方法	用紙の給紙方法の設定	手差し（トレイ）
	部数	印刷部数の設定	1
デバイスオプションシート	拡張メモリ	拡張RAMの設定	なし
	受信バッファサイズ	受信バッファサイズを選択する	64K
	イメージモードのデフォルトフォントを10ポイントにする	イメージモードで印刷するときのフォントサイズを10ポイントにする	OFF
	改ページコード受信前に印刷を開始する	改ページコードを受信する前に印刷を開始する	通常印字
オーバレイシート	通常印字/オーバレイ印字/フォームファイル作成	オーバレイ機能を使用して印刷するかどうか選択	（なし）
	ファイル名	［オーバレイ印字］時に重ね合わせるフォームファイル名	―
	ファイル情報	［ファイル名］で選択されているフォームファイルの情報	―
	タイトル	［フォームファイル作成］時に作成するフォームファイルのタイトル名	―
	サブタイトル	［フォームファイル作成］時に作成するフォームファイルのサブタイトル名	

Windows 95/98/Me用 プリンタドライバから行える設定一覧

PageComposerシート (Windows 95/98/Meのみ)	印刷の体裁	通常印刷/Nページ印刷/ポスター印刷から印刷方法を選択する	通常印字
	PageComposerで拡縮を行う	PageComposerの機能を使った拡大縮小印刷を行う	チェックなし
	部単位で印刷	複数部数を印刷するときに、印刷する順序を変更する	チェックなし
	逆順印刷	最終ページから先頭ページまで逆の順番で印刷する	チェックなし
	スタンプ印刷	アプリケーションで作成した文字などにスタンプ（「COPY」や「社外秘」などの透かし文字）を重ね合わせて印刷する	チェックなし
	ヘッダ/フッタ印刷を行う	ヘッダとフッタの印刷を行う	チェックなし

● **各設定項目の詳細は、ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルは、[ヘルプ] ボタンをクリックすると表示されます。**

［印刷目的設定］ダイアログボックス

設定場所	設定項目名	機能の概要	初期状態の値
グラフィックスシート	グラフィックモード	印刷データの処理方法を設定	ファインイメージ
	ディザリング設定	ハーフトーンの表現方法の設定	グラフィックス1
	線描画モード切り替え	線の印刷方法の設定	OFF
	高階調印刷	より繊細な処理をしてハーフトーンを印刷する	OFF
	トナー節約モード	トナーを節約して印刷する	OFF
	罫線高速印刷	罫線を高速に印刷する	ON
	濃度	ハーフトーンの濃度の設定	0

フォント設定シート	TrueTypeフォントをプリンタフォントとして置き換える	原稿中のTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷する	OFF
	TrueTypeフォント	コンピュータで使用できるTrueTypeフォント名の一覧	ー
	プリンタフォント	プリンタが内蔵しているフォント名の一覧	ー
	TypeWing機能を使う	TrueTypeフォントを高速に印刷する機能	ON

設定登録シート	登録一覧	登録（保存）されている印刷目的設定の一覧	ー
	タイトル	［登録一覧］で選択されている印刷目的設定のタイトル名	ー
	アイコン設定	印刷目的設定に使用できるアイコンの一覧	ー
	コメント	［登録一覧］で選択されている印刷目的設定の補足説明	ー

付録

2 NetSpot から行えるプリンタ設定一覧

設定場所	設定項目名	機能の概要	初期状態の値
共通シート	コピー枚数	印刷部数の設定	1
	スーパースムーズ	スムージング処理を行い、輪郭をなめらかに印刷する	ON
	トナー節約モード	トナーを節約して印刷する	OFF
	トナー濃度	印刷濃度の設定	4
	デフォルト用紙サイズ	プリンタの処理する用紙サイズの設定	A4
	縦補正	印字位置を縦方向に補正する	0
	横補正	印字位置を横方向に補正する	0
	動作モード	プリンタの動作モードの設定	自動
	優先動作エミュレーション	動作モードの自動切替がうまくいかなかったときに使用する動作モードの設定	LIPS
	ダブルクリック間隔	プリンタの操作キーにおいてダブルクリックとみなされる間隔を設定	10
	受信バッファサイズ	プリンタの受信バッファ（データを一時的にためておく領域）サイズの設定	64
	フォントキャッシュサイズ	スケーラブルフォントのキャッシュメモリサイズの設定	0

設定場所	設定項目名	機能の概要	初期状態の値
LIPSシート	縮小印刷	データを縮小して印刷する	しない
	最大用紙サイズ	印刷データの用紙サイズを設定	A4
	印刷の向き	縦向きに印刷するか横向きに印刷するかの設定	ポートレイト
	行数	1ページあたりの行数の設定	6LPI
	桁数	1行あたりの桁数の設定	自動
	LF機能	改行コード受信時の動作の設定	LF
	CR機能	復帰コード受信時の動作の設定	CR

設定場所	設定項目名	機能の概要	初期状態の値
LIPS拡張設定	漢字コード	コンピュータで使用している漢字コードの設定	JIS
	文字サイズ	フォントサイズの設定	10ポイント
	漢字書体	漢字の書体の設定	明朝
	ANK書体	ANK文字の書体の設定	明朝
	漢字グラフィックセット	JISコードの種類の設定	JIS90
	ANKグラフィックセット	ANK文字のグラフィックセットの設定	ROMAN
	優先漢字	優先的に使用するJISコードの種類の設定	JIS78

● 各設定項目の詳細は、ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルは、[ヘルプ] ボタンを選択すると表示されます。

NetSpotから行えるプリンタ設定一覧

設定場所	設定項目名	機能の概要	初期状態の値
LIPS 拡張設定	無効スケーラブル	特定のプリンタフォントを使用できなくする	なし
	スタートアップマクロ	マクロ機能の設定	30
	オーバレイ1,オーバレイ2	オーバレイ印刷の設定	OFF
	ホスト	漢字コード体系の設定	なし
	自動改ページ	自動改ページの設定	ON
	自動改行	自動改行の設定	ON
	自動エラースキップ	エラー時も自動的に印刷を続行させる	OFF
	自動排紙	データが一定時間送られないと自動的に排紙する	しない
	白紙節約	白紙ページを排出しないようにする	OFF
	デバッグ	印刷データがメモリオーバーしたときのエラーを表示する	OFF
	Busy-Ack	BUSY信号とACKNLG信号の出力順位の設定	A-B-A

ESC/P シート	ページフォーマット	ESC/Pプリンタと本プリンタの用紙サイズの変換方法の設定	実寸縦
	上余白	印字開始位置を上下方向にずらす	0
	用紙位置微調整	印字位置を左右方向にずらす	0
	縮小文字印刷	1バイトコード文字の縮小印字の設定	OFF
	イメージの補正	イメージデータ印刷時の展開方法の設定	グラフィック
	ESC/Pジョブタイムアウト	ジョブクリアのあと自動的に印刷可能になるまでの時間の設定	しない
	漢字書体	漢字の書体の設定	明朝

ESC/P 拡張設定	文字コード	1バイトコード表の文字セットの設定	カタカナ
	国別文字	1バイトコード表の国別文字対応部分の設定	日本
	改行機能	復帰コード受信時の改行動作の設定	LFコマンドを待つ
	領域	印刷領域の設定	標準
	罫線	罫線の印字方法の設定	イメージ
	外字	ESC/Pの制御命令によって登録した2バイトコード文字の印字方法の設定	文字
	プリントタイマ	データが一定時間送られないと自動的に排紙する	OFF
	連続用紙長	連続用紙1ページに印字する行数の設定	OFF
	単票用紙長	単票用紙1ページに印字する行数の設定	OFF
	ミシン目スキップ	ミシン目スキップ行数の設定	OFF

3 拡張 RAM を取り付ける

LBP-350には、標準のメモリ（RAM）容量を拡張するための増設RAMがオプションで用意されています。

本プリンタは 2MB のメモリを標準装備しています。拡張 RAM（8MB、または 16MB）を取り付けると最大 18MB までメモリを拡張することができます。以下の場合に拡張 RAM の増設が必要です。

- ●複雑なグラフィックスや写真データなどがファインイメージモードで正常に印字できない場合
- ●パソコンの解放を早くしたい場合
- ● TypeWing 機能をより有効に使用したい場合
- ● LIPS モードでの複数ページ印刷を速くしたい場合
- ●スーパーイメージモードで印刷する場合

通常のご使用には、8MBの拡張で十分に効果があがりますが、A4サイズの写真画像をスーパーイメージで印刷する場合、16MB の拡張が必要な場合があります。

拡張 RAM 上の部品は静電気に敏感です。拡張 RAM の破損を防止するため、拡張 RAM を取り付けるにあたっては、次のような点に注意して取り扱ってください。

- ●静電気による破損を防ぐため、拡張RAMを取り付ける直前まで袋から取り出さないでください。
- ●作業をする前に、身のまわりにある金属部分に触れて体の静電気を逃がします。
- ●作業中は、ディスプレイなど静電気が発生しやすいものに触れないようにしてください。
- ●拡張 RAM 上の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ●拡張 RAM を取り付ける作業には、ドライバー（＋）が必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものを用意してください。

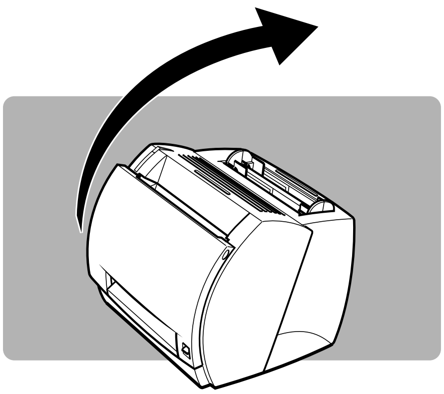
1

電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜きます。

2

フロントカバーを開き、トナーカートリッジを取り出します。

取り出したトナーカートリッジは、保護袋あるいは厚い布につつんでおいてください。



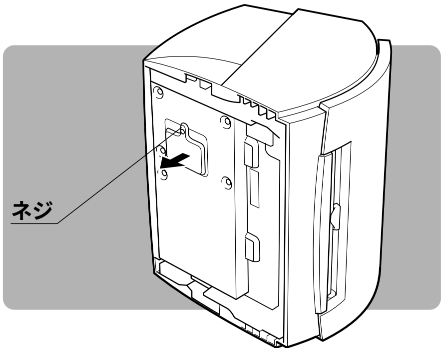
3

プリンタの右側面が下になる向きに、プリンタ本体を起こします。

拡張 RAM を取り付ける

4

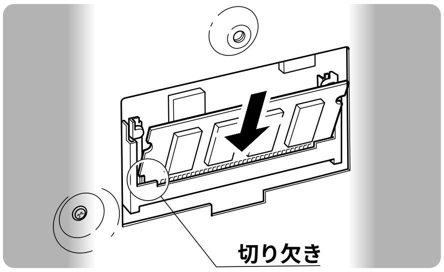
プリンタ底面にある拡張RAM取り付け部のネジをはずし、カバーを取りはずします。



5

切り欠きを上にして拡張 RAM をもち、プリンタのコネクタに対して、約30度の角度で押し込みます。

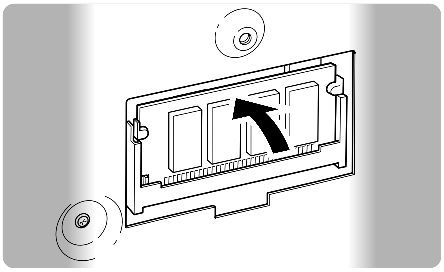
拡張 RAM はカチッという音がするまで、しっかり押し込みます。



6

プリンタ底面と平行になるまで、拡張 RAM を押します。

拡張RAMが正しく取り付けられていないと、プリンタのメモリ容量は拡張されません。正しく取り付けてください。



7

拡張 RAM 取り付け部のカバーをネジで止め付けます。

カバーは必ず取り付けるようにしてください。

8

プリンタ本体を元の位置に戻し、トナーカートリッジを取り付け、ケーブルを元のように接続します。

お願い

- Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP をお使いの方は、拡張 RAM を取り付けた後、プリンタドライバの［デバイスオプション］シートの［拡張メモリ］を設定してください。

4 LIPS IIIの内蔵フォント

LIPS III内蔵フォントのコード表は、付属CD-ROM「User Software for LBP-350」に収められています。「FONTLIST」ディレクトリの中の「Readme」を参照してください。

LIPS III内蔵フォントについて

文字セットの属性について

各文字セットは、次のような属性があります。

<書体>

書体には、「平成明朝体」、「平成ゴシック体」、「ラインプリンタ」など多数の種類があります。

<グラフィックセット>

あるグラフィックセットを選択すると、文字コードに対応するフォントパターンが決まります。グラフィックセットには、「ROMA」、「KATA」、「HIRA」といった各国語の文字に対応したものがあります。

<文字ピッチ>

文字をプリントする間隔です。固定ピッチでは、単位は「CPI（1インチあたりの文字数）」で示され、コマンドで固定した文字ピッチで印刷されます。「プロポーショナル」の文字ピッチは固定ピッチではなく、各文字によって異なります。

<サイズ>

文字の大きさを文字の高さで示します。単位は「ポイント」で示します。1ポイントは約0.35mm（1/72"）です。「スケーラブル」のときは、属性として一定の文字サイズはありません。

<スタイル>

スタイルには「直立体（Upright）」と［イタリック体（Italic）」があります。

<太さ>

文字の太さには「標準（Medium）」と「ボールド（Bold）」があります。

LIPS IIIの内蔵フォント一覧

文字セット名称の後ろにはグラフィックセットを付けて使用します。

　例）　Ncourier10.XXX　→　Ncourier10.ISO_UK

グラフィックセットの「* ①〜⑤」については、次ページの表をご覧ください。

付録

LIPS IIIの内蔵フォント

1バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Courier	**Ncourier10.XXX**	*①,②,③,④	10.00	12.00	直立体	標準
	Ncourier10 I.XXX				イタリック体	
	Ncourier10 B.XXX				直立体	ボールド
	Ncourier15.XXX	*①,②,③	15.00	8.10		標準
	Ncourier17.XXX	*④	16.66	8.10		

1バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	**Mincho-Medium-H.XXX**	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
ゴシック体	**Gothic-Medium-H.XXX**	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
ラインプリンタ	**LinePrinter-Bold .XXX**	ROMA KATA	固定	スケーラブル	直立体	ボールド
Swiss	**Swiss .XXX**	*①,②,③,④,⑤	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Swiss-Bold .XXX					ボールド
	Swiss-Oblique .XXX				イタリック体	標準
	Swiss-BoldOblique.XXX					ボールド
Dutch	**Dutch-Roman .XXX**	*①,②,③,④,⑤	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Dutch-Bold .XXX					ボールド
	Dutch-Italic .XXX				イタリック体	標準
	Dutch-BoldItalic .XXX					ボールド
Symbol	**Symbol .XXX**	SYML SYMR	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準

メモ

- **1バイトビットマップフォント表と1バイトスケーラブルフォント表の「*①～⑤」の部分には、次のようなグラフィックセットが入ります。**

①	ISO_UK ISO_USA ISO_S/F ISO_N/D ISO_JPN ISO_GER ISO_FRC ISO_ITY ISO_SPN
②	88_UK 92_NL 92_UK 92_SWD 92_GER 92_FRC 96M_UK 96M_USA 96M_S/F 96M_N/D 96M_GER 96M_FRC 96X_USA 96P_UK 96P_USA 96P_S/F 96P_NOR 96P_GER 96P_FRC
③	CN_CND CN_NL CN_SWS CN_UK CN_USA CN_SWD CN_N/D CN_JPN CN_GER CN_FRC
④	IBMR1 IBMR2 IBM850 IBMP IBM860 IBM863 IBM865 IBML
⑤	PSR PSL

2バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
平成明朝体	**Mincho-Medium**	J78 J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
平成角ゴシック体	**Gothic-Medium**	J78 J90	固定	スケーラブル	直立体	標準

付録

5 プリンタドライバなどのバージョンアップについて

本プリンタに付属のプリンタドライバおよびNetSpot Job Monitor、NetSpotは、機能アップなどのためにバージョンアップされることがあります。
新しいバージョンのソフトウェアをインストールするには、次の手順で使用中のソフトウェアを削除します。そのあとに新しいソフトウェアをインストールします。

メモ

- 最新のソフトウェアは、キヤノン販売株式会社のホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）よりダウンロードできます。詳しくは、巻末「ソフトウェアのバージョンアップについて」を参照してください。

Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XPをお使いの場合

＜プリンタドライバを削除するには＞

1

［プリンタ］フォルダ（Windows XPの場合は、［プリンタとFAX］フォルダ）を表示します。

メモ

- ［プリンタ］フォルダ、［プリンタとFAX］フォルダは以下の手順で表示します。

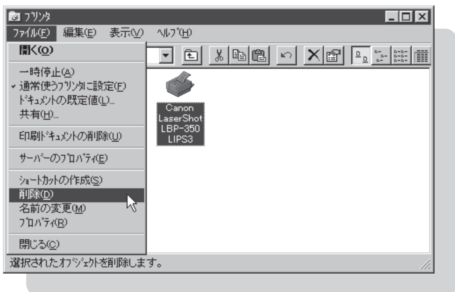
  Windows 95/98/Me/NT4.0/2000：［スタート］－［設定］－［プリンタ］

  Windows XP Proffessional：［スタート］－［設定］－［プリンタとFAX］

  Windows XP Home Edition：［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタとFAX］

2

削除するプリンタのアイコンを選択し、［ファイル］－［削除］メニューを選択します。



付録

プリンタドライバなどの バージョンアップについて

＜ NetSpot Job Monitor を削除するには＞

1

［スタート］メニューの［プログラム］－［NetSpot Job Monitor for Windows XX］－［NetSpot Job Monitor アンインストーラ］を選択します。

＜ NetSpot を削除するには＞

1

［スタート］メニューの［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2

［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

メモ

●Windows XP の場合は、［プログラムの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

3

ソフトウェアの一覧から削除するソフトウェアを選択して［追加と削除］ボタンをクリックします。

メモ

●Windows XP の場合は、［プログラムの変更と削除］ボタンをクリックします。

6 CD-ROM ドライブが使用できないパソコンにインストールするには

本プリンタ用のプリンタドライバはCD-ROMに収録されているため、インストールをするには CD-ROM ドライブが必要です。

CD-ROMドライブが使用できないパソコンにプリンタドライバをインストールするときは、最初にCD-ROMドライブが使用できるパソコンでCD-ROMのファイルをフロッピーディスクにコピーします。
ソフトウェアのインストールは、そのフロッピーディスクを使用してインストールしてください。

お願い

- **CD-ROMのファイルをフロッピーディスクにコピーする方法をとることのできないかたは、巻末の「ソフトウェアのバージョンアップについて」をご利用ください。**

Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP 用ソフトウェアのコピー手順

メモ

- **お使いの OS により必要なフロッピーディスクやディレクトリが異なります。以下は、Windows 95/98/Me を例に説明しています。**

1

フォーマット済みの空のフロッピーディスク（1.44MB または 1.2MB）を用意します。

Printer Driver for Windows 95/98/Me Disk1 ～ 2 の 2 枚

2

CD-ROM ドライブの［DRIVERS］－［WIN9X_Me］－［FDDIR］－［DISK1］ディレクトリの中の全ファイルを「Printer Driver for 95/98/Me Disk1」のラベルを貼ったフロッピーディスクにコピーします。同様に［disk2］のファイルもコピーします。

CD-ROM ドライブが使用できない パソコンにインストールするには

3

インストールはフロッピーディスク「DISK1」から行います。

メモ

- Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合は、［DRIVERS］フォルダの各ディレクトリの中の全ファイルをフロッピーディスクのルートディレクトリにコピーしてください。

Windows NT 3.5/3.51 用ソフトウェアのコピー手順

1

フォーマット済みの空のフロッピーディスク（1.44MB または 1.2MB）を 1 枚用意します。

2

CD-ROM ドライブの［DRIVERS］－［WINNT35X］ディレクトリの中の全ファイルをフロッピーディスクのルートディレクトリにコピーします。

3

インストールはフロッピーディスクから行います。

7 FontGalleryについて

本CD-ROMにはプリンタドライバなどと共にWindows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP、Macintoshに対応したTrueTypeフォント「FontGallery®」を同梱しています。FontGalleryにはTrueTypeフォントとして和文20書体、かな31書体、欧文100書体が収められています。また、かなフォントユーティリティ「FontComposer®」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。

お願い

- FontGalleryをご使用になる際はCD-ROMに添付されている小冊子をお読みください。CD-ROMの小冊子にはFontGalleryのご使用上の注意事項、インストールの方法、FontGallery製品使用許諾契約書について記載されています。

FontGallery同梱書体見本

次の書体をご利用いただけます。

●和文書体

和文書体の見本を以下に示します。

平成明朝体 W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W9	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント
行書体 CC-M	夢のある多彩なフォント

FontGallery について

●かな書体

かな書体の見本を以下に示します。

こでまりＬ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＭ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＢ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＨ	ゆめのあるふぉんと
からたちＬ	ゆめのあるふぉんと
からたちＭ	ゆめのあるふぉんと
からたちＢ	ゆめのあるふぉんと
からたちＨ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＬ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＭ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＢ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＨ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＬ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＭ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＢ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＨ	ゆめのあるふぉんと
あしびＬ	ゆめのあるふぉんと
あしびＭ	ゆめのあるふぉんと
あしびＢ	ゆめのあるふぉんと
あしびＨ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＬ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＭ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＢ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＨ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＬ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＭ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＢ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＨ	ゆめのあるふぉんと
行書LC仮名	ゆめのあるふぉんと
sek01	ゆめのあるふぉんと
sek02	ゆめのあるふぉんと

付
録

●組み合わせサンプル：かなユーティリティ FontComposer

和文書体とかな書体の組み合わせ見本を以下に示します。

平成明朝体　Ｗ３＋からたちＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ３＋こでまりＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ３＋さんざしＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ３＋てっせんＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋からたちＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋こでまりＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋さんざしＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋からたちＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋こでまりＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋さんざしＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋てっせんＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋からたちＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋こでまりＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋さんざしＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋てっせんＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ３＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ３＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ３＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ５＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ５＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ５＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ７＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ７＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ７＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ９＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ９＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ９＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
丸ゴ　Ｃａ-Ｂ＋ｓｅｋ０１	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋ｓｅｋ０２	夢のある多彩なフォント
楷書体　ＮＴ－Ｍ＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
行書体　ＬＣ－Ｍ＋行書ＬＣ仮名	夢のある多彩なフォント

メモ

- ●Windows をお使いの場合は、Font Composer を使用して組み合わせを自由に作成できます。
- ●Macintosh をお使いの場合は、あらかじめ上記の組み合わせ書体が収録されています。

FontGalleryについて

●欧文書体

欧文書体の見本を以下に示します。

American Garamond Roman	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
American Garamond Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
American Garamond Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Bodoni Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Bodoni Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cataneo Light	*ABCDEF abcdef 12345*
Cataneo Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Cataneo Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
＊Cataneo Light Swash	*ABCDEF a de 12345*
＊Cataneo Regular Swash	*ABCDEF a de 12345*
＊Cataneo Bold Swash	***ABCDEF a de 12345***
Cooper Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cooper Black Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cooper Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Schoolbook Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Clarendon Roman	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Clarendon Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cloister Black Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Openface	ABCDEF abcdef 12345
Commercial PI Regular	± ° ′ ″ ∅ + © ® ©®™ ™ ●●▪■
Commercial Script Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**

＊「Cataneo Swash」には、一部文字が収容されておりません。これは「Cataneo」と組み合わせて使用される書体のためです。

Dutch 801 Bold Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Extra Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Dutch 801 Extra Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Exotic 350 Light	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Demi-Bold	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Goudy Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Goudy Oldstyle Extra Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Handtooled	ABCDEF abcdef 12345
Holiday PI	
Poster Bodoni Roman	**ABCDEF abcdef 12345**
Poster Bodoni Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Prima Sans BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Prima Serif BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Prima Mono BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Ribbon 131 Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Ribbon 131 Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
Roundhand Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Roundhand Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
Roundhand Black	***ABCDEF abcdef 12345***
Serifa Thin	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Light	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Roman	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Serifa Black	**ABCDEF abcdef 12345**

FontGallery について

Serifa Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Snowcap Regular	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 222	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 555	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Symbol Proportional Regular	ΑΒΧΔΕΦ αβχδεφ 12345
Zapf Humanist 601 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra Italic	ABCDEF abcdef 12345

8 Windows NT 3.5/3.51 用 プリンタドライバのインストール手順

1

Windows NT 3.5/3.51 を起動し、Administrators または Power Users のメンバーとしてログオンします。

メモ

- プリンタドライバの組み込みを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

2

[メイン] グループの [プリントマネージャ] アイコンをダブルクリックします。

[プリントマネージャ] が起動します。

3

[プリンタ] メニューの [プリンタの作成] を選択します。

[プリンタの作成] ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- すでに作成されているプリンタを使用する場合は、そのアイコンまたはウインドウを選択し、[プリンタ] メニューの [プリンタ情報] を選択します。

4

[ドライバ] リストボックスの最後にある [その他] を選択します。

[ドライバの組み込み] ダイアログボックスが表示されます。

5

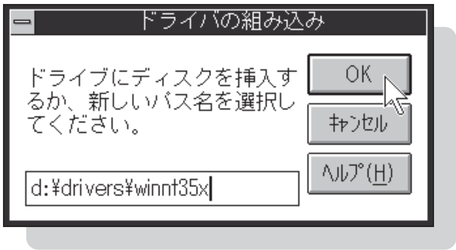
付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

Windows NT3.5/3.51用 プリンタドライバのインストール手順

6

エディットボックスにCD-ROMをセットしたドライブ名と「\drivers\winnt35x」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

［プリンタドライバ］ダイアログボックスが表示されます。



7

［プリンタドライバ］一覧でお使いのプリンタ名を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

プリンタドライバ関連のファイルがコピーされます。

8

コピーが終了し［プリンタの作成］ダイアログボックスに戻ります。

9

［プリンタ名］に新しいプリンタの名称を入力します。

10

[OK]ボタンをクリックし、［プリンタの作成］ダイアログボックスを閉じます。

これでプリンタドライバのインストールは完了です。

付録

9 プリンタの仕様

プリンタ形式：　デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式：　電子写真方式（オンデマンド定着）
プリント速度：　最大 8 枚／分（A4 サイズ）
ウォームアップ時間：0 秒（電源投入時は 8 秒以下）
ファーストプリント時間：フェイスダウン排紙時：18 秒以下（20℃ A4 サイズ）
フェイスアップ排紙時：17 秒以下（20℃ A4 サイズ）
データ処理解像度：　600dpi、300dpi
稼働音：　（ISO9296 に基づく公表騒音放出値）
音圧レベル・バイスタンダ位置
スタンバイ時：暗騒音
プリント時：48dB [A]
給紙方法：　給紙トレイ　：最大 125 枚／ 64g ／㎡（積載厚 12.5mm 以下）
手差しトレイ：1 枚
用紙サイズ：　A4（210 × 297mm）〜官製はがき（100 × 148mm）（→ **P.20**）
排紙容量：　50 枚（フェイスダウン排紙トレイ）
排紙：　フェイスアップ / フェイスダウン手動切り替え
両面印刷：　普通紙にて手差し給紙時のみ可、フェイスアップ排紙のみ
（OHP フィルム、ラベル用紙、封筒の両面印刷は不可）
CPU：　Intel960JA
メモリ（RAM）容量：標準 2MB（メガバイト）
オプション 8MB または 16MB RAM DIMM（ソケット 1 個）
ホストインタフェース：　セントロニクスパラレルインタフェース（IEEE 提案通信規格対応）、
USB インタフェース
ユーザインタフェース：　LED ランプ 5 個、操作ボタン 1 個
内蔵コントロールコマンド：　LIPS III
内蔵エミュレーションコマンド：　ESC/P
内蔵フォント：　ビットマップフォント
欧文書体：Courier
スケーラブルフォント
和文書体：平成明朝体 ™W3*、平成角ゴシック体 ™W5*
欧文書体：Dutch,Swiss,Symbol
ラインプリンタ用書体
*：これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
有効印字領域：　上下左右とも周囲 5mm の範囲には印字できません（封筒の場合は 10mm）
電源：　AC100V ± 10%（50 ／ 60Hz ± 2Hz）
消費電力：　動作時最大　約 495W
動作時平均　約 220W
スタンバイ時平均　約 7W
動作温度／湿度範囲：10 〜 32.5℃／ 20 〜 80%RH（結露しないこと）
保管温度／湿度範囲：0 〜 35℃／ 5 〜 95%RH（結露しないこと）
外形寸法：　345（W）× 312（D）× 267（H）mm
質量：　本体約 6.7kg（EP-22 カートリッジなし）
EP-22 カートリッジ　約 0.71kg

プリンタの仕様

索引

記号とアルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

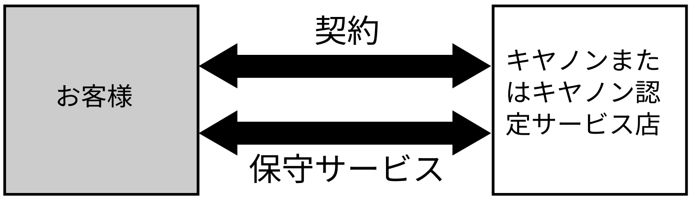
保守契約制度のご案内

ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはキヤノン事務機をご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくキヤノン製品の無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適にご使用いただけますように、充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行います。お客様とキヤノンを、しっかりとつなぐ便利でお得な当制度に是非ともご加入いただき、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機械は精密機器です。この機械は大切な情報の計算、記録、保管、伝達等の目的でご購入いただいております。万一にでも、思いがけないトラブルが発生した場合、お仕事の上に時間的なロス等の不便が生じます。そこでトラブルが起こってからではなく、トラブルを未然に防ぐために日頃の専門的な「手入れ」が必要になります。この「手入れ」をキヤノンでは保守契約制度で完全に実施いたします。また、万一のトラブルにも「サービスエンジニア」が修理にあたる万全の体制を備えています。

保守契約制度は、キヤノン製品を安心してお使いいただくために設けたお客様のための制度です。

キヤノンの保守契約制度にご加入いただきますと、ただちに「お客様用カルテ」を作成し、コンピュータに登録を行い、ご愛用品の「健康管理」を開始いたします。

キヤノン保守契約制度の内容およびメリット

内　容	メリット
●定期点検の実施 キヤノン認定のサービスエンジニアが定期的に機械の保守点検を実施します。 （製品により定期点検回数が異なります。また、一部定期点検を設けていない製品もあります）	トラブルの発生を未然に防止することで、製品の信頼性を高め、更に製品の寿命も伸びます。
●優先サービス 万一トラブルが発生した場合には、最優先のサービスが受けられます。	トラブル時の業務停止時間を最小限に抑えます。
●保守契約料金は一定 保守契約料金は契約時に定額を支払うだけです。	サービス費用の予算がたてやすく、また事務の簡素化が図れます。
●修理料金は無料 保守契約料金には定期点検と偶発的に発生したトラブル時の訪問料金、部品代、技術料などいっさいを含んでおります。	契約期間中に発生したトラブルは、その内容や回数にかかわらず無料です。 （ただし、機種により一部特定部品は有償。天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます）
●スポット料金より割安 トラブルの内容により保守契約料金より１回のスポット料金の方が高い場合もあります。	スポット料金より年間維持経費は大幅に割安になります。

購入時契約のお勧め

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容についてご了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネット、FAX情報サービス、パソコン通信を利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノン販売ホームページ(http://www.canon-sales.co.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

●キヤノンFAX情報サービス

札幌	(011) 728-0485	秋田	(018) 826-0441	仙台	(022) 211-5730
東京	(03) 3455-5962	名古屋	(052) 936-0758	大阪	(06) 4795-9011
広島	(082) 240-6729	高松	(087) 826-1621	福岡	(092) 411-9510

音声メッセージにしたがって操作をしてください。
ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切換えを行ってください。
情報BOX番号は「各種ドライバ入手方法 ご案内:10001」「ドライバ郵送サービス一覧:11001」となります。

● @nifty キヤノンステーション(http://www.nifty.com/)

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」を入力してください。「電子会議」の「【プリンタ LASER SHOT】インフォメーション」内に掲載されています。
※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードサービスおよび郵送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノン販売ホームページ(http://www.canon-sales.co.jp/)

キヤノン販売ホームページよりダウンロードできます。キヤノン販売ホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。

● @nifty キヤノンステーション(http://www.nifty.com/)

@nifty アクセス後、キヤノンステーションへの GO コマンド「SCANON」を入力してください。「データライブラリ」の「【LASER SHOT】ドライバ･ライブラリ」にプリンタドライバが登録されています。@nifty の通信料金のみでダウンロードすることができます。
※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

● CD-ROM・FD の郵送サービス

郵送サービス手数料を郵便振替にてお払い込みいただき、プリンタドライバなどのソフトウェアのＣＤ－ＲＯＭもしくはＦＤを郵送にてお届けいたします。お申し込み方法、ソフトウェアの種類、内容、金額はＦＡＸ情報サービス、キヤノン販売ホームページ(FAQ)などでご確認いただき、下記振込先へお払い込みください。

口座番号：00160-1-51418
口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係

・「通信欄」には必ず「メディア名称・品番」をご記入ください。
・「払込住所氏名欄」の記載住所へ発送いたします。なお、当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。
・お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
・お払い込みには郵便局備え付けの払込書をご利用ください。払込料金はお客様負担となります。
・ソフトウェアの種類により、CD-ROM/FD が異なります。

Canon

キヤノンお客様ご相談窓口 一覧表

製品取り扱い方法ご相談窓口

技術的なご質問、お取り扱い方法については、下記の窓口にご相談ください。（故障かどうかご不明な場合もこちらをご利用ください。）

キヤノン販売お客様相談センター（全国共通番号）　TEL 0570 (01) 9000

全国64 か所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。

お電話が繋がりましたら音声ガイダンスに従って本製品の該当番号 **42** をお話しください。引き続き音声ガイダンスに従ってお話しください。音声認識後、商品担当者に繋がります。

［受付時間］〈平日〉　9:00 〜12:00/13:00 〜18:00/19:00 〜21:00
〈土日祝日〉10:00 〜12:00/13:00 〜17:00 （1/1 〜3 を除く）

※音声応答システム･受付時間･該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※携帯電話･PHS をご使用の方は 043（ 211） 9627 をご利用ください。

消耗品、オプション製品のご購入についてのご相談窓口

消耗品、オプション製品はお買い上げいただいた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店でお買い求めください。
ご不明な場合は、上記の**お客様相談センター**までご相談ください。

修理受付窓口

LASER SHOT LBP-350の修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせください。
下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00AM〜5:30PMです。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。
（但し、東京QRセンター・新宿サービスセンターの営業時間は 10:00AM〜6:00PM、休業日は 日曜・祝祭日です。）
また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。

お願い：LASER SHOT LBP-350のお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北 海 道 地 区

※札幌サービスセンター　TEL 011 (728) 0665　〒060-8522 北海道札幌市北区北７条西1-1-2　ＳＥ山京ビル１Ｆ　札幌支店内

東 北 地 区

※仙台サービスセンター　TEL 022 (217) 3210　〒980-8560 宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1　仙台パークビルヂング１Ｆ　仙台支店内

関 東 ・ 信 越 地 区

※大宮サービスセンター　TEL 048 (649) 1450　〒331-8544 埼玉県さいたま市桜木町4-247　ＯＳビル１Ｆ　大宮営業所内
※新潟サービスセンター　TEL 025 (246) 8765　〒950-0914 新潟県新潟市紫竹山1-10-26　新潟営業所内

東 京 ・ 神 奈 川 ・ 山 梨 地 区

東京QRセンター（持込のみ）　TEL 03 (3837) 2961　〒110-0005 東京都台東区上野1-1-12　信井ビル１Ｆ
新宿サービスセンター（持込のみ）　TEL 03 (3348) 4725　〒163-0401 東京都新宿区西新宿2-1-1　新宿三井ビル１Ｆ
※キヤノンテクニカルセンター　TEL 0297 (35) 5000　〒306-0605 茨城県岩井市大字馬立1234　F7棟3F
（郵送・宅配のみ）
関東地区・東京 地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送りください。
※横浜サービスセンター　TEL 045 (312) 0211　〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26　ＨＩ横浜ビル２Ｆ　横浜営業所内

中 部 ・ 北 陸 地 区

※名古屋サービスセンター　TEL 052 (939) 1830　〒461-8511 愛知県名古屋市東区東桜2-2-1　高岳パークビル１Ｆ　名古屋支店内
※金沢サービスセンター　TEL 076 (233) 6608　〒920-0853 石川県金沢市本町1-5-2　リファーレ１Ｆ　金沢営業所内
※静岡サービスセンター　TEL 054 (253) 9010　〒420-0034 静岡県静岡市常磐町2-6-8　TOKAIビル３Ｆ　静岡営業所内

近 畿 地 区

※森ノ宮サービスセンター　TEL 06 (6942) 7418　〒540-0003 大阪府大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3
※京都サービスセンター　TEL 075 (255) 5953　〒604-0847 京都府京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町513　京都第一生命泉屋ビル２Ｆ　京都営業所内

中 国 ・ 四 国 地 区

※岡山サービスセンター　TEL 086 (221) 8678　〒700-0907 岡山県岡山市下石井2-2-5　ニッセイ岡山スクエア１３Ｆ　岡山営業所内
※広島サービスセンター　TEL 082 (240) 6712　〒730-0051 広島県広島市中区大手町3-7-5　広島パークビル１Ｆ　広島支店内
※高松サービスセンター　TEL 087 (823) 4681　〒760-0027 香川県高松市紺屋町4-10　鹿島紺屋町ビル１Ｆ　高松支店内

九 州 地 区

※福岡サービスセンター　TEL 092 (411) 4173　〒812-0017 福岡県福岡市博多区美野島1-2-1　キヤノン販売福岡ビル１Ｆ　福岡支店内

2001年5月1日現在　上記の記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

キヤノン販売株式会社　〒108‐8011 東京都港区三田3 -11- 28